

令和2年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
E	音楽	合唱	新国立劇場合唱団	○	○	○	○	文化芸術による子供育成総合事業特別合唱コンサート	新国立劇場合唱団 文化芸術による子供の育成事業プログラム (小学校 低学年・中学年・高学年 及び中学生向け)	
E	音楽	オーケストラ等	大阪交響楽団	○	○	○	○	大阪交響楽団 演奏会	【オープニング】ジョン・ウィリアムズ 映画「スターウォーズ」から「メインテーマ」 【オーケストラ解剖】なかむら たかし 大阪交響楽団オリジナル楽器紹介「オーケストラの仲間たち」 【組曲「展覧会の絵」(パレエ付き)】ムソルグスキー/ラヴェル編 組曲「展覧会の絵」 【オーケストラと共演しよう！】(共演曲1曲を選択 音野 よう子 花は咲く合唱共演 等) 【アンコール】①J・シュトラウスⅡ ラデツキー行進曲 ②校歌 等	
E	音楽	オーケストラ等	山形交響楽団	○	○	○	○	【コンサートタイトル: Memorial & Crossover ～世界と出会う令和2年～ 境界を越えたファンタジーを放する～ ～ベートーヴェン生誕250年 & チャイコフスキー生誕180年～	①グラント・グリーン: Just a closer walk (金管五重奏とオーケストラ&手拍子) ②ブラームス: ハンガリー舞曲第5番 ③ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」第1楽章 ④カリム・ラウトマン: 映画「バルフィクション」メドレー ⑤チャイコフスキー: パレエ「白鳥の湖」セレクション 第29曲「情景・終曲」(死を越えたオデットと王子の愛)等	
E	音楽	音楽劇	ミラマレ・オペラ	○	○	○	○	オペラ「てかがみ」 戦争と昭和の記憶を風化させないために！	オペラ「てかがみ」 作曲: 池辺晋一郎 台本: 平石耕一 演出: 三浦安浩 振付: 三浦奈緒 構成: 松山郁雄	
E	演劇	児童劇	劇団うりんこ	○	○	○	○	学校ウサギをつかまえる	演目: 学校ウサギをつかまえる 原作: 岡田淳 脚本/演出: 田辺剛 舞台美術: 方 勝 音楽/音響: ノノヤママナコ	
E	演劇	児童劇	デフ・パベットシアター・ひとみ	○	○	○	○	ろう者と聴者の協働による、家族を語る人形劇	はこ/BOXES じいちゃんのおルゴール♪ 構成/演出: くすのき燕(人形芝居燕屋) 美術: 木田拓美 音楽: 田丸智也 / やなせけいこ 照明: 後藤義夫(ステージ・アイ) 音響プラン: 森下勝史(人形劇団ひとみ座) マイム指導: チカパン スライド写真: 古谷均 舞台監督: 榎本トオル 演出助手: 木俣かおり(人形劇団ひとみ座)	
E	演劇	演劇	株式会社 劇団影法師	○	○	○	○	ユネスコ世界無形文化遺産！珍しい伝統影絵「皮影戯(ピーインシー)」を観てみよう！	「西遊記—三打白骨精の巻—」 原作: 呉承恩/脚色: 馬鉄漢・関澄一輝/演出: 柴廣義/音楽: 若松正司 人形美術: 柴廣義 声の出演: 孫悟空(橋爪功)、猪八戒(三谷昇)、沙悟淨(有川博)	
E	演劇	ミュージカル	オペラシアターこんにやく座	○	○	○	-	オペラ「口はロボットの口」	オペラ「口はロボットの口」 作曲: 萩京子 台本: 鄭義信 演出: 鄭義信/振付: 伊藤多恵	
E	舞踊	バレエ	東京シティ・バレエ団	○	○	○	○	ようこそ、バレエ「コッペリア」の世界へ	第1部「バレエってなあに？～バレエを楽しもう！～」 第2部「コッペリア」より(コッペリアの仕事部屋) 第3部「コッペリア」より(鐘の祭り) ■作曲: レオ・ドリーブ ■原作: ホフマン ■原台本: ニュイッテル サン・レオン ■原振付: サン・レオン ■演出・振付: 石井清子	R2 (新規)
E	伝統芸能	歌舞伎・能楽	華風会	○	○	○	○	能楽体験してみよう！能「羽衣」と狂言「柿山伏」	①狂言「柿山伏(かきやまぶし)」 ②能「羽衣(はごろも)」	
E	伝統芸能	歌舞伎・能楽	大蔵流狂言 山本会	-	○	○	○	650年前の日本にタイムスリップ！狂言の世界	狂言「柿山伏(かきやまぶし)」 「附 子(ぶす)」	
E	伝統芸能	邦楽	民族歌舞団荒馬座	○	○	○	○	祈りの祭—日本の芸能 北から南から	◆ソーラン節 ◆アイヌの唄と語り エムシリムセ(剣の舞)サロルンリムセ(鶴の舞) クリムセ(弓の舞) トロキ演奏・唄『ヤイカテカラ』 ◆沖繩の唄と語り 三線演奏・唄『ていんさぐぬ花』 国頭サバクイ 豊年踊り シーサー(沖繩の獅子舞) エイサー ◆ぶら合わせ太鼓 作・構成 宮河伸行	
E	伝統芸能	演芸	公益社団法人 落語芸術協会	○	○	○	○	「寄席」を体験しよう！～演じるヒトも聞くヒトも「よっ、日本ー！」～	●「牛ほめ」 ●「初天神」 など、子供達にも理解しやすい演目を予定。	

【C区分団体】

A・B・E	音楽	オーケストラ等	[C区分]東京フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	-	オーケストラ公演<東京フィルがやってきた！>	・オープニング : トアンダーソン: 舞踏会の美女 ・楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介)トアンダーソン楽曲より (省略) ・鑑賞: 小学校が選曲した楽曲の演奏(以下の中から選曲) トロジャース: サウンド・オブ・ミュージックより トムソルグスキー: 展覧会の絵 トドヴォルザーク: 交響曲第9番「新世界より」から第4楽章 ・アンコール : J・シュトラウス: ラデツキー行進曲 他	
-------	----	---------	---------------------	---	---	---	---	------------------------	---	--

※複数年度実施欄に「H30」の記載がある団体は平成30年度から、「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomojijutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和元年度の情報を閲覧することができます。

		A・B区分団体													C区分団体
		E48	E49	E50	E51	E52	E53	E54	E55	E56	E57	E58	E59	E60	K119
		新国立劇場 合唱団	大阪交響楽団	山形交響楽団	ミラマール・ オペラ	劇団うらんこ	デフ・パベット シアター・ひとみ	株式会社 劇団影法師	オペラシアター こんにゃく座	東京シティ・ バレエ団	専属会	大蔵流狂言 山本会	民族歌舞団 荒鳥座	公益社団法人 落語芸術協会	東京フィルハー モニー交響楽団
巡回ブロック		E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	A・B・E
項目		合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	オーケストラ等
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
6月1日	月														
6月2日	火														
6月3日	水														
6月4日	木														
6月5日	金														
6月6日	土														
6月7日	日														
6月8日	月														
6月9日	火														
6月10日	水														
6月11日	木														
6月12日	金														
6月13日	土														
6月14日	日	移													
6月15日	月	○													
6月16日	火	○													
6月17日	水	○													
6月18日	木	○													
6月19日	金	○													
6月20日	土														
6月21日	日					移									移
6月22日	月					○									○
6月23日	火		移			○									○
6月24日	水		○			○									○
6月25日	木		○			○									○
6月26日	金		○			○									○
6月27日	土														
6月28日	日			移											
6月29日	月			○		○									移
6月30日	火		移	○		○									○
7月1日	水		○	○		○									○
7月2日	木		○	○		○									○
7月3日	金			○		○									○
7月4日	土														
7月5日	日				移										
7月6日	月				○	○									
7月7日	火				○	○									
7月8日	水		移		○	○									
7月9日	木		○		○	○									
7月10日	金		○		○	○									
7月11日	土				●	移									
7月12日	日				●										
7月13日	月				○	○									
7月14日	火				○	○									
7月15日	水				○	○									
7月16日	木				○	○									
7月17日	金				●	○									
7月18日	土					○									
7月19日	日					○									
7月20日	月					○									
7月21日	火					○									
7月22日	水					○									
7月23日	木					○									
7月24日	金					○									
7月25日	土					○									
7月26日	日					○									
7月27日	月					○									
7月28日	火					○									
7月29日	水					○									
7月30日	木					○									
7月31日	金					○									
8月1日	土					○									
8月2日	日					○									
8月3日	月					○									
8月4日	火					○									
8月5日	水					○									
8月6日	木					○									
8月7日	金					○									
8月8日	土					○									
8月9日	日					○									
8月10日	月					○									
8月11日	火					○									
8月12日	水					○									
8月13日	木					○									
8月14日	金					○									
8月15日	土					○									
8月16日	日					○									
8月17日	月					○									
8月18日	火					○									
8月19日	水					○									
8月20日	木					○									
8月21日	金					○									
8月22日	土					○									
8月23日	日					○									
8月24日	月														移
8月25日	火														○
8月26日	水														○
8月27日	木														○
8月28日	金														
8月29日	土														
8月30日	日														移
8月31日	月		移												○

	A・B区分団体														C区分団体 K119
	E48	E49	E50	E51	E52	E53	E54	E55	E56	E57	E58	E59	E60		
	新国立劇場 合唱団	大阪交響楽団	山形交響楽団	ミラマール・ オペラ	劇団うりんこ	デフ・パベット シアター・ひとみ	株式会社 劇団影法師	オペラシアター こんにゃく座	東京シティ・ バレエ団	卓風会	大蔵流狂言 山本会	民族歌舞団 荒鳥座	公益社団法人 青森芸術協会	東京フィルハー モニー交響楽団	
巡回ブロック	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	
項目	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	オーケストラ等	
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
9月1日	火	○								●				○	
9月2日	水	○								●				○	
9月3日	木	○								●				○	
9月4日	金	○								○					
9月5日	土	○													
9月6日	日	○			移					移				移	
9月7日	月	○			○					○				○	
9月8日	火	○			○					○				○	
9月9日	水	○			○					○				○	
9月10日	木	○			○					●				○	
9月11日	金				○					●				○	
9月12日	土	移			●									○	
9月13日	日	○			移			○		移	移				
9月14日	月	○						○		○					
9月15日	火	○						○		○					
9月16日	水	○						○		○	○				
9月17日	木	○						○		○	○				
9月18日	金	○						○		○	○				
9月19日	土	○						○		○					
9月20日	日	○						○							
9月21日	月							○							
9月22日	火				移			○		移				移	
9月23日	水				○			○		○				○	
9月24日	木				○			○		●				○	
9月25日	金				○			○		●				○	
9月26日	土				○			○						○	
9月27日	日	移			○			○		移	移				
9月28日	月	○			○			○		○	○				
9月29日	火	○			○			○		○	○				
9月30日	水	○			○			○		○	○				
10月1日	木	○			○			○		○	○				
10月2日	金	○			○			○		○	○				
10月3日	土				○			○							
10月4日	日				○			○		移					
10月5日	月				○			○		○					
10月6日	火				○			○		○					
10月7日	水				○			○		○					
10月8日	木				○			○		○					
10月9日	金				○			○		●					
10月10日	土				○			○							
10月11日	日				○			○		移					
10月12日	月				○			○		○					
10月13日	火				○			○		○					
10月14日	水				○			○		○					
10月15日	木				○			○		○					
10月16日	金				○			○		○					
10月17日	土				○			○		○					
10月18日	日		移		○			○		移		移			
10月19日	月		○		○			○		○		○			
10月20日	火		○		○			○	移	○		○			
10月21日	水		○		○			○	○	○		○			
10月22日	木		○		○			○	○	○		○			
10月23日	金		○		○			○	○	○		○			
10月24日	土				○			○				○			
10月25日	日				○			○		移		移	移		
10月26日	月				○			○	○	○		○	○		
10月27日	火				○			○	○	○		○	○		
10月28日	水				○			○	○	○		○	○		
10月29日	木				○			○	○	○		○	○		
10月30日	金				○			○	○	○		○	○		
10月31日	土				○			○	○	○		○	○		
11月1日	日	移			○			○		移					
11月2日	月	○			○			○		○					
11月3日	火	○			○			○		移					
11月4日	水	○			○			○		○					
11月5日	木	○			○			○		○					
11月6日	金	○			○			○		○					
11月7日	土	○			○			○		○					
11月8日	日	○	移		○			○		移	移		移		
11月9日	月	○	○		○			○		○	○		○		
11月10日	火	○	○		○			○		○	○		○		
11月11日	水	○	○		○			○		○	○		○		
11月12日	木	○	○		○			○		○	○		○		
11月13日	金		○		○			○		○	○		○		
11月14日	土				○			○	移	○			○		
11月15日	日				○	移		○		移			○	移	
11月16日	月				○			○		○			○		
11月17日	火				○			○		○			○		
11月18日	水				○			○		○			○		
11月19日	木				○			○		○			○		
11月20日	金				○			○		○			○		
11月21日	土				○			○		○			○		
11月22日	日				○			○		○			○		
11月23日	月				○			○		○			○	移	
11月24日	火				○	○		○		○			○	○	
11月25日	水				○	○		○		○			○	○	
11月26日	木				○	○		○		○			○	○	
11月27日	金				○	○		○		○			○	○	
11月28日	土				○	○		○		○			○	○	
11月29日	日	移	移		○			○		移		移	○	移	
11月30日	月	○	○		○	○		○		○		○	○	移	

		A・B区分団体												C区分団体	
		E48	E49	E50	E51	E52	E53	E54	E55	E56	E57	E58	E59	E60	K119
		新国立劇場 合唱団	大阪交響楽団	山形交響楽団	ミラマール・ オペラ	劇団うりんこ	デフ・パベット シアター・ひとみ	株式会社 劇団影法師	オペラシアター こんにゃく座	東京シティ・ バレエ団	専修会	大蔵流狂言 山本会	民族歌舞団 筑島座	公益社団法人 落語芸術協会	東京フィルハー モニー交響楽団
巡回ブロック		E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	A・B・E
項目		合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	オーケストラ等
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
12月1日	火	○	○	移	○	○	○	○			○		○	○	○
12月2日	水	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○
12月3日	木	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○
12月4日	金	○		○	○	○	○	○			○		●	○	○
12月5日	土				●			○							○
12月6日	日		移		●			○			移				○
12月7日	月		○		○	○		○			○		移	○	○
12月8日	火		○		○	○		○			○		○	○	○
12月9日	水		○		○	○		○			○		○	○	○
12月10日	木		○		○	○		○			○		○	○	○
12月11日	金					○		○			○		○	○	○
12月12日	土				●			○			●		●		○
12月13日	日				●						移				
12月14日	月				○			○			○				
12月15日	火				○			○			○				
12月16日	水				○			○			○				
12月17日	木				○	○		○			○				
12月18日	金				○	○		○			○				
12月19日	土				●	移		○			○				
12月20日	日				移			○			移				
12月21日	月							○			○				
12月22日	火							○			○				
12月23日	水							○			○				
12月24日	木							○			○				
12月25日	金							○			○				
12月26日	土														
12月27日	日														
12月28日	月														
12月29日	火														
12月30日	水														
12月31日	木														
1月1日	金														
1月2日	土														
1月3日	日														
1月4日	月										移				
1月5日	火										○				
1月6日	水										○				
1月7日	木										○				
1月8日	金										○				
1月9日	土										●				
1月10日	日							○							
1月11日	月							○			移				移
1月12日	火							○			○				○
1月13日	水							○			○				○
1月14日	木							○			○				○
1月15日	金							○			○				
1月16日	土							○			○				
1月17日	日							○			移				
1月18日	月							○			○				
1月19日	火							○			○				
1月20日	水							○			○				
1月21日	木							○			○				
1月22日	金							○			○				
1月23日	土							○			○				
1月24日	日							○			移				移
1月25日	月							○			○				○
1月26日	火			移				○			○				○
1月27日	水			○				○			○				○
1月28日	木			○				○			○				○
1月29日	金			○				○			○				
1月30日	土							○			○				
1月31日	日							○			○				

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	<input checked="" type="checkbox"/> 合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん しんこくりつげきじょううんえいざいだん		
制作団体名	公益財団法人 新国立劇場運営財団		
代表者職・氏名	理事長 尾崎元規		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目1番1号 (京王新線初台駅直結)		
電話番号	03-5351-3011(代表)	FAX番号	03-5352-5739
ふりがな	しんこくりつげきじょうがっしょうだん		
公演団体名	新国立劇場合唱団		
代表者職・氏名	理事長 尾崎元規 (公益財団法人 新国立劇場運営財団)		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目1番1号 (京王新線初台駅直結)		
制作団体 設立年月	1993年 4月		
制作団体 組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	会長:中西 宏明 理事長:尾崎 元規 芸術監督:大野 和士(オペラ)		会長1名、顧問7名、評議員25名、理事20名(うち 理事長1名、常務理事3名)、監事2名、会計監査人 2名、芸術監督3名、芸術参与1名、研修所長3名、 職員141名等
事務体制の担当	専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	高橋 徹
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	経理責任者名	総務部長 苫米地 令

制作団体沿革	<p>1993年4月 財団法人第二国立劇場運営財団設立</p> <p>1995年4月 劇場名が新国立劇場と決定し、同時に名称を財団法人新国立劇場運営財団と改める。</p> <p>1997年10月 新国立劇場オペラ「建・TAKERU」にて開場、以後オペラ・舞踊・演劇といった現代舞台芸術の自主公演を継続的に上演する。</p> <p>1998年4月 1998/99シーズンより新国立劇場合唱団を組織、オペラ「蝶々夫人」出演</p> <p>2012年4月 公益財団法人に移行。公益財団法人新国立劇場運営財団となる</p>		
学校等における公演実績	<p>2008年6月、2011年12月、2015年11月 三鷹市明星学園小学校音楽鑑賞会</p> <p>2013年5月 松本市内全中学校 芸術鑑賞会</p> <p>2015年6月 上田市内高等学校 芸術鑑賞会</p> <p>2016年6月 長野市内高等学校 芸術鑑賞会</p> <p>2017年5月 長野市内中学校 芸術鑑賞会</p> <p>2018年6月 松本市内小学校 芸術鑑賞会</p> <p>2009年度より現在まで、文化庁本事業に参加</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>2010年1月 広島県広島特別支援学校</p> <p>2012年9月 青森県立青森若葉養護学校</p> <p>2013年2月 北海道白糠養護学校</p> <p>2015年9月 神奈川県立中原養護学校、愛知県立豊橋特別支援学校</p> <p>2016年6月 神奈川県立中原養護学校</p> <p>2017年11月 滋賀県立野洲養護学校</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID:</p> <p>PW:</p>
	Aの提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID:</p> <p>PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 新国立劇場合唱団】

対象	小学生(低学年・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u>)・ <u>中学生</u>		
企画名	文化芸術による子供の育成事業 特別合唱コンサート		
本公演演目	新国立劇場合唱団 文化芸術による子供の育成事業プログラム (小学校 低学年・中学年・高学年 及び中学生向け)		公演時間(90分)
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>各校の校歌演奏(混声四部合唱に編曲)</p> <p>演奏会の導入に当該校の校歌を合唱で演奏することによって、プログラムへの関心を高めます。身近にある歌が合唱になることによって変化することによって歌の多様性を感じていただくことも狙いのひとつとします。</p> <p>日本の歌・世界の歌・オペラの世界</p> <p>児童に親しみのある曲を合唱で聴くことによって歌うことの楽しみを感じていただきます。高い演奏技術で世界的に評価されている「新国立劇場合唱団」の演奏で様々な合唱を堪能していただきます。その演奏をもとに歌や合唱の歴史、クラシック音楽やオペラの話を取り入れていきます。</p> <p>新国立劇場合唱団の演奏の基盤である「オペラ」においては、小学生に対して「歌いながらす劇」というような解説、中学生に対しては歴史・成り立ちを簡単に説明するとともに、オペラが「音楽」「演技」「言葉」などの複合要素で構成されている舞台芸術であることも理解していただきます。</p> <p>曲目： 童歌「ほたるこい」(女声合唱) 民謡「ソーラン節」(男声合唱) 各地域に伝わる民謡や唱歌を合唱に編曲しての演奏 ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」より抜粋 マスカーニ作曲「カヴァレリア・ルスティカーナ」より オレンジの花は香り(混声) ワーグナー作曲「さまよえるオランダ人」より 糸紡ぎの合唱(女声) ウェーバー作曲「魔弾の射手」より 狩人の合唱(男声) ヴェルディ作曲「椿姫」より 乾杯の歌(混声)</p> <p>総合ワークショップ～合同演奏</p> <p>事前に行うワークショップを基に「全校生徒」で各校の「校歌」の歌唱指導、合唱指導を行います。事前のワークショップから引き続き発声方法の指導、その後各校生徒児童にとって将来にわたって歌われるであろう「校歌」(各校の事情により愛唱歌でも可能)の歌唱、合唱指導となります。</p> <p>アンコールとして ビゼー作曲「カルメン」より行進曲と合唱～終幕の合唱</p> <p>※曲目は変更の可能性があります。</p>		
演目選択理由	歌の歴史的な解説や様々な種類の声を使った楽曲を横断的に取り上げることにより、音楽表現に興味をもっていただき、更にオペラでは「舞台芸術」を理解し、表現することの意味や音楽を聴く楽しみを体験してもらいたいと考えております。		
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	演奏会の冒頭では「校歌」を混声四部合唱に編曲して演奏いたします。プログラム後半の総合ワークショップ～合同演奏では各校校歌(愛唱歌も可能)を、指導しながら一緒に演奏することにより、より身近に音楽の素晴らしさを体験していただきます。		
出演者	指揮:三澤洋史・富平恭平 ピアノ:水野彰子・平塚洋子 合唱:新国立劇場合唱団 30名 *合唱メンバーは別紙参照。メンバー表より選出。		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 32名 スタッフ: 5名 合計: 37名	機材等 運搬方法	積載量 1.0t 車長 4.7m 台数 1台

【公演団体名 新国立劇場合唱団】

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(2時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="389 1088 1433 1205"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9時</td> <td>9時～11時</td> <td>13時～14時30分</td> <td>10分</td> <td>14時30分～ 15時30分</td> <td>16時</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> <p>◎11時～ リハーサルを行います。(公演団体:所要90分)</p> <p>◎基本的に午後公演ですが、本公演を午前中に開催される場合は、前日仕込みを行います。</p> <p>◎前日仕込みを行う場合は、体育館準備の事故防止の為、体育館の使用を制限願います。</p>						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	9時	9時～11時	13時～14時30分	10分	14時30分～ 15時30分	16時
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
9時	9時～11時	13時～14時30分	10分	14時30分～ 15時30分	16時													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	10名～1,000名																
	本公演	10名～1,000名																
ワーショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	姿勢や顔の表情、呼吸方法から説明をして基本的な発声の指導を行います。わかりやすい解説、圧倒的な声量と高度な技術を手本として指導してまいります。通常の話し声とオペラの発声との違い、本公演で取り上げる校歌や愛唱歌を題材として自分自身が楽しく歌うこと、仲間と歌うことが楽しめるように指導を行います。自分が声を出すこと、仲間のパートを意識すること、「一緒にものごとを作り上げることの楽しさ」というような話題もあわせて行います。																	
ワーショップ 実施形態の意図	この演目では公演自体の総合ワークショップが非常に大きな位置を占めるプログラムとなっております。導入となる事前ワークショップとその仕上げとなる公演に含まれる総合ワークショップにより、その後の校内行事でも「校歌」(愛唱歌)を楽しく歌うことが出来るようになっていただき、学校生活を生き生きと過ごせるような体験をしてもらうよう考えております。																	
特別支援学校で の実施における 工夫点	学校側の諸事情を汲み取り柔軟に対応します。日常の生活状況をおうかがいしながら「歌」を楽しむ工夫をしております。生徒に触れる形で演奏し、声を出すことだけではなくリズムを取り入れる工夫をさせていただきます。																	

実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。
--------	------------------------

2019/2020シーズン 新国立劇場合唱団 メンバー名簿

契約メンバー

	ソプラノ	アルト	テノール	バス
1	石田 亜希子	石澤 希美	大木 太郎	秋本 健
2	岩本 麻里	小酒部 晶子	寺田 宗永	上野 裕之
3	岩本 留美	四家 緑	中川 誠宏	大森いちえい
4	黒澤 明子	鈴木 涼子	二階谷 洋介	佐藤 勝司
5	近藤 宏美	長澤 美希	西沢 健吾	タン・ジュンボ
6	塚村 紫	中野 優子	半田 爾	千葉 裕一
7	直野 容子	福間 章子	真野 郁夫	照屋 睦
8	福留 なぎさ	西本 会里	丸山 哲弘	徳吉 博之
9	藤井 直美	前田 祐佳	渡辺 文智	細岡 雅哉
10	前川 依子	吉田 理絵		
11	丸山 則子			
12	龍 三佳代			
	12名	10名	9名	9名
	合計40名			

登録メンバー

	ソプラノ	アルト	テノール	バス
1	相川 知子	荒川 恵美	阿部 修二	青鹿 博史
2	井垣 朋子	垣内 江利子	石塚 幹信	岡田 誠
3	益 文美	河合 美紀	岩本 識	金子 宏
4	大音 絵莉	北村 典子	梅原 光洋	川村 章仁
5	金子 寿栄	熊井 千春	大久保 憲	木谷 圭嗣
6	熊坂 真里	小林 昌代	加藤 信行	黒田 諭
7	肥沼 諒子	佐々木 昌子	嘉松 芳樹	五島 真澄
8	国分 晴香	清水 芳子	黒田 大介	小林 宏規
9	小林 多摩美	竹本 あづみ	木幡 雅志	堺 裕貴
10	込山 由貴子	立川 かずさ	東海林 尚文	佐藤 哲朗
11	佐藤 路子	野田 千恵子	高嶋 康晴	田村 洋貴
12	佐藤 泰子	長谷川 光栄	高橋 拓真	西村 朝夫
13	藤永 和望	花房 英里子	塚田 堂琉	塙 翔平
14	松浦 藍	増田 弓	那知 上晃	比嘉 誉
15	松原 典子	松浦 麗	根木 秀雄	東 玄彦
16	三浦 志保	丸山 真木子	橋本 大樹	古川 和彦
17	宮田 早苗	村山 舞	長谷川 公	別府 真也
18	門口 千絵美	山下 千夏	廣田 亮	保坂 真悟
19	鷺山 恵利子	横町 あゆみ	宮本 英一郎	前田 進一郎
20	和田 しほり	吉成 文乃	森田 有生	宮本 俊一
21	渡邊 早貴子			山下 友輔
22				山本 竜介
23				龍 進一郎
	21名	20名	20名	23名
	合計84名			

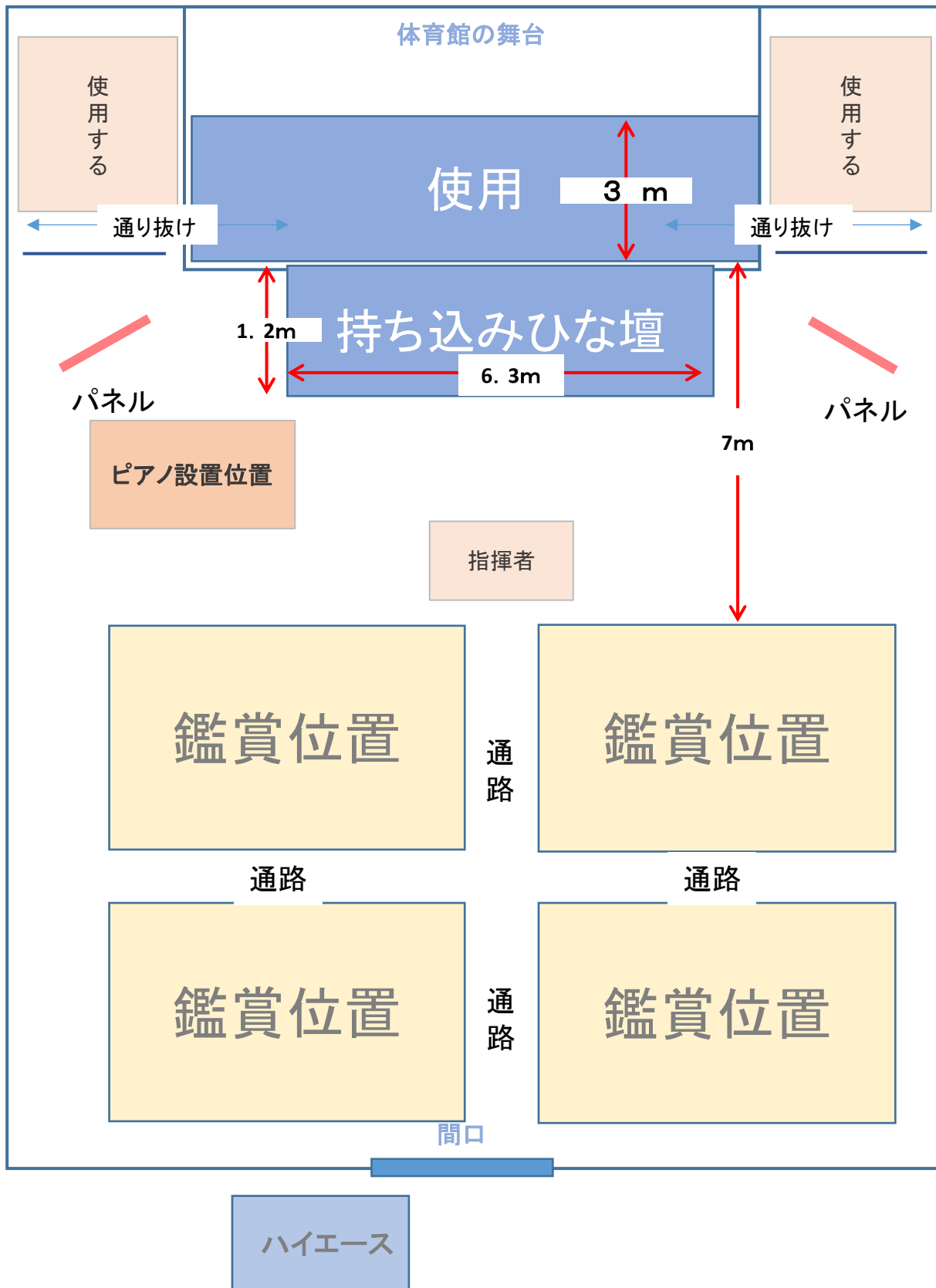
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E48	分野	音楽	種目	合唱	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	新国立劇場合唱団			制作団体名	公益財団法人 新国立劇場運営財団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	不可	必要数 *	2室	条件	男性、女性の着替え用のためカーテンがある部屋が必要です。							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台	大型バス			1台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			ハイエース							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内							
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り階段の無い経路が、望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 							
		理由			ひな壇等の大道具の搬入をする為。							
	可	設置階の制限 *			問わない							
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m					
WSIについて	可	参加可能人数			10～1000名							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			10～1000名							
	可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	7m	高さ	指定無し			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態				
	可				緞帳 *	不要		バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	太陽が眩しい時のみ使用					
	不可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。						
	不可			ピアノの事前調律 *		要						
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			特になし		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項											

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否			要	
横づけができない場合の搬入可能距離			10m	

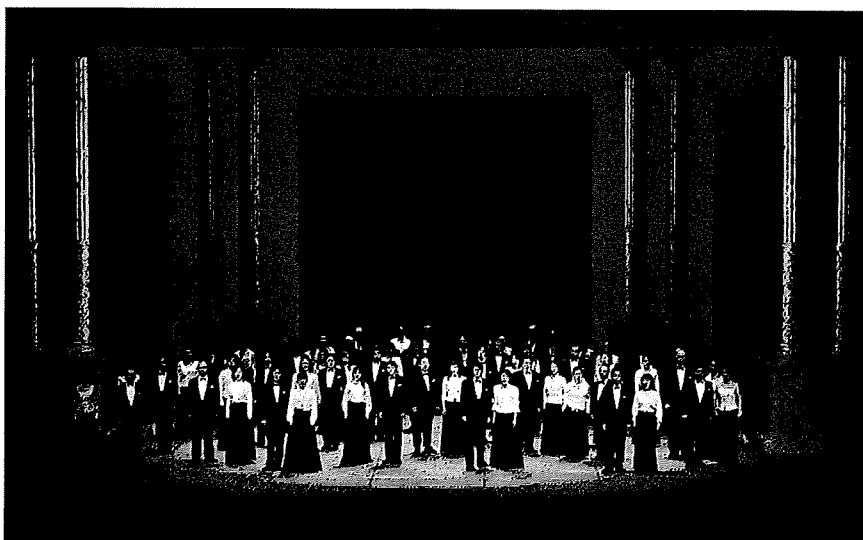
※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和元年度

文化芸術による子供育成総合事業

— 巡回公演事業 —

しんこくりつげきじょうがっしょうだん
新国立劇場合唱団
〈合唱公演〉



撮影：三枝近史

「文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



プログラム

● 校歌演奏 (混声四部合唱)

● 日本の歌・世界の歌・オペラの世界

日本のうた

*皆さんが住んでいる日本にはたくさんの素晴らしい曲が歌われています。いつもは何気なく聞いているテレビから流れている曲だけではなく、小さいときに歌った童謡や昔から歌われている唱歌。また地域によっても違いがある民謡。学校生活の中でも歌う機会がたくさんあります。歌詞を読むだけでも色々な発見がありますので、様々な歌に出会い、心を豊かにしてください。

● わらべうた (小倉 朗作曲) 「ほたるこい」

日本のわらべうたとして知られている曲を女声合唱で演奏します。輪唱の形式を基本に取り入れ、全体を三つのパートに分ける「三部合唱」にて演奏します。ほたるがそこそこで光を発している様子が大変うまく表現されている曲になっています。



● 民謡 (清水 脩作曲) 「そうらん節」

北海道の民謡です。漁師達がかけごえを出し合ってニシンの漁をする様子を歌っています。男声合唱ならではの力強い歌声を聴くことが出来ます。「男声四部合唱」は合唱の響きに厚みが出来て勇壮な漁の様子が表現されています。

● 三澤 洋史作曲 各都道府県に伝わる歌や民謡を合唱にしてみました

新国立劇場が今回の演奏会のためにそれぞれの都道府県で歌われる歌やメロディーをもとにした合唱曲を作ってみました。皆さんが生活している地域でも親しまれている曲があると思います。もしかしたら聞き覚えのあるメロディーが聞こえてくるかもしれませんが合唱にして演奏すると普段と違った新しい発見を見つけることが出来ることと思います。

世界の歌

*日本以外の国々で歌われている歌の一部をご紹介します。日本とは違う歴史や風土、人々の習慣によって、各国ごとに特徴のある曲が生まれます。そのような国々を訪れる機会があるときは是非そこに流れる歌に耳を傾けてみてください。ここではドイツの曲を取り上げます。

● ベートーヴェン作曲 「交響曲第九番」より第四楽章

ベートーヴェンはドイツで生まれた作曲家です。「運命」という五番目に作曲された交響曲は、よく知られていますがその他にも優れた作品が多く、日本では年の暮れに演奏される交響曲第九番は「歓喜のうた」と言われ、喜びをたからかに歌いあげます。



オペラの世界

*オペラという言葉はイタリア語で、日本語にすると「歌劇」といいます。歌いながら芝居をしたり踊ったりもします。台詞を歌で歌いながら、お話が進んでいきます。歌や芝居、踊り、オーケストラ、舞台の大道具や装置、衣裳や、照明などいろいろなることを舞台で行います。合唱団のメンバーは農民や貴族、狩人や町の人々など様々な役を演じます。

●マスカーニ作曲 「カヴァレリア・ルスティカーナ」より オレンジの花は香り

「カヴァレリア・ルスティカーナ」というのは「田舎の武士」というような意味です。1幕の短い作品であるこのオペラは物語の後半では激しい決闘の場面がありますが、今回聞いていただくこの合唱は、作品の冒頭で教会の鐘が聞こえる中、女声合唱から始まり男声合唱が応える形になって、村の人々が春の訪れ、美しい自然をほめたたえる内容となっています。

●ワーグナー作曲 「さまよえるオランダ人」より 糸紡ぎの合唱

ワーグナーは神話に基づいたオペラをいくつも作曲しました。この作品では神の罰で海をさまよう幽霊船の船長のオランダ人が現れます。このオペラの中では不気味な船乗りの合唱の部分なども有名ですが、この曲は其中でも一転して楽しい雰囲気を感じさせる内容で、船乗りたちの帰りを待ち焦がれる娘たちが糸を紡ぎながら歌います。くるくる糸車を回す様子を聞くことが出来ます。

●ウェーバー作曲 「魔弾の射手」より 狩人の合唱

魔弾というのは「魔法の弾丸」、猟銃の弾のことです。射手は撃つ人、つまり「魔弾の射手」は「魔法の弾を撃つ人」という意味です。村一番の狩人を決める射撃大会の日、狩人たちが狩の素晴らしさをたたえて勇壮に歌います。ドイツ語で歌います。

●ヴェルディ作曲 「椿姫」より 乾杯の歌

「椿姫」は19世紀半ばのバリの社交界を舞台としたオペラです。この曲では、パーティーで、みんなでグラスをかかげ、楽しい夜を過ごしましょう、と歌います。また、この曲には二人のソリストも登場します。女性にはヴィオレッタ、男性はアルフレード。アルフレードは、ずっとあこがれていたヴィオレッタと話すことが出来た喜びを歌い、ヴィオレッタは純粋なアルフレードの気持ちに心が騒ぎます。イタリア語で歌います。

■学校との合同演奏 学校校歌、学校希望曲など

皆さんが学校で歌っている曲を私たち新国立劇場合唱団と歌いましょう。わからないことは近くにいる新国立劇場合唱団の合唱メンバーに歌い方を教えてもらってください。

ワークショップでお話ししたことを覚えていますか？肩に力が入らないようにしていい姿勢で立ってください。そしてたくさん息を吸うときにも力が入りすぎないように注意してください。遠くにいる人に向かって頭の後ろから投げするような気持ちで声を出しましょう。

校歌を歌う場合は、歌詞の内容を今一度思い出してみてください。そして自分の教室、友達や先生などを思いながら歌うことがあってもいいと思います。

合唱は、一人ではなく大人数で歌う共同作業です。一人で何かすることより、より多くのことを表現する音が出来ます。一人でやることより工夫が必要になりますが、歌う人がひとりでも増えるとその分だけ、楽しいことを分け合うことが出来ます。

いい顔をすることを忘れないでください。

新国立劇場合唱団 New National Theatre Chorus

新国立劇場は、オペラ、バレエ、ダンス、演劇という現代舞台芸術のためのわが国唯一の国立劇場として、1997年10月に開場した。新国立劇場合唱団も年間を通じて行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を始めた。メンバーは100名を超え、新国立劇場が上演する多彩なオペラ公演により年々レパートリーを増やしている。個々のメンバーは高水準の歌唱力と演技力を有しており、合唱団としての優れたアンサンブル能力と豊かな声量は、公演ごとに共演する出演者、指揮者、演出家・スタッフはもとより、国内外のメディアからも高い評価を得ている。2007年より、新国立劇場で上演される通常のシーズン公演の出演に加え、劇場外からの出演依頼の声に応じて外部公演への出演を開始。コンサートではNHK交響楽団をはじめ、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、紀尾井シンフォニエッタ、オーケストラ・アンサンブル金沢などの国内主要オーケストラと共演。海外のオーケストラとはロイヤル・コンサート・ヘボウ管弦楽団、マリンスキー歌劇場管弦楽団、トリノ国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と共演を果たした。また東京文化会館、東京オペラシティ、東京芸術劇場、横浜みなとみらいといった国内のホールからの出演依頼、毎年1月3日の「NHKニューイヤーパーオペラコンサート」の出演、文化庁委託事業「文化芸術による子供の育成事業」での学校巡回公演など、幅広く活動の場を広げている。

指揮：富平恭平（6月17日～21日、11月25日～29日、12月3日～12月5日）
ピアノ：平塚洋子（6月17日～21日）
水野彰子（11月25日～29日）（12月3日～12月5日）

実施日程	実施校名	地元主催者
2019年6月17日(月)	鈴鹿市立庄内小学校	三重県教育委員会、鈴鹿市教育委員会
2019年6月18日(火)	吉野町立吉野小学校、吉野北小学校	奈良県教育委員会、吉野町教育委員会
2019年6月19日(水)	津市立家城小学校	三重県教育委員会、津市教育委員会
2019年6月20日(木)	松阪市立中川小学校	三重県教育委員会、松阪市教育委員会
2019年6月21日(金)	下北山村立下北山小学校、下北山中学校	奈良県教育委員会、下北山村教育委員会
2019年11月25日(月)	和歌山大学教育学部附属小学校	和歌山県教育委員会
2019年11月26日(火)	和歌山市立貴志小学校	和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会
2019年11月27日(水)	有田市立港小学校	和歌山県教育委員会、有田市教育委員会
2019年11月28日(木)	御所市立御所小学校	奈良県教育委員会、御所市教育委員会
2019年11月29日(金)	尾鷲市立尾鷲小学校	三重県教育委員会、尾鷲市教育委員会
2019年12月3日(火)	四日市市立常盤中学校	三重県教育委員会、四日市市教育委員会
2019年12月4日(水)	堺市立庭台小学校	堺市教育委員会
2019年12月5日(木)	新宮市立光洋中学校	和歌山県教育委員会、新宮市教育委員会

知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

IV 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(実演芸術)

分野、種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱、 <u>オーケストラ等</u> 、音楽劇
【演劇】	児童劇、演劇、ミュージカル
【舞踊】	バレエ、現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽、人形浄瑠璃、邦楽、邦舞、演芸

申請する区分に、○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきしゃだんほうじん おおさかこうきょうがくだん		
制作団体名	公益社団法人 大阪交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 樋口 武男		
制作団体所在地 (最寄駅・バス停)	〒 590-0074 大阪府堺市堺区北花田口町3-1-15 東洋ビル4階 南海高野線 堺東駅		
電話番号	072-226-5533	FAX番号	072-226-5544
ふりがな	おおさかこうきょうがくだん		
公演団体名	大阪交響楽団		
代表者職・氏名	楽団長・インテンダント 二宮 光由		
公演団体所在地 (最寄駅・バス停)	〒 590-0074 大阪府堺市堺区北花田口町3-1-15 東洋ビル4階 南海高野線 堺東駅		
制作団体設立年月日	1980年9月(公益社団法人化2018年11月)		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 樋口 武男 理事 二宮光由、赤穂正秀/他23名 監事 岸田 泰治(公認会計士)	楽団長・インテンダント 二宮 光由 事務局長 赤穂 正秀 事務局員 17名 楽団員 50名(オーディションによる) 法人会員 272社 912口 / 個人会員 209名 296口 2019年4月1日現在	
事務体制の担当	<u>専任</u> ・他の業務と兼任	本事業担当者名	常務理事・事務局長 赤穂 正秀
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・無	経理責任者名	敷島 八枝子

<p>制作団体沿革</p>	<p>1980年「大阪シンフォニカー」として創立。初代音楽監督・常任指揮者に小泉ひろしを迎える。永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」であると評されている。1990年9月に国際花と緑の博覧会閉会式典演奏を担当。皇太子殿下や世界各国のゲストの前で演奏を行う。1992年1月にトーマス・ザンデルリンクを音楽監督・常任指揮者に迎え、オーケストラとしての基礎を築いた。2001年1月に「大阪シンフォニカー交響楽団」に改称するとともに曾我大介を音楽監督・常任指揮者に、さらに2004年9月からは大山平一郎がミュージックアドバイザー・首席指揮者に就任、そして2008年4月からは児玉宏が音楽監督・首席指揮者に就任、その活動ぶりと演奏は各方面から高い評価を得た。2010年4月に楽団名を「大阪交響楽団」と改称。また支援組織として、1988年大阪シンフォニカー協会が設立、2008年12月に一般財団法人となる。さらに2012年4月に支援組織と楽団を統合し一般社団法人大阪交響楽団に、2018年11月に公益社団法人となった。2000年本拠地を大阪府堺市へ移転。2006年4月、大和ハウス工業株式会社代表取締役会長樋口武男氏が運営理事長に就任している。</p> <p>2015年4月には二宮光由が楽団長・インテンダントに就任。さらに2016年4月からは、日本楽壇最長老の外山雄三がミュージック・アドバイザーに就任、2004年1月から正指揮者として、また2011年4月からは常任指揮者に就任した寺岡清高氏（2000年ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝）の両指揮者陣のもと、さらなる楽団の飛躍が期待されている。</p> <p>1990年大阪府知事表彰。2007年音楽クリティック・クラブ賞を受賞。2008年1月、平成19年度（第62回）文化庁芸術祭「芸術祭優秀賞」を受賞。同年7月、平成20年度「堺市栄誉賞」を受賞。2009年7月、平成21年度「堺市功績団体」として堺市より表彰。2010年1月、平成21年度（第64回）文化庁芸術祭「芸術祭大賞」を受賞。2012年11月には第47回大阪市民表彰（文化功労部門）を表彰。2013年6月、平成25年度大阪文化祭賞を受賞。同賞の受賞は、91年、93年、99年、2000年に続き5度目となる。</p> <p>海外公演は2002年12月、日本・ルーマニア交流100周年記念として初のヨーロッパ公演を、2003年3月には日越外交樹立30周年記念としてベトナム・ハノイ市にて公演を行っている。</p> <p>CDは、「ブラームス交響曲全集」と、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの助成により「児玉宏のディスカヴァリー・クラシックシリーズ」全5タイトル（いずれもキングレコード）、宇野功芳指揮で「ベートーヴェン：交響曲第9番『合唱付き』」（オクタヴィアレコード）をリリースしている。</p> <p>楽団公式ホームページ（http://.sym.jp）（2019年4月現在）</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>年間公演実績</p> <p>平成27年度 16公演（高校4公演 小学校12公演）</p> <p>平成28年度 13公演（高校3公演 小学校10公演）</p> <p>平成29年度 17公演（高校7公演 小学校10公演）</p> <p>平成30年度 16公演（高校6公演 小学校10公演）</p> <p>令和元年度 14公演（高校4公演 小学校10公演）</p>	<p>文化芸術による子供の育成事業</p> <p>25公演</p> <p>文化芸術による子供の育成事業</p> <p>15公演</p> <p>文化芸術による子供の育成事業</p> <p>13公演</p> <p>文化芸術による子供の育成事業</p> <p>12公演</p> <p>文化芸術による子供育成総合事業</p> <p>6公演</p>	
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>平成23年度 1公演（次代を担う子どもの文化芸術体験事業）</p> <p>平成25年度 1公演（次代を担う子どもの文化芸術体験事業）</p> <p>平成27年度 2公演（文化芸術による子供の育成事業）</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p> <p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p> <p><input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>ID:</p> <p>PW:</p>	
<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p> <p>ID:</p> <p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 大阪交響楽団】

対象	小学生 (低学年・中学年・高学年) ・中学生				
企画名	大阪交響楽団 演奏会				
本公演演目	編成 3333-4331 Asx Timp1 Per5 Harp Piano/Celesta 9-8-6-5-4 計64+指揮者・司会者・バレエダンサー				公演時間 1時30分00秒
	【オープニング】 ジョン・ウィリアムズ 映画「スターウォーズ」から”メインテーマ”				05分00秒
	【オーケストラ解剖】 なかむら たかし 大阪交響楽団オリジナル楽器紹介“オーケストラの仲間たち”				20分00秒
	～～休憩 10分～～				前半MC込み25分00秒
原作/作曲	【組曲「展覧会の絵」(バレエ付き)】 ムソルグスキー/ラヴェル編 組曲「展覧会の絵」				バレエ・バントマイム 35分00秒
脚本	プロムナード/グノムス(小人)/古い城/テュイルリーの庭/ヴァイドロ(牛車) 殻をつけたひなの踊り/サミュエル・ゴールデンベルクとシュミイレ/リモージュの市場 カタコンブ(ローマ時代の墓)/パーバ・ヤガーの小屋/キエフの大きな門				ナレーションつき
演出/振付	【オーケストラと共演しよう!】(下記の中から共演曲1曲を選択) ① 杉本竜一 ビリーブ (小学校向け)				可能な共演形態 ソプラノ・リコーダー 器楽合奏 金管バンド 吹奏楽 全校生で斉唱 2部合唱
	② スーザ 行進曲「星条旗よ永遠なれ」(吹奏楽の調)				金管バンド(小学校) 吹奏楽(中学校)
	③ スーザ 行進曲「ワシントンポスト」(吹奏楽の調)				金管バンド(小学校) 吹奏楽(中学校)
	④ 佐藤 眞 オートリオ「土の歌」より “大地讃頌”(中学校向け)				合唱共演
	⑤ 八木澤 教司 あすという日が				合唱共演
	⑥ 菅野 よう子 花は咲く				合唱共演
	アンコール① J・シュトラウスⅡ	ラデツキー行進曲	後半MC込み45分00秒		
	アンコール② 【校歌を一緒に歌おう!】	(校歌でも吹奏楽・器楽合奏・リコーダー合奏などと共演できます)	05分00秒		
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要 演目選択理由	<p>プログラムの趣旨……オーケストラとクラシック音楽に生徒が興味を持って参加し、鑑賞しながら多くのことを感じ考える為の様々な工夫をしています。とかく受動的になりがちな演奏会で、生徒に色々な角度・視点から親しんでもらい、積極的に参加することにより、オーケストラにより親近感と興味を持ってもらうことを目的としてプログラムを組みました。</p> <p>大阪交響楽団オリジナル楽器紹介……フルートから始まり木管楽器、金管楽器、弦楽器、打楽器と、オーケストラで使用している楽器を、クラシックの名曲にのせて紹介していく、大阪交響楽団オリジナルの楽器紹介曲です。キーワードは“4”。オーケストラはすべて“4”で成り立っています。木管・金管・弦楽器・打楽器の4セクション、フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴットの木管の4つの楽器、ソプラノ・アルト・テノール・バスの4声部、ヴァイオリンなどの弦楽器は4本の弦がはってあります。それらの説明をナレーションにのせ、それぞれ楽器の特徴がよくわかる曲を演奏していきます。(大阪交響楽団オリジナル曲です)</p> <p>組曲「展覧会の絵」(ムソルグスキー/ラヴェル編)…… 130年ほど前に活躍したロシアの作曲家ムソルグスキーの作品です。 親友で建築家・画家であったハルトマンの遺作展覧会でインスピレーションを得た10枚の絵に因み、ピアノ組曲として作曲しました。その後「オーケストラの魔術師」と言われたフランスの作曲家ラヴェルが管弦楽に編曲し、大変有名になりました。覚えやすいメロディーとメリハリのある曲構成で、中学校の鑑賞教材にも取り上げられるなどムソルグスキーの作品の中でもっとも知られた作品となっています。 今回のプログラムは、この組曲の10曲の小品をナレーション付きで進行し、野間バレエ団(当楽団と同じ堺市に本拠地をおくプロのバレエ団)ダンサーによるバレエとバントマイムを加えた演出で、児童・生徒がより音楽に興味を持つように制作致しました。</p> <p>吹奏楽・金管バンド・リコーダー・合唱などの共演……児童・生徒との共演を通して、より身近な演奏と鑑賞の体験をすることを目指します。吹奏楽の編成は学校によってさまざまですが、当団オリジナルで共演用にオーケストラ部分をアレンジしました。本来オーケストラにはない、サクソフォンやユーフォニアムなどの吹奏楽楽器にも共演の機会を持ってもらい、吹奏楽部生徒全員で共演できる楽しみを共有します。吹奏楽以外にも、器楽合奏(アコーディオンなど)や鼓笛隊、金管バンド、リコーダー、合唱など、共演形態はさまざまです。希望の共演形態と曲目は①～⑤の中から選択できます。</p> <p>校歌……ピアノ伴奏の楽譜をオーケストラ伴奏にアレンジします。合唱部や全校生徒による合唱、小学校の金管バンドや中学校の吹奏楽部との共演も可能です。</p>				
児童・生徒の 共演、参加又は 体験の形態	<p>※ ラデツキー行進曲では、全員で手拍子参加。指揮者の指示で手拍子を大きくしたり、小さくしたりするなどオーケストラとの共演を盛り上げます。</p> <p>※ 中学校では、サクソフォンやユーフォニアムも含めた吹奏楽部全員との共演が可能です。①～③の中から1曲選択ください。</p> <p>※ 小学校では、校歌で金管バンドや器楽部、ソプラノリコーダーや吹奏楽など学校の形態に応じた形での共演が可能です</p> <p>※ アンコールに校歌を全生徒一緒に歌います。合同開催校がある場合、複数の校歌のモデルも可能です。</p> <p>※ 地域のオリジナル共通教材(市歌・町歌)などがあれば、複数開催校で一緒に歌うこともできます。</p>				
出演者	<p>管弦楽 大阪交響楽団 基本編成 3管10型 演奏者64名+指揮者・司会者・バレエダンサー(野間バレエ団)</p> <p>指揮 柴田真郁、太田弦、平川範幸 ほか</p>				
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者 67名 スタッフ 9名 合計 76名	機材等運搬方法		車載量 4t車/2t車 車長 約8m 高さ3.4m 幅2.4m 台数 計2台	

公演にあたっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(2~3 時間程度)</p> <p>7:30~10:30 楽器搬入・舞台設営</p> <p>10:30~12:30の中で30~40分程度 共演リハーサル(児童・生徒参加)</p> <p>13:30~15:00 公演(内休憩10分)</p> <p>15:00~17:00 楽器搬出・退出</p>
児童・生徒の 参加者可能人数	<p>ワークショップ 全校児童・生徒(10~700人程度)</p> <p>本公演 全校児童・生徒(10人~700人程度)</p>
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>オーケストラの楽器の中から代表して、木管・金管・弦楽器の各セクションから各1名、計3名+ピアニスト1名+スタッフ1~2名がまいります。</p> <p>① 全校児童・生徒対象に、2時限(45分×2時限=約100分)の枠内で、ミニコンサートと、木管・金管・弦・打楽器の楽器についてのお話をします。(実質内容60分~70分)</p> <p>(各楽器の発達してきた歴史や、楽器のしくみや、音の出し方などを説明し、実際に音を出す体験をします。)</p> <p>② 共演コーナーで共演する曲目(リコーダーや、金管バンド・合唱・吹奏楽等)の事前共演指導(レッスン)を行います。(実質内容 編成により20分~100分)</p>
ワークショップ 実施形態の意図	<p>本公演の事前学習として、楽器の名前や形・色・音色などにふれることにより、さらに興味を喚起します。</p> <p>プロ奏者による共演の事前指導で、児童・生徒に多くの刺激と感動を与えます。</p>
特別支援学校での実施 における工夫点	特に変更点はございません。
公演実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

◆大阪交響楽団

ミュージック・アドバイザー	外山 雄三
常任指揮者	寺岡 清高 (2019年3月まで)
正指揮者	太田 弦 (2019年4月就任予定)
首席ソロコンサートマスター	森下 幸路
コンサートマスター	林 七奈
アソシエイトコンサートマスター	岡本伸一郎
アシスタントコンサートマスター	里屋 幸
演奏委員長	細田 昌宏
演奏副委員長	小谷 康夫 藤崎 俊久
インスペクター	坂口 雅秀
サブインスペクター	徳田 知希
1st Violin	牛尾 佳子 木下 晶人 永嶺 貴洋 松田 尚子 水村 良子 村上 慈 吉岡 克典
2nd Violin	◎米川さやか ○藤井美奈子 安達 琴子 伊藤 瑠紀 陸山真理子 (2019年1月入団予定) 清水 恵美 西村 彩 宮崎 真弓
Viola	◎早田 類 ○ウラミール・スミコフスキー 坂口 雅秀 南條 聖子 根来 隆臣

Cello	◎大谷 雄一 ○増山 頌子 荒木 雅美 金井 悠 孫 宝徽
Contrabass	◎大槻健太郎 ○渡戸由布子 岩下 明美 熊谷 勇人
Flute	◎小林 志穂 奥本華菜子
Oboe	◎津末佐紀子 ○小谷麻理子
Clarinet	◎村瀬 司 ○原田美英子
Fagott	◎藤崎 俊久 ○西浦 豊
Horn	◎細田 昌宏 ○小曲 善子 ○青木 宏朗 中西 順
Trumpet	◎徳田 知希 ○松田 貴之
Trombone	◎阿部竜之介 ○矢巻 正輝
Bass Trombone	○中井 信輔
Tuba	潮見 裕章
Timpani	◎小谷 康夫
Percussion	◎花石 真人

◎首席 ○副首席

◆公益社団法人 大阪交響楽団 理事会

理事長	樋口 武男
副理事長	海堀 芳樹 二宮 光由
専務理事	泉本 圭介
常務理事	赤穂 正秀
理事	新井 太吉 池田 仁 今井 敏之 濑間 巖 小瀬 昉 金井 隆夫 金指 潔 鎌田 俊文 河村 誠悟 紀伊 肇 坂井 信也 高安 眞 西野 敏哉 原 琢平 平田 晴久 宮崎 潤 宮崎 俊幸 森川 敏雄 横田 隆 渡邊 啓子 中山 実
監事	岸田 泰治(公認会計士)

◆公益社団法人大阪交響楽団定款に定める法人の目的

交響楽その他の音楽の普及発達を図り、わが国における音楽芸術の向上発展に寄与することを目的とする。

〈楽団事務局〉 〒590-0074 大阪府堺市堺区北花田口町3丁1番15号 東洋ビル4階
TEL.072-226-5533 FAX.072-226-5544 <http://sym.jp> eメール mail@sym.jp

◆大阪交響楽団

楽団長・インテンダント	二宮 光由
副楽団長	村瀬 司
永久名誉楽団代表	敷島 博子
永久名誉団員	野口 伸広 末原 諭宜
相談役	敷島 鐵雄
◆事務局	
事務局長	赤穂 正秀
事務局次長	坂井 大介
シニアマネージャー	各務 陽介
チーフマネージャー(営業)	阿部 守男
営業	山科 孝義
営業(嘱託)	萩原 弘之
法人担当	森田 憲子
チーフマネージャー(総務)	敷島八枝子
マネージャー(事業制作)	大西 実苗 久木原裕嶺
チーフマネージャー(広報)	松本 由紀
チケットセンター	山田 翔太 国枝 亜衣
ステージマネージャー	道本創一朗
アシスタントステージマネージャー	岡 貴良
ライブラリアン	弓場 和子 小林 加奈

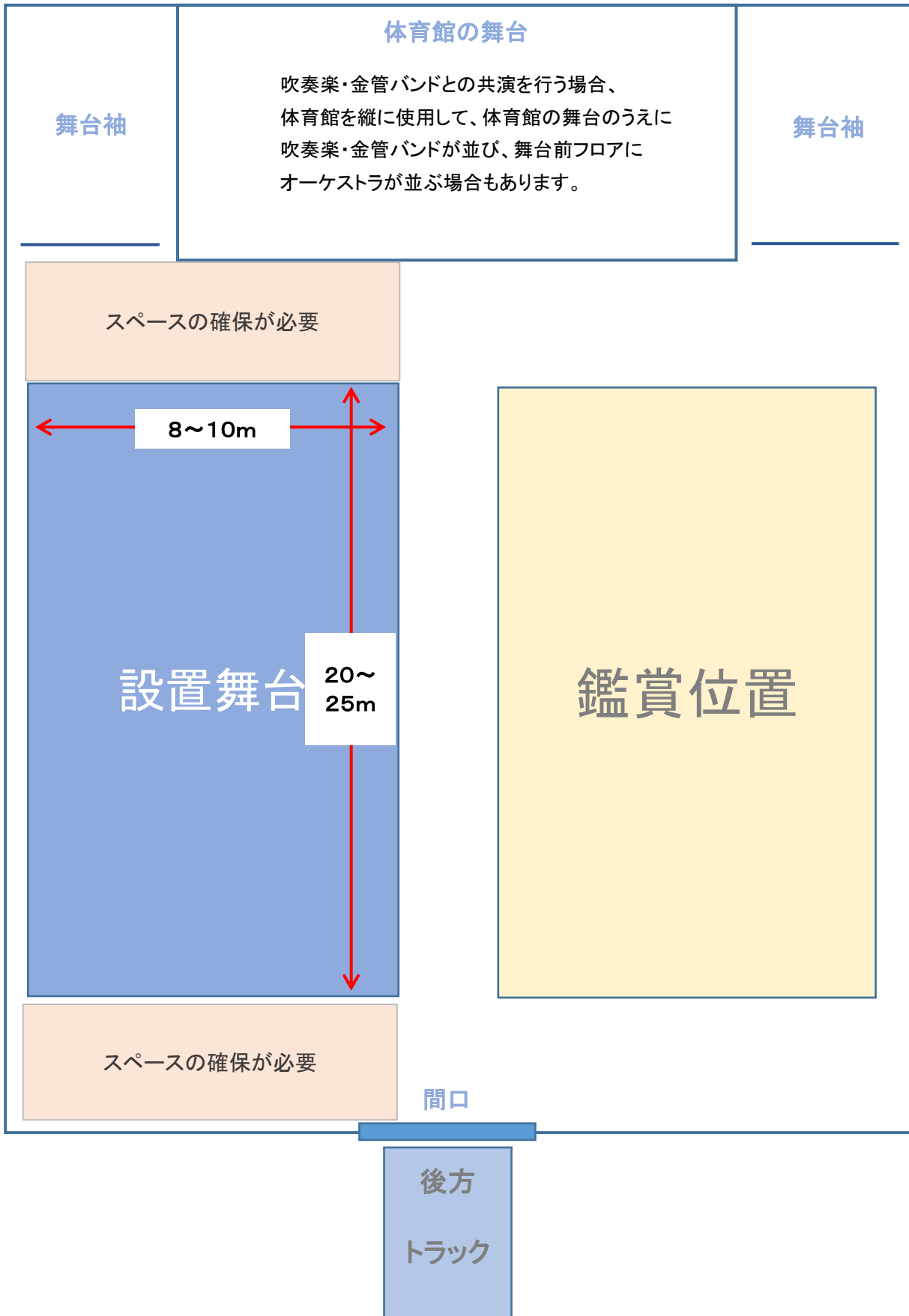
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E49	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	大阪交響楽団			制作団体名	公益社団法人 大阪交響楽団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	5室	条件	指揮者・司会者等…1～2名の小部屋3室 オーケストラ…25～30人の普通教室2室					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック2台／大型バス2台／乗用車1台					
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック×2台 最大 全長823cm 全幅231cm 高さ341cm					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。					
		理由			大型打楽器、音響機材、ひな壇等の搬入をするため					
	—	設置階の制限 *			問わない					
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5～2m	高さ	1.8～2m			
WSについて	可	参加可能人数			学校在校生全員					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			45分授業2コマ+10分の休憩時間分 計100分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			下記の舞台設置に必要な広さを確保したうえで、体育館内に入る人数を算出ください。1㎡あたり小学生2、3人換算					
	不可	舞台設置場所 *			フロアのみ使用(体育館舞台は使用しません)					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	20～25m	奥行	8～10m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	可				舞台袖スペースの条件 *			確保できる範囲で結構です。		
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	直射日光が入る時はカーテンを閉めます。			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	可			ピアノの事前調律 *		WSでのみ使用します。 調律は可能な限りお願いします。				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			家庭用電源があれば問題なし ※主幹電源の必要容量					
その他特記事項										

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.5~2m	高さ	1.8~2m
搬入車両の横づけの可否	可能ならば横づけ希望			
横づけができない場合の搬入可能距離	トラックが体育館横まで入れば、問題なし			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱、 <u>オーケストラ等</u> 、音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきしゃだんほうじん やまがたこうきょうがくきょうかい		
制作団体名	公益社団法人 山形交響楽協会		
代表者職・氏名	理事長 園部 稔		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒990-0042 山形県山形市七日町3丁目1番23号 (JR:山形駅 バス:市役所前)		
電話番号	023-625-2203	FAX番号	023-625-2205
ふりがな	やまがたこうきょうがくだん		
公演団体名	山形交響楽団		
代表者職・氏名	事務局長 西濱 秀樹		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒990-0042 山形県山形市七日町3丁目1番23号 (JR:山形駅 バス:市役所前)		
制作団体 設立年月	1972年 1月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事27名(会長:三井嬉子)/監事 2名 事務局員12名(事務局長:西濱秀樹)	(1)団体構成員(山形交響楽団)/指揮者:6名 楽団員:50名 (2)加入条件/実技オーディション及び面接	
事務体制の担当	専任・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	事務局長 西濱 秀樹
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・無	経理責任者名	事務局長 西濱 秀樹

制作団体沿革	<p>1972 年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。山形テルサ・酒田・鶴岡での定期演奏会、東京・大阪での「さくらんぼコンサート」、山形県下で毎年 3 万人以上の青少年に“感動”を届けるスクールコンサートなど、年間 150 回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。</p> <p>2007 年、飯森範親(2004 年から常任指揮者・ミュージックアドバイザー)の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立している。2006 年、オーケストラの自主レーベルとしては日本初となる CD レーベル『YSO live』を立ち上げ、2007 年から 2015 年まで 8 年半にわたる壮大なプロジェクト、「アマデウスへの旅」(モーツァルト交響曲全曲演奏会)を開催、2008 年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。創立 45 周年を迎えた 2017 年 4 月には「モーツァルト交響曲全集」を発売、第 55 回レコード・アカデミー賞(特別部門 企画・制作)を受賞し全国的な話題となる。</p> <p>芸術総監督 飯森範親、常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ラデク・バボラーク、創立名誉指揮者 村川千秋、名誉指揮者 黒岩英臣。</p>		
学校等における公演実績	<p>創立理念に「上質な生のオーケストラ演奏という感動体験を通じて、子供たちの創造的で逞しく、感性豊かな人間育成」を掲げ、創立以来延べ約5000校、290万人以上の青少年鑑賞実績を誇ります。</p> <p>平成31年度:「文化芸術による子供の育成事業 15 公演、その他学校公演 61 公演」</p> <p>※過去5年公演実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度:「文化芸術による子供の育成事業 16 公演、その他学校公演 43 公演」 ・平成29年度:「文化芸術による子供の育成事業 12 公演、その他学校公演 69 公演」 ・平成28年度:「文化芸術による子供の育成事業 14 公演、その他学校公演 61 公演」 ・平成27年度:「文化芸術による子供の育成事業 18 公演、その他学校公演 90 公演」 ・平成26年度:「文化芸術による子供の育成事業 19 公演、その他学校公演 90 公演」 		
特別支援学校における公演実績	<p>過去 10 年に 40 公演を山形県下で実施。文化庁公演では過去 10 回の実績があります。ワークショップ・体験・演目などは学校の皆様と相談し、特別プログラムを構成。好評をいただいています。</p> <p>平成31年度:「その他学校公演のみ 4 公演」</p> <p>※過去公演実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度:「文化芸術による子供の育成事業 2 公演、その他学校公演 4 公演」 ・平成29年度:「その他学校公演のみ 4 公演」 ・平成28年度:「文化芸術による子供の育成事業 1 公演、その他学校公演 4 公演」 ・平成27年度:「文化芸術による子供の育成事業 1 公演、その他学校公演 4 公演」 		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 山形交響楽団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生			
企画名	【コンサートタイトル:Memorial&Crossover ～世界と出会う2020年・・・境界を越えたファンタジーを旅する～ ～ベートーヴェン生誕250年&チャイコフスキー生誕180年～			
本公演演目	<p>◆第1部:Adventure!・・・62名の音楽家が描く音世界を冒険しよう!◆</p> <p>★Memorialが始まる!:子供達と共に創るオーケストラとの出会い</p> <p>①グラント・グリーン:Just a closer walk(金管五重奏とオーケストラ&手拍子)(3)</p> <p>★楽器紹介&音楽クイズ!:20種類以上の楽器と60人の音楽家が織り成す世界への旅! ～想像の翼を拡げる瞬間:”音“が織り成し、子供の心が描くファンタジー～</p> <p>・音楽が生み出す世界へ誘う導入:山響オリジナル 村川千秋作曲“音楽なぞなぞ”</p> <p>・弦楽器(アイネクライネ, プリンク・プランク)/木管/金管/打楽器の世界を探検! ～ワークショップで紹介したオーケストラの楽器たちを紹介!“ゴムホース”を用いたホルン等楽器の秘密に迫る!～</p> <p>★時代を越えて受け継がれる伝統:ベートーヴェンの継承者ブラームス!</p> <p>②ブラームス:ハンガリー舞曲第5番(3)</p> <p>★心をつににする“指揮者”を感じる:指揮者体験コーナー(最大2名) *指揮者体験内容・・・ブラームス:ハンガリー舞曲第5番を指揮しよう*</p> <p>★世界が祝う2020年・・・ベートーヴェン生誕250年</p> <p>③ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章(6)</p>			
原作/作曲 脚 本 演出/振付	<p>◆第2部:ハリウッド映画&チャイコフスキー・・・Dramatic Orchestra</p> <p>★弦楽器の超絶技巧!・・・躍動が生み出す驚きの世界</p> <p>④カリン・ラクトマン:映画「パルプフィクション」メドレー(4)</p> <p>★オーケストラと共演!・・・オーケストラが生むイノベーション!表現力が拡大</p> <p>○全校共通:校歌演奏・共演・・・*指揮は、学校の先生に!(当日リハーサルが必要です) ～合唱・吹奏楽・全員参加プログラムは下記①-③から選択可能です!～</p> <p>①ベートーヴェンと遊ぼう!/3つの「トルコ行進曲」(ベートーヴェン、モーツァルト、シューベルト)のリズムをみんなで作ろう!・・・ボディ・パーカッション</p> <p>②合唱との共演 ③吹奏楽・管弦楽部との共演 *オリジナル編曲も可能です!*</p> <p>★世界で愛される「白鳥姫伝説(羽衣伝説)」:生誕180年のチャイコフスキーが劇的に描いた ドラマティックな音絵巻。愛が悲劇を乗り越え、永遠に結ばれる世界</p> <p>⑤チャイコフスキー:バレエ「白鳥の湖」セレクション(18) ～第1曲「情景」(壮麗な舞踏会で物語は幕を開ける) 第10曲「情景」(白鳥に姿を変えられたオデット姫:もっとも有名な旋律) 第13曲「4羽の白鳥の踊り」(白鳥に姿を変えられた娘たち) 第20曲「ハンガリーの踊り」(舞踏会で奏でられるチャルダッシュ) 第29曲「情景・終曲」(死を越えたオデットと王子の愛)</p> <p>★アンコール:故郷こそ、最大の Memorial～山形からのメッセージを乗せて</p> <p>⑦村川千秋版題材:最上川舟歌・花笠音頭</p>			
著作権	制作団体が所有	有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
公演時間(休憩込 100分)				

演 目 概 要

＜公演趣旨：ベートーヴェン生誕 250 年&チャイコフスキー生誕180年

偉大な作曲家の Memory が現代の子供達に創造の翼を拡げていく＞

～世界との出会いを体感する記念すべき年に想像力を磨き、異文化を体験する～

☆ライブ感・・・62名の音楽家が奏でる“生の躍動”を子供達の心に届けます！

☆多彩なサウンド・・・多様な響きを生み出すオーケストラの一つ一つの楽器の音色、そこから生み出される想像力、作曲家の想い、多様性を持つオーケストラならではの世界

☆Memorial・・・2020年はベートーヴェン生誕250年。世界中がベートーヴェンの音楽を共有することでしょう。歴史的なメロディーメーカー、チャイコフスキーも生誕180年。

日本にとって Memorial な瞬間に、世界の作曲家の軌跡を子供達の記憶に刻みます。

☆Crossover・・・クラシックの名曲に交じって、JAZZ、映画音楽の魅力もお届けします。オーケストラを通じて、境界を越えて発展していく世界の音楽をお届けします。

～一期一会のコンサートを通じてみんなで Memorial な感動を創り出します～

＜特色：会場一体となる構成・・・参加・共演を織り交ぜ、子供達を巻き込むスタイル＞

①子供達が座る客席から金管奏者が登場するオーケストラパフォーマンス！

“こんにちは！”という楽員からの挨拶に始まり、子供達を巻き込んでいく進行が「全く飽きずに楽しんで」と、毎年各地で好評を頂いています。

②指揮者体験やクイズなど、子供達が参加する瞬間をふんだんに取り入れています。

③共演は3種類のバリエーションからの選択制。特に2020年は“ベートーヴェンと遊ぼう”を取り入れています。

④校歌共演は、先生の指揮で一体感を！

◆第1部：Adventure！・・・62名の音楽家が描く音世界を冒険しよう！◆

～第1部では、多彩な表現力を生み出すオーケストラの世界を冒険します！～

(オープニング：出会いを演出)：20世紀アメリカから世界に広がったJAZZ

～楽員のパフォーマンスも交えて、オーケストラと子供達の出会いを演出します。

(楽器紹介&指揮者コーナー：20種類を越える楽器が織成す世界を探検

・・・想像力を育み、“驚き”(音楽クイズ)から体験(指揮者体験)へ！

☆音だけで動物が浮かぶ想像力の不思議・・・山響オリジナルの“音楽なぞなぞ”：動物を表現する旋律。クイズ形式ですること、 “音色” “楽器” “表現” への興味を掻き立てます。

～クイズコーナーで盛り上がったのち、オーケストラを創る楽器の世界へご案内します！～

① オーケストラは弦楽器を土台に作られる ②呼吸で奏でる木管楽器の妙技

③華麗な金管楽器：ファンファーレ&ゴムホースホルン→身近な日用品が楽器に変身します！これによって、息を吹き込んで音を出す管楽器の原点を伝えます。

④機動力・リズムと装飾の世界・打楽器/ハープ：47本の弦とペダルが奏でる優雅さ



↑オープニングで子どもたちとあいさつ ↑楽器紹介コーナー

(オーケストラは大きな楽器：誰もが知っているフルオーケストラサウンド体験)

⑤指揮者体験コーナー (最大2名)：誰もが聴いたことのある名曲「ハンガリー舞曲」を通じてオーケストラを体感したのち、音楽家集団を一つにする指揮者の役割を実感。

(世界が生誕250年を祝う大作曲家ベートーヴェンの傑作)：

オーケストラ冒険の締めくくりは、時代を越え世界で愛されるベートーヴェンの傑作全編を貫く運命の動機と強いビート感は当時の社会に革命的な変化をもたらします。現代の子供達にも大人気を誇る傑作をメモリアルイヤーに体感。

◆第2部:映画&チャイコフスキー…Dramatic Orchestra◆

(ハリウッド映画「パルプフィクション」):第2部の幕開けは、弦楽器の超絶技巧が子供達を圧倒的に引き込みます!ハリウッド映画の傑作を弦楽器の響きで届けます。

～会場が一つになる…合唱・吹奏楽などと共演して編成を拡大することで表現力を深め、一体感を創り出すことにあります。皆さんには、その一翼を担っていただきます。

- ① ボディーパーカッションで共演!ノベートルーヴェンを遊ぼう!(トルコ行進曲)は、身体を楽器に、リズムを作り、オーケストラ演奏に参加して、作品を作ります。
- ② 合唱の共演(過去の共演例:ビリーブ、翼をください、など多数)
- ③ 吹奏楽・管弦楽部との共演(過去の共演例:ヴェルディ:凱行進曲など)



↑吹奏楽部の生徒達と共演



↑山形の法被を着て“山形民謡”を

(180年経った今も世界中の人の心を捉えるチャイコフスキーの旋律美)

音楽史上、稀代のメロディーメーカーであるチャイコフスキー。バレエ音楽を精神世界へと昇華させた傑作「白鳥の湖」から、代表的な5曲をお届けします。

(故郷こそが、最大のMemory!～山形からのメッセージを乗せて“山形民謡”>

最後は、日本独自の響きをお届けします。オーケストラが奏でる日本の響き。山形の楽団が地元の民謡を題材にした作品で、コンサートを締めくくります。

演目選択理由

【Memorial&Crossover:ベートーヴェン生誕250年&チャイコフスキー生誕180年】

～世界と出会う2020年…境界を越えたファンタジーを旅する～

①東京オリンピックという歴史的祭典の年。音楽史上圧倒的な存在感を示すベートーヴェンとチャイコフスキーのメモリアルイヤーというトピックに注目した演目

②子供達が世界と出会う祭典の年、ジャンルを超えた音楽体験を通じて異文化の魅力を感じることに出来るプログラムを構成した。

【Just a closer walk】:20世紀アメリカ南部から生まれた魂の音楽JAZZ。グラントグリーン(1935-1979)の作品を、山響金管奏者のパフォーマンスも交えてお届けします。子供達との出会いを演出する山響オリジナル編曲版。

【音楽なぞなぞ】:創立指揮者 村川千秋がアメリカの教育プログラムを活かして作成した山響オリジナル作品。多様な表現が感性を刺激し、全国の子供達が熱狂!

【楽器紹介】:テレビなどで聞いた名曲も交え、楽器の表現力・演奏家を紹介

【ハンガリー舞曲第5番】ベートーヴェンの後継者ロマン派のブラームスの代表的な傑作。ジプシー(ラマ)の情熱的な旋律を指揮者コーナーでも体験!

【交響曲第5番「運命」第1楽章】:生誕250年のベートーヴェン1807年の傑作。あまりにも有名な「運命の動機」は、古典作品の枠を越え、不屈の精神を描く。強いビート感は古典的交響曲の歴史を変えた名曲。


【パルプフィクションの音楽】:タランティーノの傑作映画。エベヌカルテットの編曲版は、弦楽器の超絶技巧を聴かせる。子供達に“驚き”を届ける。

【バレエ「白鳥の湖」抜粋】:1875年に作曲された傑作。バレエ音楽を踊りの伴奏音楽から絶対音楽に昇華させた。世界に残る「白鳥伝説」(日本では羽衣伝説)をモチーフに、劇的な愛の世界を描く。圧倒的なオーケストラサウンド。

【山形民謡】:日本の豊かで厳しい自然と、人の営みは各地の民謡として愛されている。山響を育む山形の文化を最後にお届けする。

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p><共演は、オーケストラを軸としたイノベーション！一体感と広がりを感じ！> *共演の形は、学校の皆様のご要望に応じて選択いただくことができます！* ●コンサートは、会場一体となって創り出す！をテーマに、生徒の皆さんが参加できるコーナーを取り入れています。 ①音楽など：動物をイメージした音楽を聴いていただき、皆さんにお答えいただきます。山形で300万人に愛されてきたオリジナル作品です。 ②オーケストラを身近に感じるために、最大2名の方に指揮者に挑戦していただきます。 ●歴史的にオーケストラは、楽器の発明、合唱や吹奏楽などとの出会いによって、表現力とその機能を拡大してきました。今回の公演では、皆さんに“表現装置オーケストラ”の一員として活躍していただきます！ ①ボディーパーカッション：みんなの身体が楽器になる？今年バートーヴェンイヤーにちなんで、“バートーヴェンを遊ぼう！”をテーマにトルコ行進曲のリズムをみんなで創ります。モーツァルト、シューベルトのトルコ行進曲も交えた編曲で作曲家の個性も体感！ ②音楽の授業や合唱コンクールに向けて練習してきた合唱作品で、オーケストラと共演。 ③吹奏楽部や管弦楽部の皆さんが日ごろ練習している曲に、オーケストラメンバーが加わり共演いたします。 *生徒の皆さんの演奏位置は、会場の広さやご要望に応じて決めてまいります。 ④校歌を、学校の先生が指揮するフル・オーケストラの伴奏で歌っていただきます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮者・お話し：松元 宏康 *司会者：西濱 秀樹(山響専務理事)が参加する可能性あり* 管弦楽：山形交響楽団（2管 10 型・62名）</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者： 63名 <u>スタッフ： 7名</u> 合計： 69名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 2 t 車長 6.6 m 台数 2 台</p>

<p>公演に当たっての 会 場 条 件</p>	<p>実施条件等確認書①をご確認ください。</p>																															
<p>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</p>	<p>前日仕込み(有・無) ※午前中実施の場合は、前日仕込み必要) 会場設営の所要時間(1 時間 30 分程度) ～学校様との相談によって、①午前公演 ②午後公演 いずれかで実施可能です～ ● 午前公演の場合 *7月の暑さ対策などで午前中公演について検討が必要な場合等*</p> <table border="1" data-bbox="402 1518 1519 1668"> <thead> <tr> <th>仕込</th> <th>スタッフ 到着</th> <th>楽団 到着</th> <th>リハーサル</th> <th>本公演 (内休憩)</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前日</td> <td>8:00</td> <td>9:00</td> <td>10:00～10:15</td> <td>10:30～12:10</td> <td>12:10～</td> <td>13:40</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 午後公演の場合</p> <table border="1" data-bbox="402 1724 1519 1881"> <thead> <tr> <th>スタッフ到着 (仕込)</th> <th>楽団 到着</th> <th>リハーサル</th> <th>本公演 (内休憩)</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:30～11:30</td> <td>11:30</td> <td>12:30～13:00</td> <td>13:30～15:10</td> <td>15:10～</td> <td>16:40</td> </tr> </tbody> </table>						仕込	スタッフ 到着	楽団 到着	リハーサル	本公演 (内休憩)	撤去	退出	前日	8:00	9:00	10:00～10:15	10:30～12:10	12:10～	13:40	スタッフ到着 (仕込)	楽団 到着	リハーサル	本公演 (内休憩)	撤去	退出	9:30～11:30	11:30	12:30～13:00	13:30～15:10	15:10～	16:40
仕込	スタッフ 到着	楽団 到着	リハーサル	本公演 (内休憩)	撤去	退出																										
前日	8:00	9:00	10:00～10:15	10:30～12:10	12:10～	13:40																										
スタッフ到着 (仕込)	楽団 到着	リハーサル	本公演 (内休憩)	撤去	退出																											
9:30～11:30	11:30	12:30～13:00	13:30～15:10	15:10～	16:40																											
<p>児 童 ・ 生 徒 の 参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>～600人</p>																														
	<p>本公演</p>	<p>～600人</p>																														

<p>ワークショップ 実施形態 及び内容</p>	<p>*ワークショップも、学校の皆様のご要望で、選択いただくことが出来ます*</p> <p><オーケストラ探検をより楽しむために:鑑賞指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象:全校生徒 (*学年・クラスなど一部の生徒でも対応可*) ・ナビゲーター・構成:松元宏康(本公演指揮者)*日程の都合で山響スタッフの場合有* ・各地で 100 回以上の豊富なワークショップ経験を持ち、公演で子供達の心を惹きつけた指揮者 松元さんと、当団楽団員を派遣して実施します。 <p>① 楽器の紹介/弦楽器体験/ストローリードで音を出そう!・・・本公演への期待感を高めるため、“楽器が音色を出す原理”を楽しくお伝えします!</p> <p>② 質問コーナー など。</p>  <p>↑ 楽器体験コーナー</p> <p><演奏指導ワークショップ></p> <p>吹奏楽・管弦楽部との共演をご希望の学校には、①指揮者 松元によるアンサンブル指導②楽団員による演奏クリニックを行います。</p> <p>*指導楽員最大 3 名+指揮者 スタッフです。</p>
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>【鑑賞指導】オーケストラ・楽器・作曲家について知り、より楽しんでいただく為の鑑賞指導と考え、全児童生徒を対象に実施しております。実際に楽器に触れ、演奏体験や質問コーナーをとおり、児童生徒の皆さんとのコミュニケーションを図ることにより、本公演への積極的な参加を引き出します。*一部生徒の参加など、ご相談ください*</p> <p>【演奏指導】共演予定の生徒さんへの演奏指導と上記鑑賞指導を中心に実施します。</p>
<p>特別支援学校での 実施における工夫 点</p>	<p>特別支援学校でのワークショップでは、小編成のアンサンブル演奏と楽器演奏体験を中心に行います。時間についてはご相談の上、短い内容にすることも可能です。</p> <p>少人数校の場合は、手作り楽器を作り、演奏に参加するワークショップ等もごございます。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

山形交響楽団

YAMAGATA SYMPHONY ORCHESTRA

指揮者／松元 宏康(予定)

■コンサートマスター	今井 東子	渡邊研多郎	■ファゴット	高橋 智広
高橋 和貴(予定)	常盤 郁子	・未定	★上野 健	■チューバ
■アシタトコンサートマスター	中島 光之	■コントラバス	鷲尾 俊也	★久保 和憲(予定)
平澤 海里	大和ゆり子	★三崎屋 義知	■ホルン	■ハープ
■第1ヴァイオリン	・未定	柳澤 智之	★未定	・未定
五十嵐さやか	■ヴィオラ	米山 明子	岡本 和也	■ティンパニー&パーカッション
石井万里子	★山中 保人	・未定	関谷 智洋	平下 和生
黒瀬 美	井戸 健治	■フルート	大和 洋司	南 悟
沈 青	倉田 讓	★足達 祥治	・未定	三原 千加
蜂谷ゆかり	田中 知子	小松崎恭子	■トランペット	・未定
丸山 倫代	・未定	・未定	★井上 直樹	・未定
・未定	・未定	■オーボエ	松岡 恒介	
・未定	■チェロ	★柴田 祐太	・未定	
■第2ヴァイオリン	★小川 和久(予定)	齋藤 真美	・未定	
★舘野 ヤネ(予定)	邢 広京	■クラリネット	■トロンボーン	★首席奏者
菖蒲 覚	久良木 夏海	★川上 一道	★太田 涼平	★首席客演奏者
菖蒲三恵子	茂木 明人	本田 有里恵	篠崎 唯	・客演奏者

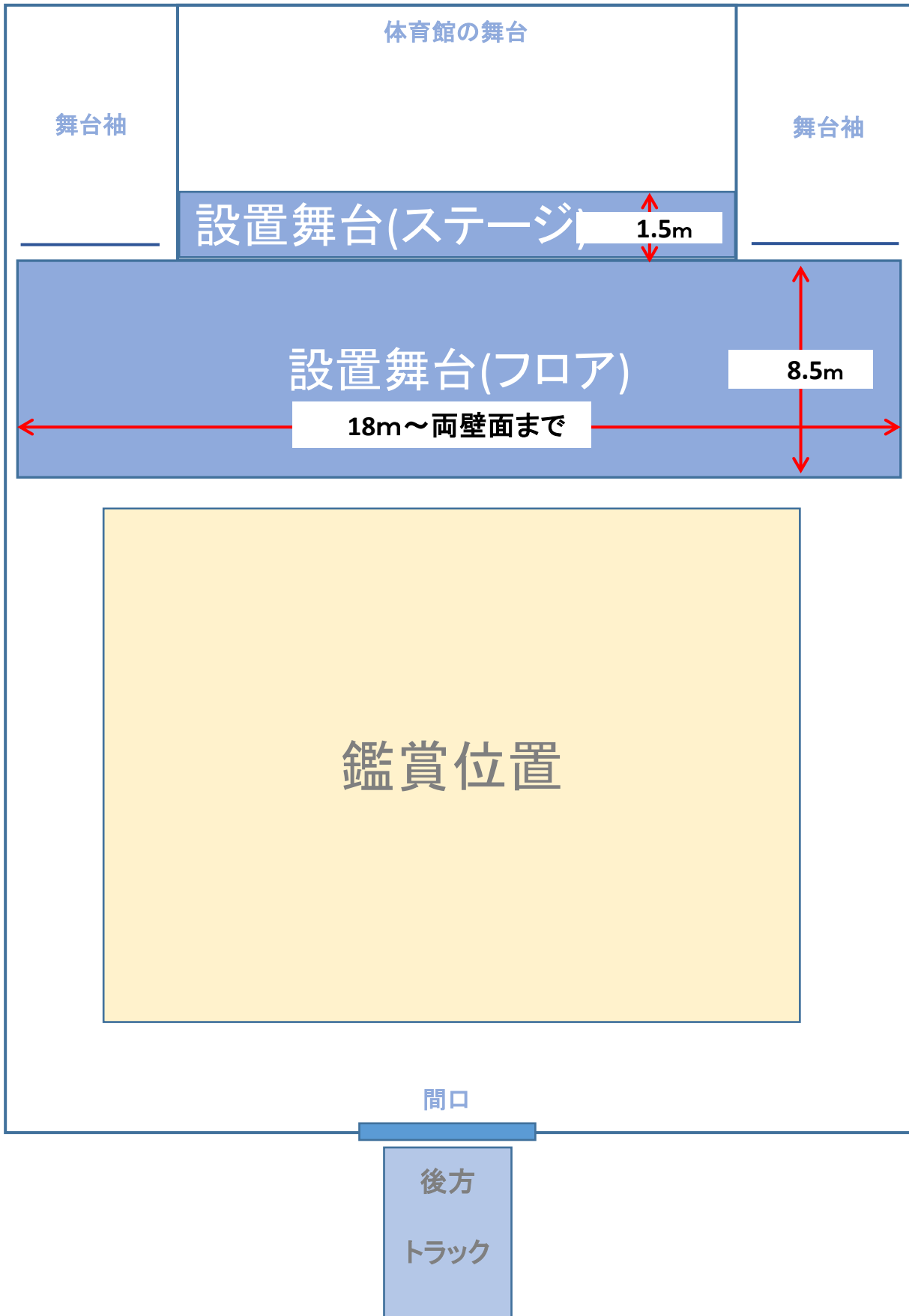
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E50	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	山形交響楽団			制作団体名	公益社団法人 山形交響楽協会				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	4室	条件	男性用、女性用、指揮者用、コンサートマスター用 必ずカーテン等の目隠しがあること。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2トラック	2台	大型バス			2台
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トラック					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 					
	—	理由			貴重な楽器や重量のあるひな壇の搬入のため。					
	—	設置階の制限 *			問わない					
不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.6m以上	高さ	2m以上				
WSIについて	可	参加可能人数			600名程度まで (全校生徒児童を対象)					
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			60分程度					
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			600名程度					
	可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	18m	奥行	10m	高さ	—	
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要		
	—				舞台袖スペースの条件 *			—		
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	可				遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	楽器に日が当たるのを防ぐため
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量			使用せず		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									
可	体育館が2階以上の場合や搬入が困難な場合には、必ずお手伝いをお願いします。									
可	椅子110脚、長テーブル8台、マイク2本が必要となります。									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.6m以上	高さ	2m以上
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		特に無し(要手伝い必要)		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Memorial & Crossover

～世界と出会う2020年・・・境界を越えたファンタジーを旅する～

～ベートーヴェン生誕250年&チャイコフスキー生誕180年～



指揮：松元宏康

◆第1部：Adventure！・・・62名の音楽家が描く音世界を冒険しよう！◆

Memorialが始まる！：子供達と共に創るオーケストラとの出会い

♪グラント・グリーン：Just a closer walk(金管五重奏とオーケストラ&手拍子)

楽器紹介&音楽クイズ！：20種類以上の楽器と60人の音楽家が織り成す世界への旅！～想像の翼を拡げる瞬間：”音”が織り成し、子供の心が描くファンタジー～

♪音楽が生み出す世界へ誘う導入：山響オリジナル 村川千秋作曲 “音楽なぞなぞ”

～ワークショップで紹介したオーケストラの楽器たちを紹介！“ゴムホース”を用いたホルン等 楽器の秘密に迫る！～

♪弦楽器(アイネクライネ、プリנק・プランク)/木管/金管/打楽器の世界を探検！

時代を越えて受け継がれる伝統：ベートーヴェンの継承者ブラームス！

♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番

★心を一つにする“指揮者”を感じる：指揮者体験コーナー（最大2名）

指揮者体験内容・・・ブラームス：ハンガリー舞曲第5番を指揮しよう

世界が祝う2020年・・・ベートーヴェン生誕250年

♪ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」第1楽章



◆第2部：映画&チャイコフスキー・・・Dramatic Orchestra◆

弦楽器の超絶技巧！・・・躍動が生み出す驚きの世界

♪カリン・ラクトマン：映画「パルプフィクション」メドレー

★オーケストラと共演！・・・オーケストラが生むイノベーション！表現力が拡大

○全校共通：校歌演奏・共演 *指揮は、学校の先生に！

～合唱・吹奏楽・全員参加プログラムは下記①-③から選択可能です！～

①ベートーヴェンと遊ぼう！ 3つの「トルコ行進曲」(ベートーヴェン、モーツァルト、ショパール)のリズムをみんなで作ろう！・・・ボディ・パーカッション

②合唱との共演

③吹奏楽・管弦楽部との共演 *オリジナル編曲も可能です！*

世界で愛される「白鳥姫伝説(羽衣伝説)」：生誕180年のチャイコフスキーが劇的に描いた、愛が悲劇を乗り越え、永遠に結ばれる世界を描いたドラマティックな音絵巻

♪チャイコフスキー：バレエ「白鳥の湖」セレクション

第1曲 「情景」(壮麗な舞踏会で物語は幕を開ける)

第10曲 「情景」(白鳥に姿を変えられたオデット姫：もっとも有名な旋律)

第13曲 「4羽の白鳥の踊り」(白鳥に姿を変えられた娘たち)

第20曲 「ハンガリーの踊り」(舞踏会で奏でられるチャルダッシュ)

第29曲 「情景・終曲」(死を越えたオデットと王子の愛)



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・**なし**

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	えぬびーおーほうじんみらまーれ・オペラ		
制作団体名	NPO 法人ミラマーレ・オペラ		
代表者職・氏名	代表理事 松山郁雄		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒223-0053 神奈川県横浜市港北区綱島西 2-2-12 プリオール綱島式番館 503 (東急東横線 綱島駅)		
電話番号	045-530-8350	F A X 番号	045-530-8351
ふりがな	みらまーれ・オペラ		
公演団体名	ミラマーレ・オペラ		
代表者職・氏名	松山郁雄		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒223-0053 神奈川県横浜市港北区綱島西 2-2-12 プリオール綱島式番館 503 (東急東横線 綱島駅)		
制作団体 設立年月	2008年10月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 松山郁雄 理事 樋本英一 理事 馬場紀雄 監事 米村桐子	指揮者、演出家、ピアニストおよびオペラを専門とする歌手とスタッフである事。歌手は企画毎にキャスティング・オーディションにより採用。条件は、音楽の専門教育を経た上で十分な実力と経験を持ち、聴衆のための演奏姿勢を常に持てる歌手。	
事務体制の担当	専任 ・他の業務と兼任	本事業担当者名	松山郁雄

<p>経理処理等の 監査担当の有無</p>	<p>有 ・ 無</p>	<p>経理責任者名</p>	<p>米村桐子</p>
<p>制作団体遠隔</p>	<p>平成 18 年 1 月 19 日 有限会社ミラマーレ・ムジカを設立。</p> <p>平成 20 年 10 月 15 日 NPO 法人ミラマーレ・オペラに組織変更。現在に至る。</p> <p>平成 24 年度より、京都芸術劇場春秋座においてオペラ制作業務を受託し現在に至る。これまでに「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「セヴィリアの理髪師」「椿姫」「カルメン」「魔笛」を制作上演。今年度は「春秋座オペラ 10 周年記念ガラ・コンサート」上演予定(9 月 21 日)。</p> <p>平成 27 年度より本事業の採択を得て現在に至る。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成 17 年 東京都江東区立東陽小学校でオペラ「愛の妙薬」日本語訳詞上演。</p> <p>平成 22 年 長野県北信地区高校音楽鑑賞会でオペラ「愛の妙薬」日本語訳詞上演。</p> <p>平成 27 年度本事業に初採択。F ブロックで 8 校の中学校でオペラ「てかがみ」を上演。</p> <p>平成 28 年度本事業に採択。H ブロック 10 校の小中学校でオペラ「てかがみ」を上演。</p> <p>平成 28 年 11 月 28 日 君津市市民文化ホールにおいて翔凜中学高等学校の芸術鑑賞会を開催。「椿姫」と「愛の妙薬」の悲喜劇の 2 作品のハイライトを上演。</p> <p>平成 29 年 8 月 24 日 北海道幌泉群えりも町立えりも中学校において芸術鑑賞会を開催。「椿姫」と「愛の妙薬」のハイライトと名曲コンサートを上演。</p> <p>平成 29 年度本事業に採択。A ブロック 12 校の小中学校でオペラ「てかがみ」を上演。</p> <p>平成 30 年 2 月 15 日 春日部市民文化会館において春日部共栄中学高等学校の音楽鑑賞会として G・ビゼー作曲のオペラ「カルメン」を上演。</p> <p>平成 30 年度本事業に採択。I ブロック 14 校の小中学校でオペラ「てかがみ」を上演。</p>		
<p>特別支援学校に おける公演実績</p>	<p>特別支援学校における単独公演の実績はありませんが、昨年度までの公演において、特別支援の生徒さん達も、問題なく積極的な参加をして頂いております。体育館のステージ前に設置する特設舞台(約 90 センチ高)の両サイドは平土間にしてありますので、車椅子の生徒さんも問題なく参加出来ております。</p>		

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://www.youtube.com/watch?v=jMederbpqX4&t=10s https://www.youtube.com/watch?v=fkAhV09yaCQ
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: ナシ PW: ナシ
		今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
	A の提出が困難な場合	※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 ミラマーレ・オペラ】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	オペラ「てかがみ」戦争と昭和の記憶を風化させないために!		
本公演演目	オペラ「てかがみ」		
原作/作曲	作曲:池辺晋一郎		
脚 本	台本:平石耕一		
演出/振付	演出:三浦安浩		
	振付:三浦奈綾		
	構成:松山郁雄		
	公演時間(凡そ80分)		
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる 有 (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>オペラ「てかがみ」は21世紀の幕開けを祝い、若者たちに未来へのメッセージを込めて2001年に制作・初演されました。以降全国で再演を繰り返しています。初演では第一回佐川吉男音楽奨励賞を受賞、平成25年には横浜みなとみらいホールの公演で公益財団法人五島記念文化財団の助成対象作品に選ばれています。</p> <p>この作品は昭和20年と21世紀を迎えようとする平成12年(西暦2000年)の二つの時代の日本を舞台に「時代と国を超えた人間の愛」をテーマに描いた感動のオペラです。</p> <p>物語はフィクションですが、戦争当時の捕虜の過酷な処遇、学童疎開の様子などが巧みに表現されています。また広島と長崎への原爆投下や日本の主要都市に甚大な被害をもたらした本土空襲の事実も重要なエピソードとして劇中で取り上げており、平和教育の観点からも、有意義な鑑賞をして頂けます。</p> <p><あらすじ></p> <p>平成12年 新潟市の結婚式場</p> <p>中学校教諭の武田亮子とアメリカ人の高校英語教師のジョンの披露宴が行われています。宴が始まって間もなく、会場で火災が起こります。炎を見た亮子の父の勇一は、これまで心の底に閉じ込めてきた55年前の空襲の辛い記憶を、突然思い出してしまいます。</p> <p>昭和20年の新潟港</p> <p>五歳の勇一と母カヨに手を引かれ、港で働く父の姿を見に来ましたが、母子の目の前で父親の乗る船が事故に遭い、沈没してしまいます。ショックを受けて気絶したカヨを、アメリカ人捕虜の軍医、リチャードが介抱します。</p> <p>カヨは五歳の勇一と共に疎開する事になり、夫の形見の小さな手鏡を、自分を介抱してくれた軍医リチャードに手渡してくれるよう、運送会社の杉本監督に託します。</p>		



長岡市空襲跡



8月1日の長岡大空襲から逃げ延びた五歳の勇一は、杉本監督と再会し、炎の中で母親を見殺しにしてしまった事を泣きながら告白します。杉本監督は「忘れる！心の底に沈めて誰にも言うな…」と抱きしめ、カヨの面影が残る勇一を自分の子どもとして育てる決

意をします。

終戦を迎えて帰国する事になった軍医リチャードは、勇一と杉本監督に「時は流れ、必ずこの子たちがこの国を担う！この時代にあった事を忘れないなら…」と言い残して日本をあとにします。

平成 12 年 結婚式場

亮子は、式場の火事がきっかけで思い出された父の辛く悲しい記憶を初めて耳にします。今まで、父の苦しみにも気づかず教鞭をとってきた自分には、みんなから祝ってもらう資格などない！と披露宴の中止を申し出ますが、その時父親が突然にリチャードの「この子たちがこの国を担う。この時代にあった事を忘れないなら…」という言葉の思い出したことから、リチャードがジョンの祖父であることが判明します。ジョンの母レイチェル(即ちリチャードの娘)は自分の母(リチャードの妻、劇中には登場せず)から渡された手鏡を亮子に渡すのですが、実はこの手鏡こそ、55年前に亮子の祖母カヨがリチャードに贈った「てかがみ」だったのです。亮子の祖母の手を離れ、アメリカに渡った手鏡が多くの人の愛の力で再び日本人の手に戻った瞬間でした。披露宴は再開され、二人の希望に満ちた明日を全員で祝福して幕となります。

●児童生徒の共演参加のシーン

a.亮子先生の結婚式で、教え子達としてお祝いの歌を披露します(3シーンあります)。

b.戦時下の日本の様子を表現した学童疎開のシーンに助演として登場します(このシーンは歌いません)。



演目選択理由

数ある舞台芸術の中でも、なかなか鑑賞の機会がないオペラという総合舞台芸術を通じて、児童生徒、教員、保護者の皆様に**戦争があった昭和の記憶を風化させない事**を最大のメッセージとするこの作品に是非とも触れて頂きたい。

この作品は70数年前の戦争の事実を伝えながらも、人間愛の尊さと日本人の素晴らしい気質を伝えています。広島と長崎の原爆は元より、日本の主要都市の多くが経験した空襲のエピソードなども、正確な参考文献に基づいて語られています。

オペラと言えばイタリアやドイツが本場と一般に認識されていますが、池辺晋一郎作曲によるこのオペラはまさしく「メイド・イン・ジャパン！」です。磨き抜かれ朗々と響くオペラ歌手の歌声により、日本語で歌われるこの作品を是非とも味わって頂きたいと願っているからです。

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>1. 担任の亮子先生の教え子達として披露宴会場に駆けつけ、お祝いの歌を披露するシーン(1幕と2幕に計3カ所)。簡単な演技と歌に合わせたダンス、先生を気遣って励ます短いセリフなどがあります。</p> <p>2. 戦時下の学童疎開のシーンに登場してもらいます。防空頭巾や肩掛け布カバン、日の丸の小旗など(こちらで用意します)を身につけて戦時中の子供になって頂きます。</p> <p>3. 平和と人間愛の大切さを歌う、フィナーレの大合唱に参加して頂きますが、出演しない生徒さんも、希望があれば客席から歌声で参加して頂くことが可能です。</p> <p>* 登場や退場のタイミング等は共演するキャストがきめ細かく生徒さんをリードしますので難しくはありません。</p> <p>* ワークショップまでの練習に役立つように、歌や振り付け、ピアノ伴奏付きのパート練習等を収録したDVDと、同内容をWebにアップした映像もご用意しています。</p> <p>* 参加人数は各シーン10～20名程度が理想ですが、フレキシブルな設定が可能ですので、開催校毎のご要望にお応えすることができます。</p> <p>* 小学校低学年児童の鑑賞と参加につきましては、合唱と簡単なダンスの振付にも充分に対応が可能です、昨年度までの事例でも参加と鑑賞に全く問題はありません。</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮: 樋本英一/杉原直基 演奏: ユニバーサル・フィルハーモニー室内合奏団(コンサート・ミストレス: 田澤明子) 全キャスト・コーラス、その他のオーケストラメンバーにつきましては、No.2 別紙メンバー表をご参照下さい。</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 27名 <u>スタッフ: 15名</u> 合計: 42名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4t 車長 8m 台数 1台 他に楽器車(ハイエース)1台</p>



公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(2 時間程度) <table border="1" data-bbox="432 898 1445 1055"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 898 557 972">到着</th> <th data-bbox="557 898 807 972">仕込み</th> <th data-bbox="807 898 1011 972">本公演</th> <th data-bbox="1011 898 1123 972">内 休 憩</th> <th data-bbox="1123 898 1323 972">撤去</th> <th data-bbox="1323 898 1445 972">退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 972 557 1055">時</td> <td data-bbox="557 972 807 1055">8 時～10 時</td> <td data-bbox="807 972 1011 1055">13 時～15 時</td> <td data-bbox="1011 972 1123 1055">10 分</td> <td data-bbox="1123 972 1323 1055">15 時～17 時</td> <td data-bbox="1323 972 1445 1055">17 時 30 分</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="432 1061 1445 1131">※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分から、概ね2校時分程度です。 また、3 校時目を利用して参加児童生徒との当日リハーサルを予定しています。</p>						到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出	時	8 時～10 時	13 時～15 時	10 分	15 時～17 時	17 時 30 分
到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出													
時	8 時～10 時	13 時～15 時	10 分	15 時～17 時	17 時 30 分													
児 童 ・ 生 徒 の 参加可能人数	ワークショップ	10 人～80 人(本公演に参加しない生徒さんの見学も可能です)																
	本公演	同上(フィナーレ合唱のみの参加形態であれば全校生徒の参加も可能)																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	<p data-bbox="418 1258 1455 1368">主指導者、演出家、歌手 2 名、ピアニスト、制作の6名で訪校いたします。体育館のステージ前のフロアを使用し、凡そ 2 時間でミニ・コンサート、「てかがみ」の概要説明と体験実習をします。</p> <p data-bbox="418 1377 544 1406">< 内容 ></p> <ol data-bbox="418 1415 1455 1749" style="list-style-type: none"> 1. 指導者紹介の後、生の歌声とピアノの演奏でミニ・コンサート。オペラ歌手が児童生徒の間近で有名なオペラ・アリアなどを歌います。その後、発声と表現法のワンポイント・レッスン、「てかがみ」合唱部分の歌唱指導へ続きます。 2. 練習した合唱部分を基にダンスの振付練習を行います。 3. 演出家がオペラ「てかがみ」の内容説明と、参加する児童生徒の役どころや登場するシーンの説明をします。 4. シーン毎に歌う位置を決め、出入りの導線確認と演技やセリフの練習をします。 5. 最後に登場から退場までを一連の流れで練習し、本番当日の午前中にキャストと一緒に往最終リハーサルに結びつくように締めくくります。 <p data-bbox="418 1794 951 1939">* 楽譜と DVD(作品の解説、歌唱と振り付けの模範、ピアノ伴奏のみの練習教材の映像資料)を事前にご用意いたしますので、効率的な練習に活用下さい。</p>																	



<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実際に生の歌声や演奏を目の前で聴く事で、訓練の積み重ねたオペラ歌手を、まずは身近に感じてもらいます。(ミニ・コンサート) 2. 合唱と振付の練習を通して表現する事の楽しさを体験してもらいます。(実技指導) 参加する生徒さんがどのような役でどんなシーンに登場するかを理解し、登場人物になり切る事の楽しさを「オペラ」という演劇形態の中で感じ取ってもらいます。(模擬リハーサル)
<p>特別支援学校での 実施における工夫 点</p>	<p>基本的に全てのシーンに参加して頂く事が可能ですが、その他にも下記のような準備がございます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 短く簡単なセリフを言ってもらいます。(タイミングはキャストが指示します) 2. 客席から歌やセリフで呼びかけます。(タイミングはキャストが指示します) 3. 歌は歌わずに疎開する子供達の役として登場して頂きます(母親や姉妹の役でキャストが登退場や立ち位置を完全にサポートします)。特設舞台の両脇には平土間の演技スペースも作りますので、車椅子での参加も問題はありません。
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

2019/8/4

	役名/役職	氏名	所属
No.01	指揮者	樋本英一	フリー
No.02		杉原直基	フリー
No.03	武田勇一	鶴川勝也	藤原歌劇団
No.04		町 英和	東京二期会
No.05	武田亮子	藤井 冴	フリー
No.06		神田さやか	藤原歌劇団
No.07	レイチェル	田辺いづみ	東京二期会
No.08		柚友恵子	東京二期会
No.09	ジョン	笹岡慎一郎	藤原歌劇団
No.10		高島伸吾	東京二期会
No.11	武田カヨ	江口ニ美	アチーブメントプロデュース
No.12		川越塔子	藤原歌劇団
No.13	リチャード	上本訓久	藤原歌劇団
No.14		澤崎一了	藤原歌劇団
No.15	杉本監督	松山いくお	NPO法人ミラマーレ・オペラ
No.16		大野浩司	藤原歌劇団
No.17	会場係	望月光貴	フリー
No.18		塚田堂琉	フリー
No.19	高校の校長	片岡美里	藤原歌劇団
No.20		植松美帆	藤原歌劇団
No.21	5歳の勇一	立直花子	Pカンパニー
No.22		細川美央	Pカンパニー
No.23	合唱1	浅川莊子	藤原歌劇団
No.24	合唱2	和田奈美	フリー
No.25	合唱3	山口なな	藤原歌劇団
No.26	合唱4	片岡美里	藤原歌劇団
No.27		植松美帆	藤原歌劇団
No.28	合唱5	笹岡慎一郎	藤原歌劇団
No.29	合唱6	竹内篤志	フリー
No.30	合唱7	高井真一	フリー
No.31		望月光貴	藤原歌劇団
No.32	合唱8	藤本 慶	フリー
No.33	合唱9	内田雅人	フリー
No.34	合唱10	大島嘉仁	フリー
No.36	ピアニスト	巨瀬励起	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.37		井向 結	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.39	ヴァイオリン	田澤明子	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.40	チェロ	横山二葉	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.41	フルート	浅田結希	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.42	クラリネット	平井哲夫	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.43	打楽器	竹内美乃莉	一社)東京ユニバーサル・フィル

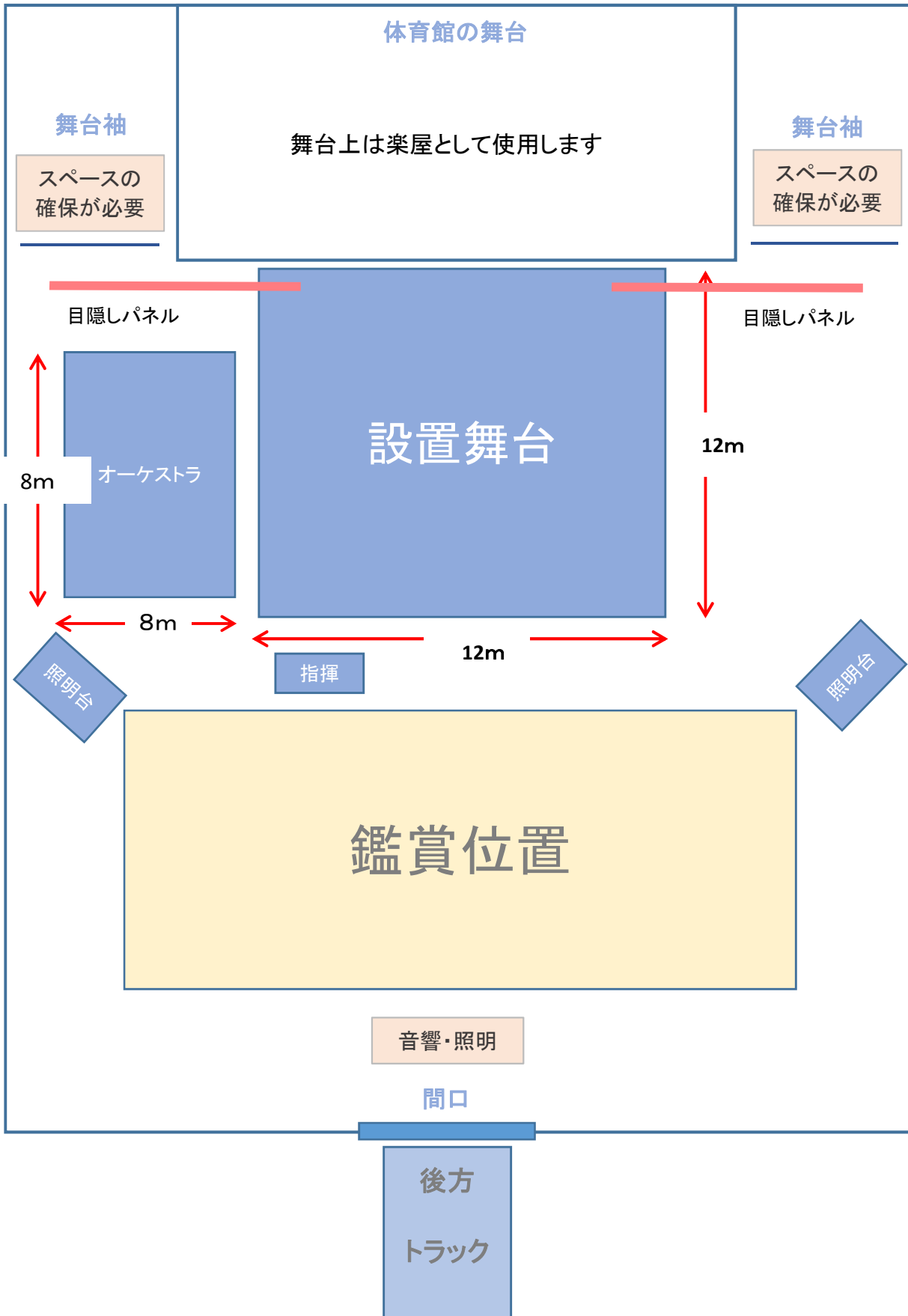
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E51	分野	音楽	種目	音楽劇	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	ミラマーレ・オペラ			制作団体名	特定非営利活動法人 ミラマーレ・オペラ				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	1室	条件	体育館に近く、可能であれば1階を希望します。カーテンが締め、飲食が可能な部屋が希望です。							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック ハイエース	各1台	大型バス2台					
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック(ワイドロング車)とハイエース各1台							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要(トラック導線の道幅は3.5m以上あることを希望)							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内							
	可	搬入経路の最低条件			①できれば体育館が2階でない事が希望です。 ②1階の体育館であっても搬入経路にあまり多い段数の階段がないことを希望します。							
		理由			スチール製のデッキ(1枚約80kg) 12枚を含めた4トン車満載の機材と打楽器等の搬入があるため							
	可	設置階の制限 *			可能な限り1階を希望します。							
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m					
WSIについて	可	参加可能人数			出演生徒は20名から60名以内で調整可能です							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *						
	可	所要時間の目安 単位:分			正味120分を希望します							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			体育館の大きさにもよりますが、体育館半分の面積を目安として500名程度まで							
	可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12m	奥行	12m	高さ	指定なし			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			可能な限り、物が置いていない状態				
	可				緞帳 *	要		バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明と投影する映像の効果を最大限に活かすため					
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。					
	—			ピアノの事前調律 *		不要						
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			100A		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項											
可	本番ではピアノは使用しません。フロア常設の場合は本番時の保管場所について相談させて下さい。											
可	パイプ椅子、長テーブル等の備品をお借りしたいです。											

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

第一回 佐川良男音楽賞奨励賞受賞
平成25年度五島記念文化財団助成対象作品

小さな「てかがみ」が人々の愛の力で世代を超え、再び日本に舞い戻る感動のストーリー！
戦争があった昭和の記憶を風化させないために！



オペラ

てかがみ

全二幕 (凡そ80分)

作曲 池辺晋一郎 台本 平石耕一

オペラは美しい歌声でストーリーが進行する舞台芸術の一つですが、皆さんは外国の芸術で難しいのでは？と思っていないですか。

確かに外国語で歌われる事も多いですし、最初はちょっと難しく感じるかもしれませんが、聞き抜かれた美しい歌声で迫力満点にドラマが進行するオペラは、観る人の心を掴んで離しません。

実は日本でも素晴らしいオペラが沢山作られているのですが、その中の一つ、オペラ「てかがみ」は2001年に初演されて以来、全国各地で上演され、多くの聴衆に感動を与え続けている「メイド・イン・ジャパン」のオペラです。

物語は70数年前の戦争当時1945年(昭和20年)と21世紀を迎えようとする2000年(平成12年)の二つの時代の日本が舞台です。戦時中、一人の日本人女性が、親切にしてもらったお礼にとアメリカ人捕虜に手渡した小さな手鏡が、たくさんの人々の愛の力によって55年の歳月を経て、アメリカからまた日本に戻ってくるという感動のストーリーです。

オペラ「てかがみ」はフィクションですが、過去に日本が経験した空襲の恐ろしさや字彙疎聞の様子、広島と長崎に投下され、当時は新型爆弾と呼ばれた原子爆弾の事実なども克明に伝えています。時代は昭和から平成、そして令和に移っても決して風化させてはいけない日本の歴史と日本人の心を伝えていくオペラです。

オペラって？
「てかがみ」って
どんな作品？



1 生徒の皆さんも出演して頂きます。役柄は担任の先生の結婚を祝いに披露宴会場にやって来た生徒達。皆さんにピッタリな役柄です！



2 劇の中では、自分達で作ったダンス付きの歌を歌って担任の先生に喜んで貰う、という設定です。ワークショップ(事前学習)でしっかりと練習してから本番に臨みます。元気に歌って踊ればお客様が感動する事まちがいナシです！



3 ワークショップ(事前学習)と本番までの練習ががスムーズに行えるように、この作品の説明や歌唱と振付指導を収録した映像資料をご用意しています。

制作●

NPO法人ミラマーレ・オペラ





オペラ

てかがみ

作 池辺晋一 脚 本 平石静一 全二幕

あらすじ

今日は担任の亮子先生が高校の英語の先生のジョンと結婚する日。みんなに祝福され幸せな二人です。披露宴が始まると式場で火災が起こります。亮子の父親の勇一は燃えさかる炎を見て、55年前、空襲の火災で母を見殺しにしてしまった少年時代の記憶がよみがえり、捕虜収容所の軍医リチャードや杉本監督、機雷の掃海作業で殉職した父のことなどを語り始めます。それを聞いた亮子は父の背負ってきた苦悩にも気づかず、教え子になにも伝えてこなかった自分を強く責めます。

ジョンの母親レイチェルは、勇一の話から収容所の軍医リチャードこそ自分の父親であった事実に気づき、この日のためにアメリカから持参した手鏡を亮子に手渡します。この手鏡こそ、勇一の母カヨが自分への親切のお礼にとリチャードの婚約者へ託した鏡だったのです。

亮子は「てかがみ」に託された想いを胸に受け止め、ジョンと二人で希望に満ちた明日に向かって歩む決意をし、教え子を含む参列者全員から暖かい祝福の歌をたむけられて幕となります。

主な登場人物

武田勇一

亮子の父親で旅行会社を営む。5歳の時に空襲の火災に母を置き去りにしてしまった事をずっと胸の奥にひた隠し生きて来た。劇中では5歳の勇一(セリフのみ)も登場する。

武田亮子

中学校の教師。父の心の苦しみを知らずにここまで来た事に大きな後悔を感じてしまう。

武田カヨ

勇一の母親。夫の事故で転倒した際に介抱してくれた軍医リチャードに「アメリカにいるあなたのフィアンセに」と手鏡を託す。その後、空襲に遭い命を落とす。

レイチェル・ターナー

軍医リチャードの娘であり、亮子の結婚相手ジョンの母親。初老のアメリカ人女性。

ジョン・ターナー

高校教師で亮子の結婚相手。リチャードの孫にあたる。陽気なアメリカ人青年。

杉本監督

運送会社の監督。一見冷酷そうだが、陰では捕虜の待遇にも気を配っているような男。

リチャード・マクベイン

捕虜収容所の軍医。正義感が強く捕虜の待遇改善を求め、杉本監督とはそりが合わないがいつも対立している。

てかがみ



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしがいしゃ げきだんうりんこ		
制作団体名	株式会社 劇団うりんこ		
代表者職・氏名	代表取締役 原田邦英		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒465-0018 愛知県名古屋市名東区八前1丁目112番地 (名古屋市交通局 市バス 宮根)		
電話番号	052-772-1882	FAX番号	052-771-7868
ふりがな	げきだんうりんこ		
公演団体名	劇団うりんこ		
代表者職・氏名	代表 原田邦英		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒465-0018 愛知県名古屋市名東区八前1丁目112番地 (名古屋市交通局 市バス 宮根)		
制作団体 設立年月	1973年	5月	
制作団体 組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表 原田邦英 運営委員長 佐々木政司 事務局長 西尾ひろみ		①団体構成員 34名 演技部25名 制作部9名 ②加入条件 一年間の付属演劇研究所卒業と入団試験での合格
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	西尾栄儀 西尾ひろみ
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	中村敬子

制作団体沿革	<p>昭和48年 劇団うりんこ創立。 昭和51年 株式会社 劇団うりんこ設立。 昭和54年 劇団うりんこ附属演劇研究所創立。 昭和55年 名古屋市芸術奨励賞 団体賞受賞。 平成4年 愛知県芸術文化選賞受賞。 平成7年 (社)日本劇団協議会入会。 平成13~15年 文化庁芸術団体重点支援事業。 平成18年 児童福祉文化賞「だってだってのおばあさん」 平成23年 名古屋市文化振興事業団『第27回 芸術創造賞』受賞 平成24年 児童福祉文化賞「ぼくってヒーロー？」 平成25年 児童福祉文化賞「ねむるまち」</p>		
学校等における 公演実績	<p>平成28年度 合計8作品 385回 「罪と罰」12回 「ぼくはにんじやのあやし丸」48回 「名探偵!山田コタロウ」72回 「ダイアル ア ゴースト-幽霊派遣会社-」25回 「ともだちや-あいつもともだち-」91回 「はぐれ峠のわらい鬼」52回 「妥協点P」2回 「夜明けの落語」83回</p> <p>平成29年度 合計8作品 335回 「罪と罰」8回 「学校ウサギをつかまえろ」59回 「名探偵!山田コタロウ」49回 「ダイアル ア ゴースト-幽霊派遣会社-」19回 「ともだちや-あいつもともだち-」64回 「はぐれ峠のわらい鬼」31回 「海彦と山彦」36回 「夜明けの落語」69回</p> <p>平成30年度 合計8作品 367回 「罪と罰」6回 「ダイアル ア ゴースト -幽霊派遣会社-」24回 「夜明けの落語」65回 「ともだちや-あいつもともだち-」66回 「名探偵!山田コタロウ」59回 「学校ウサギをつかまえろ」84回 「はなのき村」62回 「ドン・キホーテ」1回</p>		
特別支援学校に おける公演実績	<p>愛知県立港特別支援学校 2008年7月11日 愛知県立安城特別支援学校 2009年2月18日 栃木県立那須特別支援学校 2016年11月14日 (本事業) 愛知県立豊橋特別支援学校 2018年11月21日 (本事業) 愛知県豊田市立特別支援学校 2019年7月5日</p>		
参考資料の 有無		申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
	A	※公開資料有の場合 URL	DVDを提出します
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:無 PW:無
	Aの 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団うりんこ】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生			
企画名	学校ウサギをつかまえろ			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演目: 学校ウサギをつかまえろ 原作: 岡田淳 脚本/演出: 田辺剛 舞台美術: 方勝 音楽/音響: ノノヤママナコ 公演時間(65分)			
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演目概要	<p>【あらすじ】</p> <p>下校の時間が過ぎたころ、4年3組の子どもたちが工事現場にウサギが駆け込むところを目撃! 学校の飼育小屋の最後の一匹に違いない。子どもたちのウサギ捜索が始まった。ウサギはプレハブの床下にいるところを発見されるが、なかなか捕まらない。長い棒で追いかけたり、エサをやったり、あの手この手を試すうちに日も暮れてきた。どうやってウサギをつかまえるか? 話しているうちに教室ではわからなかった友達の素顔が見えてくる。ウサギを追って、子どもたちの気持ちが一つになっていく。</p> <p>【みどころ】</p> <p>性格も家庭環境も違う子どもたちが一匹のウサギを捕まえることに夢中になる姿、一緒に成し遂げた時の高揚感と、「みんなありがとう!」という気持ちに深く感動する演劇です。回転する舞台を用いて、ウサギを追う緊張感やスピード感を体感できる演出も魅力です。随所に入る歌とダンスも、子どもたちが持つ躍動感を良く表現しており、観客を惹きつけ続けます。</p>			
演目選択理由	<p>「私も一人でできないことを、みんなで考えたり、協力したいと思いました」「ウサギが何回もつかまらず、一人一人がどうすればいいかと案を出してゆく、そんな協力が一番大切だと思いました」これは劇団に届いた子どもたちの感想です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で飼育しているウサギを捕まえるという、児童生徒にとって想像しやすく身近に感じられる内容で、興味関心を失うことなく鑑賞できる演目です。 ・異なる個性、異なる家庭環境の子どもたちが一つの目的に向かって共に行動し、協力し合って関係を作っていく過程が描かれており、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に寄与する内容です。 ・追われるウサギと追う子どもたちを回り舞台で表現する演出は、児童生徒の想像力を喚起し、芸術鑑賞能力の向上につながる内容の演目です。 			
児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態	<p>【共演の形態】</p> <p>共演児童は4年生以上を予定しています。共演児童10名程</p> <p>下校前の場面での共演です。逃げ出したウサギに気づく前の子どもたちの日常を描いた場面です。登場人物と共にサッカーなどで遊び、その後下校します。実施校ごとに遊びの内容や会話を工夫し創作し、共演します。</p> <p>【体験の形態】</p> <p>上演後、舞台の見学や舞台裏の見学を計画しています。回り舞台を間近から見学してもらいます。希望がある場合、音響のオペレーションを体験することも可能です。舞台装置に触れたり、効果音などを出す体験は、舞台芸術への興味関心を強く喚起し未来の芸術家育成・観客育成につながるものと考えます。</p>			

出 演 者	児玉俊介、牧野和彦、ダグラス伸江、山内まどか、長谷川南、高場哲也		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 6名 スタッフ: 1名 合 計: 7名	機 材 等 運搬方法	積載量 2 t 車 長 4.99m 台 数 1台

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有 無) 会場設営の所要時間(2時間半程度)					
	到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去/積込	退出
	9:00	9:00~11:30 /11:30~12:15	13:30~14:35	無	15:00~16:30	16:30
※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	30名程度(要相談で60名まで可能)				
	本公演	500名				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>【実施形態】</p> <p>①ワークショップの参加児童は、4年生以上、1クラス単位(30名程度)を基本とします。</p> <p>②指導は、ワークショップ指導経験者が2名以上で行います。</p> <p>③共演場面の練習に限らず、“演劇的表現”を楽しむためのワークショップや、子どもたち相互のコミュニケーション力向上をはかる活動を実施します。</p> <p>活動内容は、参加児童の学年や人数などによって調整します。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施決定後:ワークショップの内容、共演場面の内容に関する詳細な案内を郵送します。 ・実施前の準備:共演場面の内容を漫画やイラストで書いた手紙を送ります。手紙を実施学級に掲示し、児童生徒に周知を図ってください。 ・ワークショップ内容 <ul style="list-style-type: none"> (導入)活動の目的と概要を伝えます。アイスブレイクのための活動を行います。 (展開①)表現活動を行うための準備段階として、他者とのコミュニケーションを楽しむ活動を行います。想像を楽しむ活動と、小グループでの創作活動(身体表現)を行います。 (展開②)共演場面の内容を伝えます。下校場面の遊びの内容を決め、即興的に演じながら、共演場面を創作します。 (まとめ)共演児童を決定します。共演児童は、実際の舞台と同サイズにテーピングした場所を使い、参加共演場面を演じます。他の児童は、見学します。 					
ワークショップ 実施形態の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共演への期待と意欲を高めるために、事前に、共演場面の内容を漫画とイラストで書いた手紙を送ります ・ 鑑賞をより豊かな体験とするために、思いつかべる力(想像力)を使った身体表現活動を実施します。 ・ 小グループでの創作活動を行うことで、言語によるコミュニケーション(受信と発信)や他者との合意形成の体験をします。 ・ 劇中に共演する場면을演じるという体験を通して、鑑賞への期待を高めるとともに、共演する事への意欲を高めます。 ・ 共演場面に創作部分を入れ、上演校独自の場面をつくりあげることによって、児童の発想力 					

	<p>を育みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らのアイデアが共演場面の創作に活かされる体験を通し、自己肯定感や自信を育みます。 <p>児童と劇団員が共演し、一つの場面を共につくりあげる事は、協働の体験となり、本番を成功させたときの達成感は大きな成功体験となる事と考えます。</p> <p>これらの内容は、すべての小学校において、特に変更なく実施することが可能です。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>特別支援学校においても、特に変更なく上演が可能です。</p> <p>台詞や要約した物語などを、スライドで投影することが可能です(パソコンと、プロジェクター、スクリーンの用意は学校でお願いします)。</p> <p>先生方と綿密に話し合い、必要に応じて共演内容などを工夫します。</p> <p>児童が心身ともに安定した状態で鑑賞できるよう、また舞台をより身近に感じられるよう、上演の前後に出演俳優と触れ合う機会を設けるなど工夫をします。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

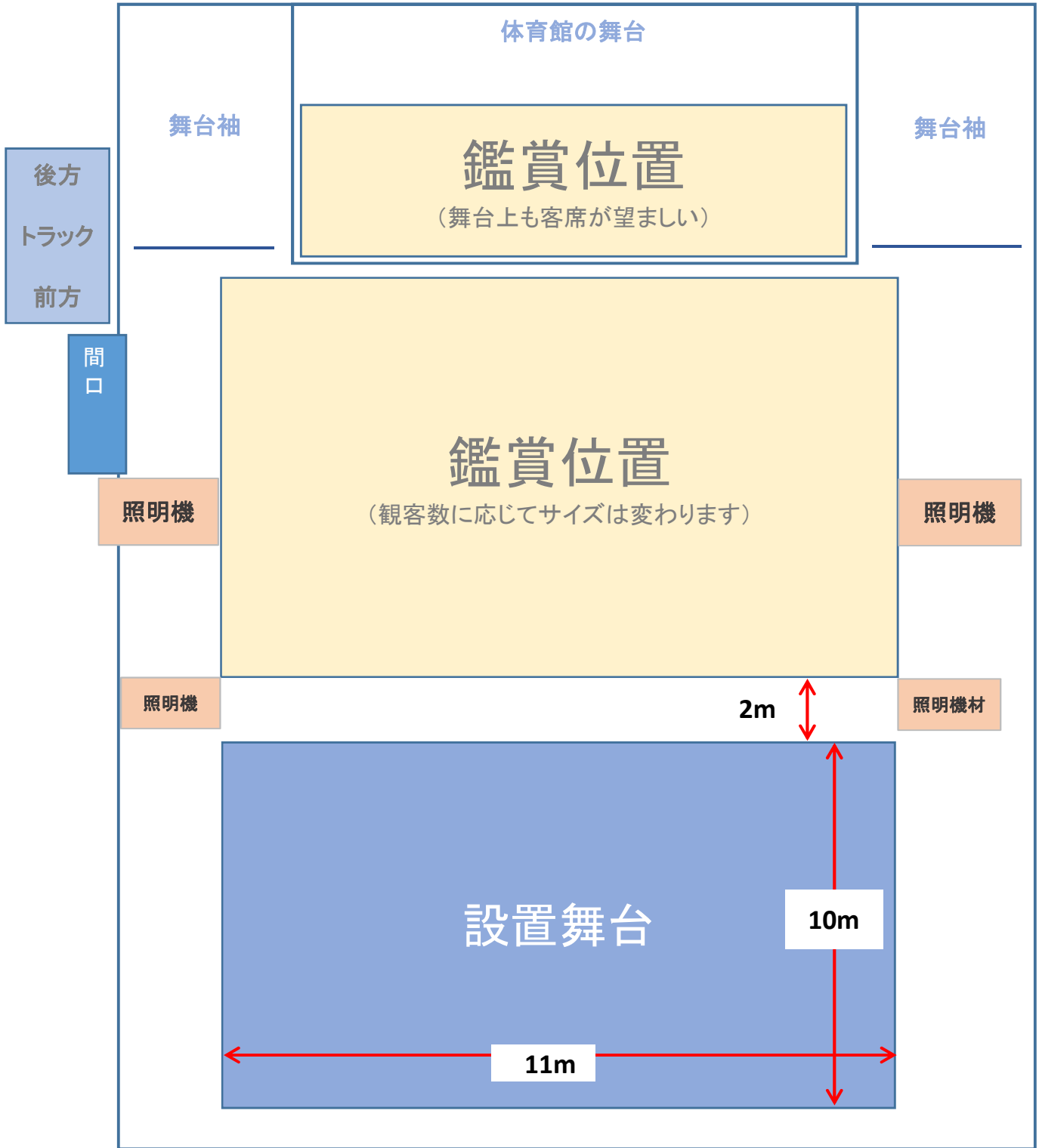
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E52	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	劇団うりんこ			制作団体名	株式会社 劇団うりんこ				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	特になし				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	バン	1台	
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック	長さ4.99m	幅1.88m	高さ3.04m	
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			雨天時、屋根のある経路が望ましい。				
		理由			平台・パネルなど舞台大道具の搬入をするため。				
	可	設置階の制限 *			2階までが望ましい。				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8	高さ	1.8		
WSについて	可	参加可能人数			30名程度(60名まで相談可)				
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	高学年		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			客席として、ステージとフロアを使用できる場合500名程度まで				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	11	奥行	10	高さ	4
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要	
	—				舞台袖スペースの条件 *			無し	
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	完全に暗くならなくても可能。		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			20A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		横づけが望ましい		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

届きそうが届かない、すぐそこなのに。



ぎくしゃくしながらも、しだいに力を合わせていく子どもたち。その心の交流、そして訪れる一体感を描きます。

学校ウサギをつかまえる

原作・絵 ■ 岡田 淳
「学校ウサギをつかまえる」 借成社
脚本・演出 ■ 田辺 剛 (下鴨車窓)

誰 かと一緒に夢中で何かを成し遂げた時に感ずる「みんなありがとう!自分にもありがとう!」という気持ちは大人になっても忘れない宝物です。このお芝居は、学校の飼育小屋から逃げ出したウサギを助けようとする子どもたちのお話です。生きたウサギをつかまえるためには汗もかくし服も汚れるし、チームワークや瞬間の判断力、行動力が必要です。たまたま起きたささやかな事件の中、教室の中とは違う顔のクラスメートに驚いたり見直したり:ピンチをチャンスに変えていく子どもたちの姿はともドラマチックです。それがどんなにささやかな出来事だったとしても、その時その瞬間、ベストを尽くして「みんなありがとう!自分にもありがとう!」自分にもありがとう!」って気持ちになれるのは大人より子どもたちのほうが得意かもしれません。昨日の失敗や明日の心配より「今、この瞬間」に生きているのが子どもたちですから!

STORY
下 校時間午後4時すぎ、4年3組の子どもたちが公民館の裏庭にある工事現場にウサギが駆け込むところを目撃!学校にある飼育小屋の最後の一匹に違いない。子ども達のウサギ捜索が始まった。
ウサギは、プレハブ小屋の床下にいるところを発見されるがなかなか捕まらない。長い棒で追いやろうとしたリエサをあげたり、あの手この手を試すうちに日も暮れてきた。どうやってウサギを捕まえるか?話しているうちに教室では分らなかった友達達の素顔を知り、焦る子どもたちの気持ちはやがて一つになっていく。

MESSAGE
誰 かと一緒に夢中で何かを成し遂げた時に感ずる「みんなありがとう!自分にもありがとう!」という気持ちは大人になっても忘れない宝物です。このお芝居は、学校の飼育小屋から逃げ出したウサギを助けようとする子どもたちのお話です。生きたウサギをつかまえるためには汗もかくし服も汚れるし、チームワークや瞬間の判断力、行動力が必要です。たまたま起きたささやかな事件の中、教室の中とは違う顔のクラスメートに驚いたり見直したり:ピンチをチャンスに変えていく子どもたちの姿はともドラマチックです。それがどんなにささやかな出来事だったとしても、その時その瞬間、ベストを尽くして「みんなありがとう!自分にもありがとう!」自分にもありがとう!」って気持ちになれるのは大人より子どもたちのほうが得意かもしれません。昨日の失敗や明日の心配より「今、この瞬間」に生きているのが子どもたちですから!

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	○児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

○A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ ○なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん げんだいにんぎょうげきせんたー 公益財団法人 現代人形劇センター		
代表者職・氏名	理事長 塚田千恵美		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒211-0035 川崎市中原区井田 3-10-31 東横線元住吉駅より、川崎市絵バスで「井田営業所前」		
電話番号	044-777-2228	FAX番号	044-777-3570
ふりがな 公演団体名	デフ・パペットシアター・ひとみ		
代表者職・氏名	代表 善岡修		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒211-0035 川崎市中原区井田 3-10-31 東横線元住吉駅より、川崎市絵バスで「井田営業所前」		
制作団体 設立年月	1969年 4月 (2011年公益財団法人へ移行)		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:塚田千恵美 業務執行理事:松澤文字 理事:大杉豊、小川信夫、平野英俊、北条秀衛、築瀬恵子 監事:桑野雄一郎	理事:7名、評議員:7名、監事:1名 職員:12名	
事務体制の担当	専任 ・ ○他の業務と兼任	本事業担当者名	坂田尚
経理処理等の 監査担当の有無	○有 ・ 無	経理責任者名	菅原真弓

制作団体沿革	1969年4月 文部省より財団法人設立認可。和泉流狂言、乙女文楽の稽古を開始 1970年 全国のからくり人形の本格調査開始 1973年 海外人形劇招聘事業開始 1974年 出版事業開始 1975年 全国の伝統人形芝居の本格的調査開始。ヨーロッパ人形劇の実情調査開始 1978年 アジア人形劇の実情調査開始 1979年 国際児童年記念「人形劇カーニバル飯田」を提唱、事務局を担当 1980年 ろう者と聴者の協働による人形劇団デフ・パペットシアター・ひとみ設立 1983年 デフ・パペットシアター・ひとみ初の海外公演(チェコ) 国際デフ・パントマイム・フェスティバル審査員特別賞受賞 2011年4月 公益財団法人に移行		
学校等における公演実績	2011年度 12校で公演、ワークショップ 2012年度 11校で公演、ワークショップ 2013年度 25校で公演、ワークショップ 2014年度 20校で公演、ワークショップ 2015年度 20校で公演、ワークショップ 2016年度 17校で公演、ワークショップ 2017年度 19校で公演、ワークショップ 2018年度 24校で公演、ワークショップ		
特別支援学校における公演実績	2011年度 28校で公演、ワークショップ 2012年度 15校で公演、ワークショップ 2013年度 3校で公演、ワークショップ 2014年度 6校で公演、ワークショップ 2015年度 14校で公演、ワークショップ 2016年度 4校で公演、ワークショップ 2017年度 16校で公演、ワークショップ 2018年度 15校で公演、ワークショップ ※聾学校または聾児が中心の支援学校です。		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	○有 ・ 無 ○有 ・ 無 http://deaf.puppet.or.jp/ ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	有 ・ 無 ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	ろう者と聴者の協働による、家族を語る人形劇		
本公演演目	「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」		
原作 / 作曲 脚本 演出 / 振付	構成・演出:くすのき燕(人形芝居燕屋) 美術:太田拓美 照明:後藤義夫(ステージ・アイ) マイム指導:チカパン 舞台監督:やなせけいこ 音楽:田丸智也 / やなせけいこ 音響プラン:森下勝史(人形劇団ひとみ座) スライド写真:古谷均 演出助手:木俣かおり(人形劇団ひとみ座)		
	公演時間(80 分)		
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>家族の愛情と絆の物語りです。</p> <p>戦前から現在まで、時代や文明に翻弄されながら生きる、ある家族の三代に亘る変動を通して、人類に多くの物をもたらす文明社会において、本当に大切なものは何かを問いかけます。</p> <p>セリフはありません。劇団結成以来積み重ねてきた、人形と動きにより表現します。登場人物は人形、それ以外の小道具、セットはすべて箱を用い、物の特性や特徴をつかんで表すという独自の方法です。</p> <p>演出のくすのき燕氏は、人形による様々な表現に挑み続ける気鋭の人形劇演出家。現在、国内外で活動し高い評価を得ており、注目と人気を集めています。デフ・パペットシアター・ひとみのメンバーは、くすのき氏によるプロットを基に、箱を使ったワークショップや身体表現の試みを積み重ねて作り上げた</p>		
			
	<p><あらすじ></p> <p>幼馴染の“スミ”に恋した“センキチ”。不器用な告白の末、2人は結ばれます。</p> <p>スミの心を動かしたのは、彼が送ったオルゴールでした。しかし幸せは長くは続かず、戦争が2人を引き離します。</p>		



悲惨な戦争を生き抜いて帰ってきたセンキチはスミと結婚し、2人は家族となります。2人には娘“ユキエ”が生まれ、新しい家には次々と電化製品がやってきます。便利なものに囲まれながら、親子3人は幸せに暮らし



やがてユキエは結婚し、息子“カイト”が生まれました。世の中の生活スタイルは急速に変化していきます。父親“タダシ”は仕事に追われ、ユキエはテレビ、カイトはゲームに夢中。皆で1台のテレビを囲む時代は終わりました。家族はバラバラになってしまったのでしょうか？



演目選択理由

理由1: 作品のテーマ

社会の中だけでなく、家族の中でもコミュニケーションが希薄になりつつある今だからこそ「家族の絆」をテーマに選びました。東日本大震災を経験した私たちは、更に家族の絆、人と人との絆の大切さ、文明がもたらしたものの功罪を考えさせられました。子どもたちにも自分の家族、回りの社会を見つめて、是非これらのテーマについて考えるきっかけにしてほしいと思います。

理由2: 表現方法

この作品にはセリフがありません。それが逆に想像力と集中力を引き出します。楽しみながら、さまざまに想像力を働かせながら、それぞれの感性で見たいと思います。多様な表現に触れ、感性と想像力を駆使する観劇体験を味わっていただきたいと思

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>生徒さんの発表は本編に先立って行います。 箱が表現するということはどうことなのか？ワークショップで制作した作品を発表してもらい、全校生徒さんに、何を表現しているか当ててもらい、クイズ形式で行います。ワークショップに参加できなかった生徒さんも、このクイズを通して箱で表現することに自然に参加することになります。 この体験が、この後に続く本編の鑑賞に大変良い効果をもたらします。生徒さんたちの中に「箱で表現する」ということが理解できていますから、自然と箱が表現する世界に入ることができます。 セリフがないこの人形劇を理解し、楽しむために、とても良い導入となります。</p>		
<p>出演者</p>	<p>デフ・パペットシアター・ひとみ 榎本トオル、鈴木文、やなせけいこ、他3名 (劇団内部での配役の組み換えを検討中で、現時点ではあと3名は未定です)</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 6名 <u>スタッフ: 3名</u> 合計: 9名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 3 t 車長 7 m 台数 1台</p>

【公演団体名 :デフ・パペットシアター・ひとみ】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="389 703 1430 938"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 時 30 分</td> <td>～11 時 30 分 仕込み後、ワーク ショップの生徒さ んとの稽古</td> <td>13 時 30 分～ 15 時 10 分</td> <td>なし</td> <td>15 時 30～ 17 時</td> <td>17 時</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</p>						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	8 時 30 分	～11 時 30 分 仕込み後、ワーク ショップの生徒さ んとの稽古	13 時 30 分～ 15 時 10 分	なし	15 時 30～ 17 時	17 時
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
8 時 30 分	～11 時 30 分 仕込み後、ワーク ショップの生徒さ んとの稽古	13 時 30 分～ 15 時 10 分	なし	15 時 30～ 17 時	17 時													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	40 人まで(6～7 人ずつ、6 グループに分けて実施)																
	本公演	400 人まで																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	<p><テーマ> 箱からイメージをふくらませよう！</p> <p><道具> 学校で用意していただくもの＝ホワイトボード(黒板)、ビデオカメラ(作品撮影用) 参加する生徒さん＝家から1人1～2個小さな箱を持参してもらおう。 劇団が持参するもの＝大小数種類の段ボール箱</p> <p><概要> 6名前後で構成されたチームごとに、箱を「何か」に見立てます。 物の形を作るのではなく、物の機能や特性を考えて、大小いろいろな箱を使って、その箱をそのものに見立てることで表現します。それをグループの中で皆で相談して進めます。最後に各グループで発表し、表現が伝わるか、また伝わらない場合は何が問題なのかを考えて、次の表現に生かします。</p> <p><ワークショップの進行> 1、アイスブレイキング(心と体をほぐすための準備運動) 講師陣の自己紹介と手話の紹介をする。その後、手話表現の動きをもとにした身体ゲームをおこなう。次に生徒さんたちが自由に歩きながら、アイコンタクト&タッチ(目と目が合った者同士がタッチする)を行う。このゲームを通じて、気分をほぐしながら自分の気持ちを伝える事や、他者の表現を読み取る力を養う。 2、デモンストレーション1 デフ・パペットシアター・ひとみのメンバーによる実演。どんなふうに表示すればいいかを参考にしてもらおう。 3、製作① チーム(学校での班分けでも可)に分かれて作品の製作を行う。 1回目は、1個の箱を使うものを10個以上考える。その中から1つを皆の前で発表し、</p>																	

	<p>作品を見た生徒さんたちは感想を述べる。</p> <p>4、デモンストレーション 2 デフ・パペットシアター・ひとみのメンバーによる、複数の箱を使った実演。</p> <p>5、製作② 複数の箱を使って何かを表現するものを複数考える。その中から1つを皆の前で発表し、作品を見た生徒さんは感想や意見を述べる。</p> <p>6、製作③ 製作 1,2 を踏まえて、本公演の際に発表する作品を各チーム1つずつ決める。</p> <p>7、公演前稽古 本公演日は発表前に1時限分程度、稽古する。</p>
ワークショップ 実施形態の意図	<p>身の回りに当たり前の様にある「箱」で、いろいろなモノが表現できるということを楽しんでもらいたいと思います。「見立てる」という行為は大変高度な行為で、単に形をまねるのではなく、想像力、表現力、洞察力などを必要とします。</p> <p>同時に、言語を介さなくてもさまざまなことを伝え、受け止めることができることを実感してもらいたいと思います。</p> <p>この作業はグループで、相談しながら進めます。互いに意見を出し合い、聞き、受け止めあうことを通して、他の人が独自の想像力を持っていることを知る機会ともなります。また、表現しようとするものを見つめる洞察力など、日常生活ではあまり経験しないことを体験する機会となります。</p> <p>グループ内でいろいろ意見を出し合い、最終的に結論に導く過程では、コミュニケーションの必要性を学ぶこととなります。</p>
特別支援学校での実施における工夫点	<p>デフ・パペットシアター・ひとみは文字通り deaf(ろう者)と聴者が協働して活動している劇団です。すべての作品は聞こえる、聞こえないに関係なく楽しんでいただけるように製作されています。その為、聾学校や聴覚支援学校での公演、ワークショップは全く問題ありません。</p> <p>他の支援学校(身体、精神、重複障害)の場合は、今までも数校実施してきましたが、必ず事前にメンバーが学校に伺って、生徒さんの状態に合わせた内容を先生と相談する必要がありますが、それができれば問題なく実施できます。</p> <p>公演は80分休憩なしですが、途中で休憩を入れることも可能です。</p>
実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

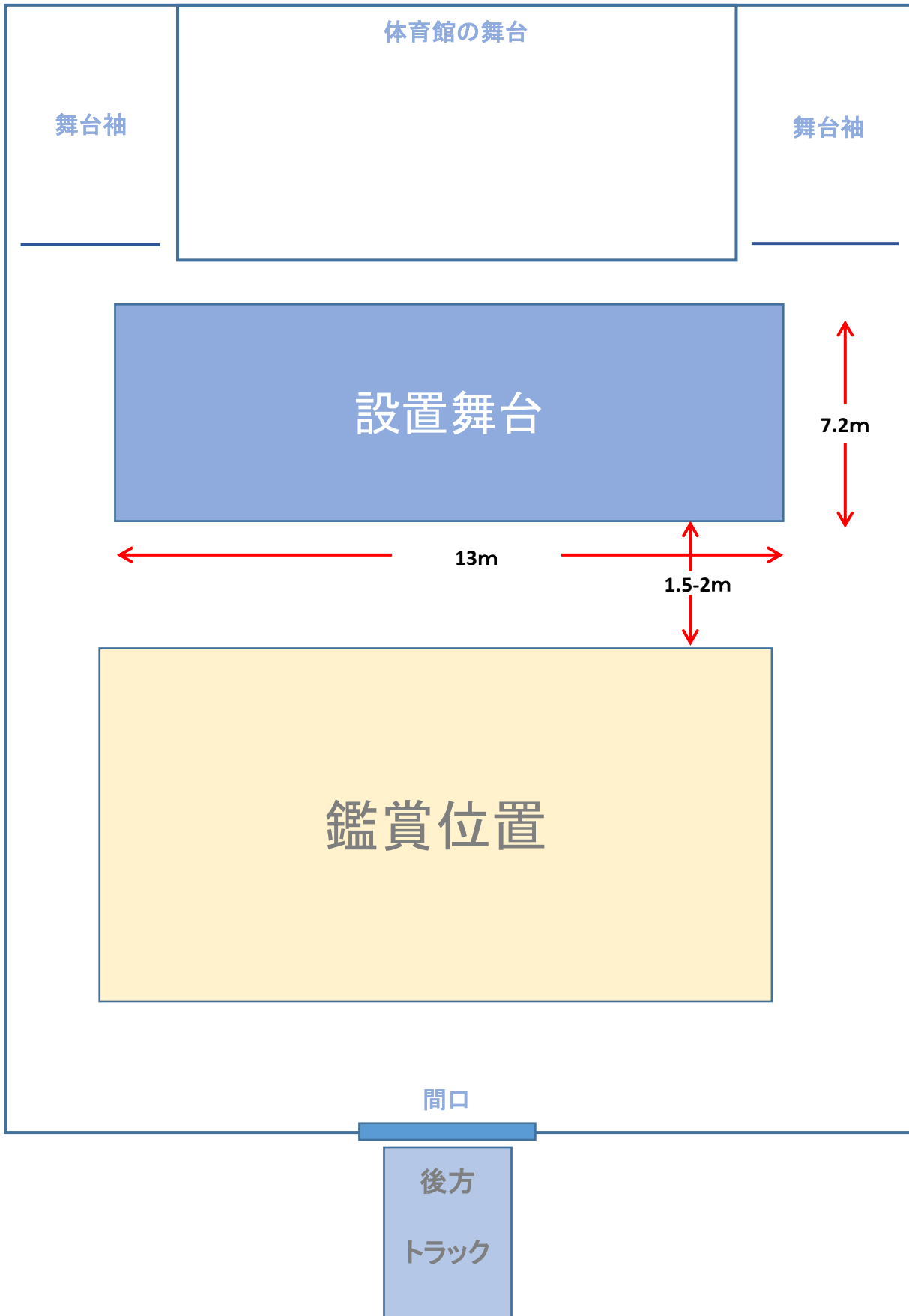
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E53	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	デフ・パペットシアター・ひとみ				制作団体名	公益財団法人 現代人形劇センター			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	昼食をとるために使います				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			3トラック	1台	バン	1台	
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			長さ7m 1台				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			50m				
	不可	搬入経路の最低条件			横づけできない場合は、雨に当たらない経路が必要です。				
		理由			道具を濡らさないため。				
	可	設置階の制限 *			エレベータがない場合は3階が限度				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	85cm	高さ	185cm		
WSIについて	可	参加可能人数			40人まで(6~7人ずつ、6グループに分けて実施)				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	小学校高学年以上(応相談)		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			300人(300人以上の場合にはご相談ください。)				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	13m	奥行	7.2m	高さ	3.8m
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要	
	—				舞台袖スペースの条件 *				
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明効果を上げるため		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	—			ピアノの事前調律 *		不要			
	—	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		問題なし			
	不可	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								
	平土間で観賞していただくため、見やすくするため木製のベンチ(3種類、24枚)を持ち込みます。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	85cm	高さ	185cm
搬入車両の横づけの可否		必要		
横づけができない場合の搬入可能距離		50m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



ろう者と聴者が共につくる
デフ・パペットシアター・ひとみ
 DEAF PUPPET THEATER HITOMI

ぼくすいーず
はこ / BOXES
 じいちゃんのオルゴール



撮影：古屋均

デフ・パペットシアター・ひとみの紹介

日本でただひとつ、耳の間こえない人と聞こえる人が一緒に人形劇を作っているスロの劇団です。

1980年に劇団創立。今年は劇団ができてから38年目です。

北海道から沖縄まで、日本全国で公演しています。

海外公演も多く、チェコ、フランス、ポーランド、エジプト、イエメン、アラブ首長国連邦、パーレーン、カンボジア、ホンコン、韓国、ニュージーランド、アメリカなどで公演してきました。



出演者

榎本 トオル
 鈴木 文
 やなせけいこ
 ほか3名

スタッフ

構成・演出：くすのき 燕
 美術：太田 拓美 音楽：田丸 智也 / やなせけいこ
 照明：後藤 義夫 音響スラン：森下 勝史
 音響操作：中山 知二 舞台監督：やなせけいこ
 演出助手：木俣 かおり マイム指導：チカバン
 スライド写真：古谷 均
 スログラム・デザイン：宿谷 とも美 / ミナミデ タカユキ

デフ・パペットシアター・ひとみの手話

【手】 右手のひらで右耳をふさぐようにする。

【人形】 右手の親指と人差し指と中指を立てて指先を動かす。

【劇】 両こぶしを手首を返しながら前後させる。

【シアター】

【団体】 指先を上に向けた両手を水平に手前に円を描く。

【目】 右人差し指で右目をさす。

知っていますか？

～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

文化芸術による子供育成総合事業 一巡回公演事業

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



大きい「はこ」 小さい「はこ」
つめたい「はこ」 ぬくもりの「はこ」
すべては「はこ」からはじまった…。

ものがたり

ひとりの男の子がおさななじみの女の子に恋をしました。
でも、気持ちを伝えるのはたいへんで、なかなか言い出せません。
ある日、男の子はオルゴールをおくります。
男の子の気持ちを知った女の子。
心をかよわせたふたりはとても幸せになりました。

そんなとき、戦争がはじまります。
男の子は兵隊になり、ふたりははなればなれに。
戦争は家族にたくさんのつらい思いをさせました。
けれど戦争は終わり、男の子は帰ってきます。

愛し合う男の子と女の子は夫婦になります。
娘が生まれ、ふたりはお父さんとお母さんになりました。

家の中には新しい物がどんどんふえます。
洗濯機やテレビ、冷蔵庫、扇風機……。
家族3人はいつも一緒に、楽しく暮らしていました。

やがて、娘は大きくなって結婚し、男の子が生まれます。
ふたりはおじいちゃんとおばあちゃんになりました。
新しい家には新しい物がますますふえます。
家族のくらし方も昔とは変わって、パソコンで仕事におわれたり、
テレビやゲームに夢中になったり……。
家族はバラバラになってしまったのでしょうか？
そんなある日、おばあちゃんが取り出したものは……。



うれしいことや楽しいことだけでなく、かなしいことやつらいことも、
生きていく中で、家族はたくさん出会います。
みなさんのひいおじいちゃんやひいおばあちゃんのおはなしです。
若い頃から今の時代までの、ひとつの家族のおはなしです。

今日のお芝居は、みなさんが知っている、または見たことのある人形劇と少しがう
と思います。言葉をほとんど使いません。人形はでできますが、それ以外にでてる
ものは「はこ」だけです。でもきっと、お話はわかるといいますし、「はこたち」は色々
なものに見えるはず。みなさんのもつ「想像力」という力によって、そう見えるの
です。コナンのように「すいり」をする。科学者のように「すいさつ」をする。
ほかの人を思いやる。これらは全て、この「そうぞうりよく」によって生み出されます。
なぜなぞをいったりするのも、そうですね。近ごろでは、サッカーでも「そうぞうりよく」
のあるプレーというのが大事なようです。
それでは、「そうぞうりよく」をいっぱい使って、このお芝居を楽しんでくださいね。

そうぞうりよく
くすのき燕
(演出家)



知っているかな？

洗濯機と手回し脱水機

洗濯物をローラーにはさんで
くるくる回して水をしぼります。



黒電話

ダイヤルに指を入れてまわし
電話をかけます。



このお芝居には昔懐かしい
機械が出てきます。

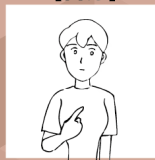
蓄音機

ハンドルをくるくるまわすと
レコードから音楽が鳴ります。



きみも手話を
やってみよう。

【自分】



人差指で胸を指さす。

【お父さん】



右人差指でほおにふれ
親指を出す。

【お母さん】



右人差指をほおにふれ
右小指を出す。

【家族】



左の屋根形の下で
右手の親指と小指を振る。

【ありがとう】



右手を左手甲に軽く当て
拝むようにする。

【一緒に】



両手の人差指を
左右から合わせる。

【楽しい】



両手のひらを胸の前で
交互に上下させる。

引用 『新日本語-手話辞典』2011年6月10日発行
編集 社会福祉法人全国手話研修センター-日本手話研究所
監修 米川明彦
発行 一般財団法人全日本ろうあ連盟
制作・販売 中央法規出版株式会社
イラスト ふるはしひとみ

ぜんいほん れんめい ぜんこしゆけんしんしやう
*全日本ろうあ連盟および全国手話研修センターの複写許諾を受けて
います。ただし、この資料の複製は禁止されています。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, (演劇), ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・(A区分とB区分の両方)・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

(あり)・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃ げきだんかけぼうし		
制作団体名	株式会社劇団影法師		
代表者職・氏名	代表取締役 小杉 隆		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒180-0012 東京都武蔵野市緑町2-1-5 (JR 中央線 三鷹駅)		
電話番号	0422-54-7770	F A X 番号	0422-54-6070
ふりがな	かぶしきがいしゃ げきだんかけぼうし		
公演団体名	株式会社劇団影法師		
代表者職・氏名	代表取締役 小杉 隆		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒180-0012 東京都武蔵野市緑町2-1-5 (JR 中央線 三鷹駅)		
制作団体 設立年月	1980年 12月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 小杉隆 取締役 原田尚幸 取締役 川田一彰 監査役 山崎祐	演技部 15名 / 文芸演出部 2名 制作部 3名 面接及びオーディションにより随時採用	
事務体制の担当	(専任) ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	小杉 隆
経理処理等の 監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	下路 雅之

制作団体沿革	<p>1978 年 劇団創立。影絵劇、人形劇を中心に日本全国の児童青少年に向けた幅広い公演活動を開始する。</p> <p>1980 年株式会社劇団影法師を設立。現在までに 40 年間で延べ 1,109 万人以上の観客に当劇団の作品をご鑑賞頂いております。</p> <p>1988 年より国際的な視野にたち、現在までに世界 16 カ国の劇団と 23 作品の国際共同制作を行い、海外公演は 16 作品を 28 カ国 84 都市において実施しております。</p> <p>これら国際的な功績により、平成 16 年には日本の演劇団体として、初めて外務大臣表彰を受けました。</p> <p>【劇団影法師 主な受賞歴など】</p> <p>外務大臣表彰／東京都優秀児童演劇選定優秀賞／(公社)日本演劇協会優秀賞／(公財)都民劇場優秀賞／厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財／上海国際児童演劇祭 最優秀賞・ベストクリエイティブ賞／文化庁優秀舞台芸術奨励事業／こども芸術劇場／本物の舞台芸術体験事業／次代を担う子どもの文化体験事業等採択</p>		
学校等における公演実績	<p>1978 年より学校公演を開始、2018 年まで 40 年間で 52 作品 21,000 回公演、約 810 万名の児童・生徒さんにご鑑賞頂いた実績があります。</p> <p>※近年の実績は下記の通りになります。</p> <p>平成 26 年 4 作品 334 公演 114,428 名／平成 27 年 6 作品 366 公演 140,008 名 平成 28 年 4 作品 379 公演 128,666 名／平成 29 年 4 作品 359 公演 126,923 名 平成 30 年 6 作品 308 公演 106,765 名／令和元年 6 作品 300 公演 101,325 名(予定)</p>		
特別支援学校における公演実績	尾形原養護学校(福岡)／八幡養護学校(滋賀県)／度合特別支援学校(三重県)ほか		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	①有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	①有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
A の提出が困難な場合		今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 株式会社劇団影法師】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	ユネスコ世界無形文化遺産！珍しい伝統影絵“皮影戯(ピーインシー)”を観てみよう！		
本公演演目	「西遊記—三打白骨精の巻—」		
原作／作曲 脚 本 演出／振付	原作:呉承恩／脚色:馬鉄漢・関澄一輝／演出:柴廣義／音楽:若松正司 人形美術:柴廣義 声の出演:孫悟空(橋爪功)、猪八戒(三谷昇)、沙悟浄(有川博) 公演時間(80分)		
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>中国影絵人形劇(皮影戯)「西遊記—三打白骨精—」</p> <p>★東京都優秀児童演劇選定優秀賞 ★公益社団法人日本演劇協会優秀賞 ★公益財団法人都民劇場優秀賞 ★厚生労働省中央児童福祉審議会推薦作品 ★平成19年度文化庁本物の舞台芸術体験事業採択作品 ★平成23年度文化庁次代を担う子どもの文化芸術体験事業採択作品</p> <p>ユネスコ世界無形文化遺産登録 中国影絵人形劇 “こんな美しい影絵があるなんて！” 千二百年の歴史！驢馬などの皮で作られた影絵人形は、色彩が豊かで幻想的な美しさがあります。</p> <p>全編を通して、中国の仙人に扮した役者が、ストーリーテリングしていきます。</p> <p>①中国寓話「鶴と亀」(導入部小作品)10分</p> <p>【概要】 中国の山の中、とある池のほとり、かえるの親子、亀の親子、魚などが静かに暮らしていました。そこに大きな鶴がやってきて、池の生き物たちはびっくりして大騒ぎになります。鶴と亀の動きがコミカルで中国影絵(皮影戯)の特徴がよく表現された傑作です。</p> <p>②珍しい影絵芸術(皮影戯)についての説明 20分</p>		



③「西遊記—三打白骨精—」50分



【あらすじ】

天竺へと旅を続ける三蔵法師一行。山の洞窟に住む妖怪白骨精は、娘や老婆に化けて三蔵法師に近づきますが、その度に悟空に見破られ、打ちのめされる。しかし、妖怪だとは気づかない三蔵法師は「罪もない人間を殺めるとは何事か」と悟空を破門する。はたして悟空は、花果山に帰ったのか、それとも・・・さあ、いよいよ悟空と妖怪白骨精の知恵比べの戦いが始まります。

伝統のもつ芸術性の高さと、中国音楽の魅力、
そして一流俳優による台詞でひろがる西遊記の壮大な世界！！

☆皮影戯(ピーインシー)の影絵人形は、従来の黒い影ではなく、牛の皮に細かい彫刻と多彩な色を施した美しい人形です。

☆特殊技法で人形が大きくなったり、小さくなったり、消えたり、現れたり、魔法のように変幻自在の珍しい影絵人形劇。

まるで生きているかのような人形の動き！

リズム感を取り入れた多彩な表現に大注目！！

☆8 m×4 m の大型スクリーンが映し出す鮮やかな色彩と、80体の大型人形が表現豊かに演じる臨場感あふれる影絵人形劇です。

☆まるで生きているかのような滑らかな動きとスピード感あるアクロバティックな動きに引き込まれます。










★本作品は、「魔法のような芸術」と称されるアジア伝統影絵芸術の一つです。

1200年の歴史をもつ、美しい色彩をもったこの影絵芸術は2011年11月に、**国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産リスト**に登録されました。

★日本の現代影絵の技術を持った劇団影法師とこの伝統影絵芸術のコラボレーションによって誕生した本作品は、国際共同作品として1988年より30年間のロングラン公演の記録を更新し続けています。

<p>演目選択理由</p>	<p>本作品は、ユネスコの無形文化遺産に登録されている世界的に有名な伝統影絵芸術です。アジア独特の影絵芸術の真骨頂ともいえる要素が詰まっています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>また、この影絵芸術は、人形の仕組み、操作方法、表現方法がわかりやすく体験できるため鑑賞にとどまらず、児童・生徒さんの体験により、自ら新たなオリジナル影絵等の創作に取り組みやすい作品の為、選択致しました。</p> <p>※普段見ることができない芸術作品を鑑賞し、触れて頂くことは年に1回の芸術鑑賞会にはふさわしい作品かと思えます。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>基本ワークショップに参加した児童・生徒にはじまりの演奏も含めて、進行して頂きます。導入部の小作品「鶴と亀」に登場する魚、蝶、子亀、花などの人形操作して頂きます。つぎに、「珍しい影絵芸術(皮影戯)についての説明」をやって頂きます。休憩後、本編「西遊記」のはじまりの演奏して頂きます。</p> <p>※上記に共演する児童・生徒には、台本に基づいて、人形操作、しくみ、説明など分担して行なって頂きます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>次年度予定メンバー:柴広義・関谷敦・中條志保・葛西千里・名倉歩美・湯原満・川田一彰</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 5名 スタッフ: 2名 合計: 7名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 2t 車長 7m 台数 1台</p>

<p>公演に当たっての 会場条件</p>	<p>実施条件等確認書①をご確認ください。</p>																	
<p>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</p>	<p>前日仕込み(有・<input checked="" type="checkbox"/>) 会場設営の所要時間(4時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="416 936 1433 1014"> <thead> <tr> <th>到着時</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9時～</td> <td>13時</td> <td>13時～14時30分</td> <td>10分</td> <td>15時～17時</td> <td>17時</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p>						到着時	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	9時～	13時	13時～14時30分	10分	15時～17時	17時
到着時	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
9時～	13時	13時～14時30分	10分	15時～17時	17時													
<p>児童・生徒の参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>20名～30名</p>																
	<p>本公演</p>	<p>20名以内</p>																
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>① 影絵の種類や世界の伝統影絵の簡単な説明のあと、皮影戯(ピーインシー)の仕組みなど、実際の人形を見せながら説明します。</p> <div data-bbox="469 1272 772 1431">  </div> <div data-bbox="799 1272 1098 1431">  </div> <div data-bbox="450 1462 804 1632">  </div> <div data-bbox="858 1462 1150 1632">  </div> <div data-bbox="1177 1462 1426 1632">  </div> <p>② 皮影戯(ピーインシー)の操作、実演。</p> <div data-bbox="810 1738 1074 1908">  </div> <div data-bbox="1098 1738 1361 1908">  </div> <div data-bbox="887 1917 1286 2107">  </div>																	

③ 西遊記について



※西遊記のお話やキャラクターについて、皆さんに理解してもらいます

④ 本公演のとき、共演してもらう「鶴と亀」の模範演技を見てもらいます。



⑤ 共演に使用する中国の打楽器紹介



⑥ 人形操作体験、打楽器体験など



⑦ 共演用の人形製作



作った人形を実際にスクリーンで操作してみます。

ワークショップ 実施形態の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・影の表現の多様性と珍しい皮影戯(ピーインシー)の面白さを実感してもらい、本公演の時、その仕組みや面白さについての説明をして頂きます。 ・人形を操作しての演技を実感して頂き、本公演で共演して頂きます。 ・人形を実際に作ることによって、操作の方法、人形の仕組み、動きの独特なおもしろさ、創造力などを実感して頂きます。 ・影絵劇を作る基本要素、舞台セット、人形操作、音楽、効果音、タイミング、共演者との掛け合いなど体験を通して理解して頂きます。
特別支援学校での 実施における工夫 点	<p>実施校と綿密な相談の上、実情にあった内容をご提案させていただきます。</p> <p>例えば、字幕対応や人形に触れる体験を重視したワークショップへの変更など。操作する人形などの工夫対応致します。</p>
実施可能時期 ◇はB区分申請団 体のみ	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

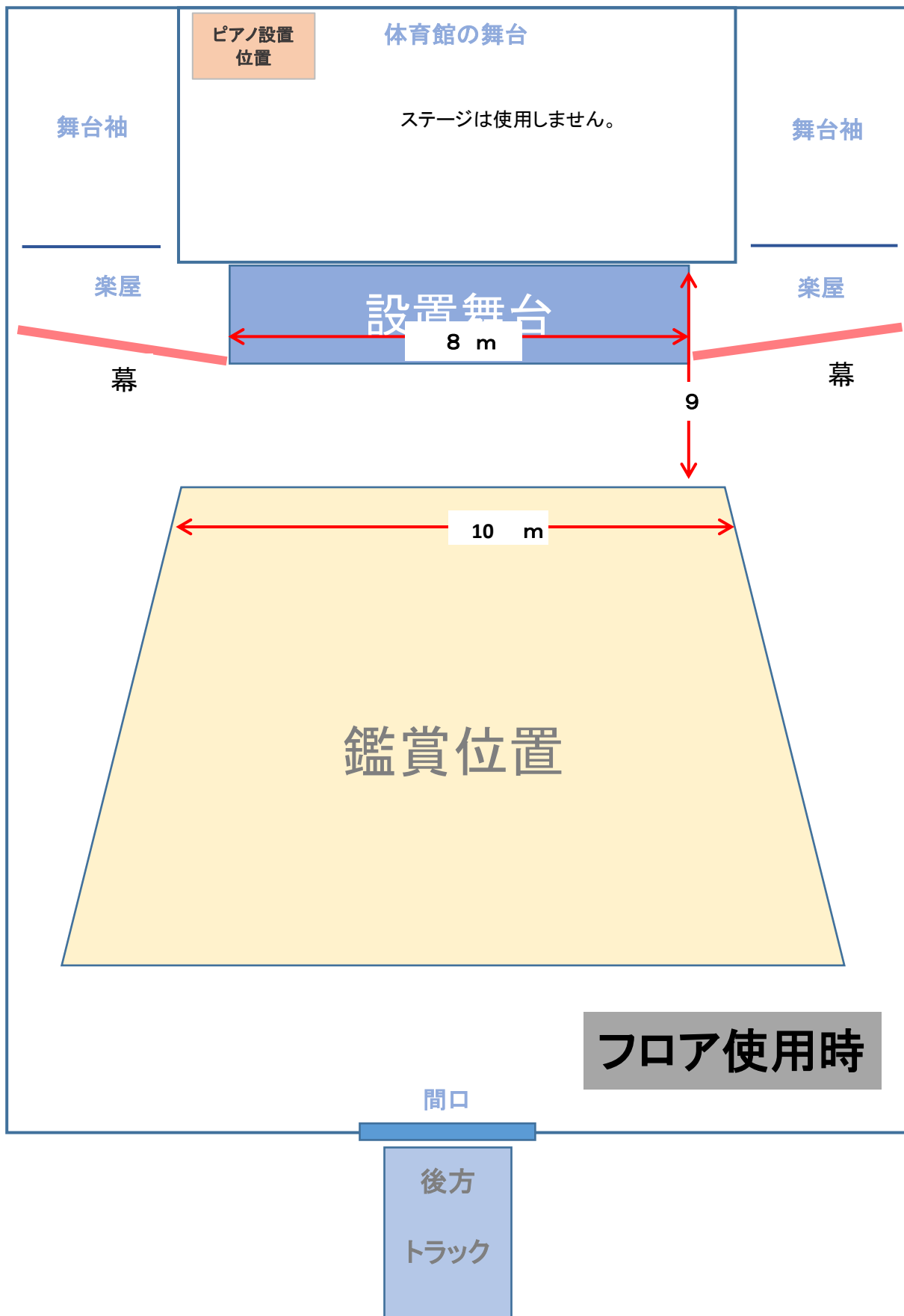
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E54	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	株式会社 劇団影法師			制作団体名	株式会社 劇団影法師				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	不要	条件						
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			バン 1台		2tトラック 1台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内					
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。					
		理由			人形及び大型スクリーンセットを搬入するため					
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可					
	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m		高さ	2m			
WSIについて	可	参加可能人数			20名程度まで					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			150分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			体育館の大きさにもよりますが、700名程度まで					
	可	舞台設置場所 *			フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	9m	高さ	4m以上	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要		
	—				舞台袖スペースの条件 *					
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	可				遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	影絵公演のため。暗幕のない場合は、持参します。
		ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
				ピアノの事前調律 *		不要				
		フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
		公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量			
その他特記事項										

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内が好ましい。		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

影絵は 影法師

劇団影法師は、「アジアに軸を置いた創作と世界に向けた発信」をテーマに活動してまいりました。

21世紀に入り、政治・経済・文化ともに欧米主導型からアジア中心へと変わってきています。我々はこの様な変化の中で、次代を担う子供たちが、自国の文化はもとより隣国を含むアジアの文化を理解し、誇りを持って広く世界で活躍してくれることを願っています。そのための活動として、劇団影法師はボディシルエット等、新しい手法を創作し、日本の影絵をリードすると共に、中国影絵の皮影戯(ピーインシー)等のアジアの伝統文化との国際共同制作の先駆者として、日本の現代演劇を世界に発信してまいりました。グローバルな視野と文化的芸術的センスを持った素晴らしい若者が日本から数多く巣立っていくことを願っています。

影法師は演劇団体として初の外務大臣表彰を受賞しました。

劇団影法師は1978年に創立。既成の概念にとらわれない斬新なアイデアと新技術を導入した創造活動により、文化庁主催公演を始め、日本全国を活動の場として、精力的な公演を続け、日本の児童青少年演劇界をリードして参りました。

また、劇団創立10周年を迎えた1988年より現在に至るまで、国際的視野に立った創作活動を推進し、欧米やアジア各国を代表する16カ国の劇団と24作品にもおよび国際共同制作を行

い、海外公演も既に10数作品を30カ国・地域84都市において公演を実施しております。

これらの国際交流の功績により平成16年、劇団影法師は演劇団体として、初めて外務大臣表彰を受賞しております。今後も「活力ある舞台芸術の創造」を目指し、世界の人びとの相互理解を深める心の架け橋となることを願いながら、活動を続けて参ります。

影法師の主な受賞歴

◎日中合作皮影戯特別公演「西遊記」

- ・東京都優秀児童演劇選定優秀賞
- ・(公社)日本児童青少年演劇協会優秀賞
- ・(公財)都民劇場優秀賞
- ・平成19年度文化庁本物の舞台芸術体験事業採択作品
- ・厚生省中央児童福祉審議会推薦作品
- ・平成23年度文化庁次代を担う子どもの文化芸術体験事業採択作品

◎日中合作大型人形劇「三国志」

- ・東京都優秀児童演劇選定優秀賞
- ・(公社)日本児童青少年演劇協会優秀賞
- ・(公財)都民劇場優秀賞受賞
- ・平成20年度文化庁本物の舞台芸術体験事業採択作品
- ・厚生省中央児童福祉審議会推薦作品
- ・文化庁優秀舞台芸術奨励事業公演

◎スーパーカゲエ「竹取物語」

- ・文化庁優秀舞台芸術奨励事業公演
- ・文化庁主催こども芸術劇場公演

劇団影法師の主な作品 ～斬新な企画と想像力～



音楽物語
●スマイリー●
人形の操作棒の影を無くした画期的な技術



音楽物語
●モ子モ子の木●
切り絵のデザインをそのまま生かした影絵人形



日本・北欧4ヶ国国際共同制作
●太陽の子どもたち●
セットやスクリーンに布を生かした舞台



日本・カナダ国際共同制作
●氷山ルリ●
デジタル機材を取り入れた斬新な舞台



日本・東アフリカ国際共同制作
●アフリカの風●
海外の音楽家と影絵のコラボレーション



スーパーカゲエ
●竹取物語●
日本一の大形立体影絵劇



日中国際共同制作大型人形劇
●三国志●
120cmを超える大型人形たちが魅せる壮大な歴史絵巻



日本ASEAN6ヶ国国際共同制作ミュージカル
●プリズム●
アジアの新たな舞台芸術の発信!

西遊記

～三打白骨精の巻～

美しい中国影絵劇 「ピーインシー」(皮影戯)



ユネスコ
世界無形文化遺産
登録!

- 東京都優秀児童演劇選定優秀賞
- (公社)日本児童青少年演劇協会優秀賞
- (公財)都民劇場優秀賞
- 平成19年度文化庁本物の舞台芸術体験事業採択作品
- 平成23年度文化庁次代を担う子どもの文化芸術体験事業採択作品
- 厚生省中央児童福祉審議会推薦作品

Produced by
劇団影法師

公益社団法人 日本劇団協議会加盟 / 日本児童・青少年演劇団体協同組合加盟
お問合せ (株)劇団影法師 TEL 0422-54-7770 (代表) FAX 0422-54-6070
お申込み 〒180-0012 東京都武蔵野市練馬2-1-5 http://www.kageboushi.com E-mail: mail@kageboushi.com 北海道・東北オフィス TEL.022-309-3944 FAX.022-309-3945

飛ぶ!消える!変わる! 変幻自在のおもしろさ! 大型スクリーンを舞台に、まるで生きているような人形たち!



仙人に扮した
役者による
ナレーション

プログラム 低学年から高学年まで みんなで楽しめるSTORY

- 上演時間 80分
- ①中国寓話／鶴と亀 …………… 10分
 - ②皮影戯(ビーイン・シー)ワークショップ …………… 15分
～休憩～ …………… 10分
 - ③西遊記／三打白骨精の巻 …………… 45分
- 原作: 吳承恩 / 演出: 柴廣義 / 脚色: 関澄一輝



生きているような鶴と亀によるコミカルな寓話「鶴と亀」

退場時にスクリーン裏の見学も可能です。ご相談下さい。



体験

人形を透かした技術や竹の棒による独特の操作方法は、日本にない技術です。
普段、見ることのできない芸術を体験して下さい。

一流俳優の声
演技を
引き立てます

- 孫悟空…橋爪 功
白骨精…岸田今日子
猪八戒…三谷 昇
沙悟浄…有川 博 他



橋爪 功

国連教育科学文化機関(ユネスコ)は2011年11月に中国影絵芝居を人類の無形文化遺産リストに登録しました。
皮影戯(皮の影のお芝居)の魅力

美しい色彩
皮を彫刻し彩色した芸術的な人形の幻想的な色彩。

生きているような動き
素材に皮を使い、関節があることによる柔軟な動き。

変幻自在
人形を透かした独特の照明技法と竹の棒による巧みな操作技法により、大型スクリーンの全面を動きまわり、消えたり、変身したり、大きくも小さくもなれる変幻自在の演技。



中国影絵美術家
柴廣義

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, <input type="checkbox"/> ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ おペラシアターこんにやくざ		
制作団体名	有限会社オペラシアターこんにやく座		
代表者職・氏名	代表取締役 萩 京子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1 (最寄り駅・JR南武線「宿河原」駅)		
電話番号	044-930-1720	FAX番号	044-930-1721
ふりがな	おペラシアターこんにやくざ		
公演団体名	オペラシアターこんにやく座		
代表者職・氏名	代表 萩 京子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1 (最寄り駅・JR南武線「宿河原」駅)		
制作団体 設立年月	1988年6月 法人設立 (1971年4月 劇団創立)		
制作団体 組織	役員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 萩 京子 取締役 大石哲史		代表・音楽監督・座付作曲家/萩 京子、歌役者/39名、制作/7名、事務/2名、経理事務/1名 加入条件: 団体の活動に全面的に参加できることが必要。歌役者はオーディションを、制作や事務は面接を行なう。
事務体制の担当	専任 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	土居 麦
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	土居 麦

制作団体沿革	<p>1966年に東京芸術大学に発足した「こんにやく体操クラブ」を母体として、1971年、オペラ小劇場こんにやく座創立。日本においてオペラを普及させるために欠くことの出来ない条件として、日本語の明瞭な歌唱表現を追求しながら、小・中・高校生を主な対象とした全国巡回公演を開始。1985年4月にオペラシアターこんにやく座と改名。1988年6月、有限会社オペラシアターこんにやく座設立。創立以来、林光(故人)、萩京子作曲のオリジナルオペラを数多く創作、上演している。活動は国内に留まらず、過去7ツアー延べ19カ国の海外公演も行なっている。</p> <p>1989年、ジローオペラ賞特別賞、文化庁芸術祭賞、音楽之友社賞受賞。1997年、山本安英の会記念基金賞、三菱信託音楽賞受賞。2000年、『ロはロボットのロ』の成果により、東京都教育委員会優秀賞、(社)日本演劇協会賞、(財)都民演劇賞の3賞受賞。2014年、小泉文夫音楽賞受賞。</p> <p>1998年より継続して文化庁の現・文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)に採択される。また本巡回公演事業に2003年より継続し採択されている。</p>		
学校等における公演実績	<p>2016～2018年度の3年間において、学校公演は、『銀のロバ』82公演、『ネズミの涙』43公演、『ピノッキオ』31公演、『森は生きている』29公演(本巡回公演事業以外)、『ロはロボットのロ』25公演(本巡回公演事業以外)、『おぐりとてると』22公演、『タンゲーまほうをかけた舌』13公演、「コンサート」6公演、『想稿・銀河鉄道の夜』1公演の計252公演を実施。このほか公文協一般公演や、子ども・おやこ劇場、演劇鑑賞会など272公演を実施。</p> <p>『ロはロボットのロ』は、1999年初演以来、小、中、高校、保育園幼稚園など、あわせて259公演を実施。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>1984年～2018年までに計30ステージ、約4200名の児童生徒が鑑賞している。</p> <p>作品は『森は生きている』、『ロはロボットのロ』、『ピノッキオ』など。</p> <p>その他コンサート企画などの依頼を受け、実施している。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 DVDを提出します ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	有 ・ 無 ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 オペラシアターこんにゃく座】

対象	小学生(<u>低学年・中学年・高学年</u>) ・ 中学生				
企画名	オペラ『口はロボットの口』				
本公演演目	オペラ『口はロボットの口』				
原作/作曲	作曲:萩京子				
脚本	台本:鄭義信				
演出/振付	演出:鄭義信/振付:伊藤多恵				
	公演時間(105分)				
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	許諾の有無
演目概要	<p>オペラ『口はロボットの口』は1999年初演。萩京子作曲による代表演目の一つです。初演以来、小学校公演や子ども・おやこ劇場公演を中心に展開。2005年を最後に一度休演期間に入りましたが、全国の子ども・おやこ劇場からの再演を強く望む声に応え、2015年より新演出版として再びツアーを廻るようになりました。2001年に国際交流基金主催によるインドネシア・タイ・インド3カ国ツアー。2005年に韓国公演を実施。【平成12年東京都優秀児童演劇選定において、東京都教育委員会優秀賞、(社)日本演劇協会賞、(財)都民演劇賞の3賞を受賞】</p> <p>物語は、歌い手8人が計30以上の役を演じながら、多層な場面構成により展開していきます。鄭義信の「ことば」と萩京子の「音楽」と魅力的な登場人物たちによって、笑って、泣いて、ドキドキしながら、自分にとって一番大切なものを探し、旅のお話でもあります。困難に出会っても、負けずにまっすぐと前を向く主人公の視線に、(舞台にも登場する)できたてのパンを食べたときのように、心が温かなもので満たされてゆくオペラです。</p> <p>～ものがたり～</p> <p>ウェストランドのパン工場で働くパン製造ロボット‘テト’はパン作りが得意で大好き。ところがある日、作れるパンの数が減ってきてしまいました。テトは体を直してもらうため、自分を作ったドリトル博士の住むイーストランドを目指して旅立ちました。七日七晩歩きイーストランドにたどり着いたテトは、そこで‘ココ’という女の子と出会います。ロボットを目の敵にする魔女ノーマが支配するイーストランドで、テトはパンを作ることでココの窮地を救います。テトのパンは人々を幸せにしていますが、このパンのおいしさの虜になったノーマの娘‘ジーン’の策略によって、テトとココはふたたび窮地に立たされます…。</p>				
演目選択理由	<p>「こどもたちと、こどもだったすべてのおとなたちに贈る SF ファンタジーオペラ」をキャッチコピーとした本作は、冒険や出会いを通じて、主人公のロボットに血の通った感情が芽生えてゆく成長の物語です。心優しく、大切に思う人のために一生懸命なテトの姿に、子どもたちは自身を重ね、他人を思いやることの大切さや困難に立ち向かう勇気への気づきがあると期待します。</p> <p>昨今、人工知能の発達が報道される機会が多くなってきました。将来、関わりが密になっていくであろう人間とロボットとの共生に私たちはどのように向き合っていくのか、本演目にその示唆する所は多くあります。ひいては人間同士が自己と他者との違いを認め、友情や愛情を育む素地が自分にあることの発見と理解を、ワークショップや本公演を通じ、子どもたちに促していく所存です。</p>				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>ロボットや人工知能についての知識を深める事前学習に取り組んでもらいます。</p> <p>本公演において全校児童生徒に劇に参加してもらいます。</p> <p>1/「テトのパンはあ」を歌う場面で、出演者と一緒に行ながら歌います。</p> <p>2/アンコール曲として「テトのパンはあ」をもう一度一緒に歌います。</p> <p>学校の希望により、仕込みバラシの見学や、給食時間を一緒に過ごす工夫をします。</p>				

出 演 者	相原友代、佐藤敏之、泉まどか、金村慎太郎、武田茂、飯野薫、小田藍乃、泉篤史(以上オペラシアターこんにゃく座歌役者)、服部真理子(ピアノ・フリー) ※経歴別紙		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者： 9名 スタッフ： 7名 合計： 16名	機材等 運搬方法	積載量 4 t 車長 8.4 m 台数 1台

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																										
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	<p>*基本パターン(【午後公演】)</p> <p>8:00 12:00 13:00 13:15 15:00 16:30</p> <table border="1" data-bbox="416 1059 1430 1176"> <tr> <td>到着</td> <td>搬入</td> <td>設営</td> <td>稽古</td> <td>昼食</td> <td>開場</td> <td>公演</td> <td>終演 撤去 搬出</td> <td>退出</td> </tr> </table> <p>*【午前公演】の場合</p> <p>7:00 10:15 10:30 12:15 13:15 15:00</p> <table border="1" data-bbox="416 1292 1430 1400"> <tr> <td>到着</td> <td>搬入</td> <td>開場</td> <td>公演</td> <td>昼食</td> <td>撤去</td> <td>搬出</td> <td>退出</td> </tr> <tr> <td>設営</td> <td>稽古</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>*午前公演の場合は、前日に仕込(搬入・設営3時間程度)をさせていただく場合があります。 *参加人数が多く、2ステージ等の対応が必要な場合は、上記タイムスケジュールの午前公演→午後公演の流れで進みます。 *開場・開演時刻は目安です。各校の授業時間に合わせ調整します。</p>		到着	搬入	設営	稽古	昼食	開場	公演	終演 撤去 搬出	退出	到着	搬入	開場	公演	昼食	撤去	搬出	退出	設営	稽古						
到着	搬入	設営	稽古	昼食	開場	公演	終演 撤去 搬出	退出																			
到着	搬入	開場	公演	昼食	撤去	搬出	退出																				
設営	稽古																										
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	450名 *人数が上回る場合は応相談可。																									
	本公演	450名 *人数が上回る場合は応相談可。																									
ワークショップ実施形態及び内容	<p>「テトのパンはあ」の楽譜と音源を事前に渡し、音楽の授業やホームルームなどの時間に練習、また校内放送などをしていただき、曲に親しんでいただきます。</p> <p>当日は、本公演で共演する場面の指導を中心に行ないます。</p> <p>1/劇団紹介をしつつ、劇団名の由来となっている「こんにゃく体操」を行ないます。</p> <p>2/「オペラ」とはどのようなものか、“演劇”と“オペラやミュージカル”の違いは何か、実演をまじえて説明します。</p> <p>3/本公演で児童生徒に参加してもらおう場面が、物語の中でどのような場面なのか、またどのように出演するかなどの説明と、実際に体を動かしながら練習を行ないます。</p> <p>4/事前学習で深めていただいたロボットや人工知能に対する子どもたちのイメージを発表する時間を設けます。</p>																										

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>1／動きが独特で、すぐに真似をしてみたいくなる「こんにやく体操」を導入に行なうことで、初対面の講師と子どもたちとの距離を一気に縮めるねらいを持ちます。かつ、無駄な力を抜きながらまっすぐ立つことを意識した体操から、こんにやく座が培ってきた日本語を歌う方法を子どもたちに分かりやすく伝え、各自が本来持っている声を引き出す準備運動を行ないます。</p> <p>2／短いひとつのシーンを、演劇で台詞だけで演じる場合と、オペラやミュージカルで台詞に歌がある場合の両パターン実演し、その違いを解説します。初めて目の当たりにする子どもも多いであろう“オペラ”への理解を促し、またこの後の時間で実践する、「歌いながら演じる」ことのイメージを膨らませてもらいます。</p> <p>3／本公演で共演してもらおう場면을創作し練習していきます。児童生徒が本公演に参加する意識をしっかりと持ち期待を高めてもらえるように、言葉を添えながら実践していきます。</p> <p>劇中歌「テトのパンはあ」が歌われるのは、主人公テトが、ココとその父であるパン屋のエドのピンチを救うために得意なパン作りを披露する場面です。ロボットと人間たちのあいだに信頼が生まれ、明日へと向かう「希望」を歌で表現しています。歌っていてうきうきしてくる気持ちにうまく振りをつけられるよう指導していきます。</p> <p>4／例えば、どのようなロボットがいたら楽しいか、そのようなロボットと共存する社会とはどのようなものなのかなどを子どもたちの視点で語ってもらい、将来への希望や夢を育むことを目的とします。各自が思い描いたイメージと友人のイメージとを比較したり、本公演で舞台に登場するロボットや人間に思いを寄せることで、未来への可能性をより広げてもらえることでしょう。</p> <p>5／最後に児童生徒(また教師)から、この時間で体験したことに対する質問や意見を受ける時間を作ります。疑問を抱いたことをそのままにせず、また繰り返しの確認を言葉で行なうことで、理解の定着を計ります。</p>
<p>特別支援学校での 実施における工夫 点</p>	<p>上記と変更なく実施することが可能ですが、事前打ち合わせで学校との相談の上、子どもたちの習熟レベルに合わせて対処し、やりかたを決めていきたいと思えます。</p> <p>基本的な考え方として、特別支援学校(学級)に在籍する子どもたちにも普通学級の子どものように舞台芸術に触れる機会を提供できるように工夫していきます。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

オペラシアターこんにゃく座

オペラ『ロはロボットのロ』 出演予定メンバー表

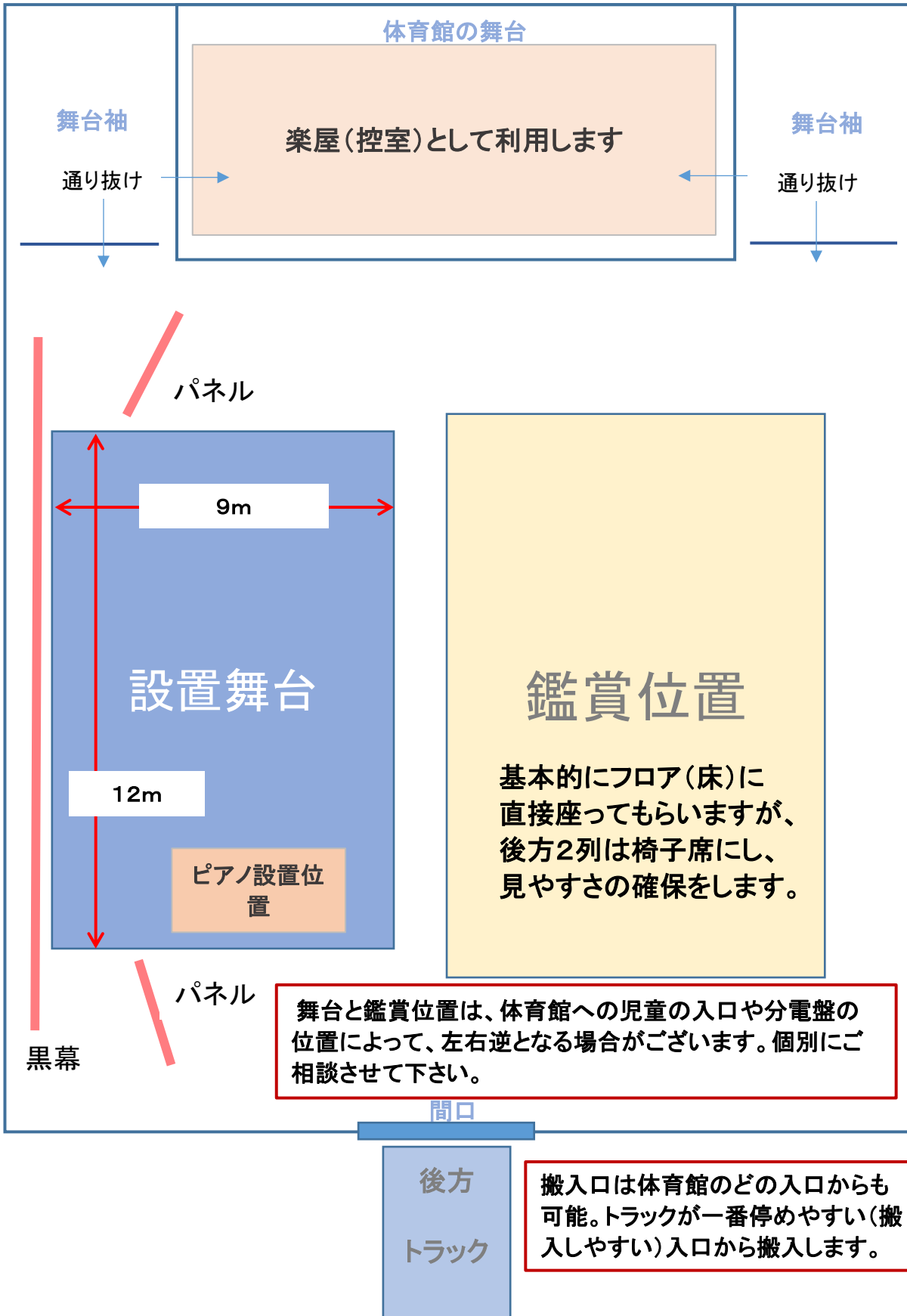
- ①相原友代・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京芸術大学別科声楽専攻中退後、1988年入座。『ロはロボットのロ』魔女ノーマ役ほか多数のオペラに出演。
- ②佐藤敏之・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。新潟県立巻高校卒業後、1995年入座。『ロはロボットのロ』エド役ほか多数のオペラに出演。
- ③泉まどか・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。武庫川女子大学声楽学科卒業後、2009年入座。『ロはロボットのロ』ジーン役ほか多数のオペラに出演。
- ④金村慎太郎・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。埼玉県立芸術総合高校卒業後、2010年入座。『ロはロボットのロ』テト役ほか多数のオペラに出演。
- ⑤武田 茂・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。明治大学中退後、1980年～1985年こんにゃく座に在籍、2010年に再入座。『ロはロボットのロ』マニー役ほか多数のオペラに出演。
- ⑥飯野 薫・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。桐朋学園芸術短期大学専攻科演劇専攻修了後、2012年入座。『ロはロボットのロ』ココ役ほか多数のオペラに出演。
- ⑦小田藍乃・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業後、2012年入座。『ロはロボットのロ』ハロー役ほか多数のオペラに出演。
- ⑧泉 篤史・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。新潟大学卒業後、2015年入座。『ロはロボットのロ』シオン役ほか多数のオペラに出演。
- ⑨服部真理子・・・フリーのピアニスト。ピアノを吉田よし、辛島輝治両氏に師事し、東京芸術大学附属音楽高校を経て同大学を卒業する。同年渡仏。G. ムニエ女史に師事。1981年エピナル国際コンクールに入賞。ソロ、室内楽の分野で数々のコンサートを各地で行う。1999年、パリにおけるコンサートでは作曲家をはじめ様々な分野から絶賛される。1987年よりオペラシアターこんにゃく座との共同作業を開始し、数々の初演に参加する。2000年秋にはラヴェルのコンチェルトを名古屋フィルハーモニーと共演、好評を得る。サクソフォンニストとの共演も多く、近年はファブリス・モレティとフランス、日本で定期的にコンサートを開催している。

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E55	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	オペラシアターこんにやく座			制作団体名	有限会社 オペラシアターこんにやく座				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件		体育館緞帳を閉めステージ上を控室(楽屋)とします。他に昼食時の控室をご用意下さい。			
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	1台	バン	2台	
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(車幅2.3m×車長8.4m×車高3.3m)				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			20m以内				
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・できる限り屋根のある経路が望ましい。 				
		理由			舞台大道具の搬入をするため				
	—	設置階の制限 *			問わない				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m		高さ	2.0m	
WSについて	可	参加可能人数			450名程度まで				
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			450名程度まで				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12m	奥行	9m	高さ	5.4m
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が無い状態		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			緞帳 *	要		バトン *	要
	可				要		理由		照明効果を出すため
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要		※指定位置は会場図参照。上げ下ろしが必要な場合、当日一緒に行います。		
	可			ピアノの事前調律 *		要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			100A (最低65A)		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								
不可	ピアノの状態(調律)が悪い場合は、必ず本公演までに調律をお願いします。								



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
	搬入車両の横づけの要否		要	
	横づけができない場合の搬入可能距離	20m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

とってもこころがあったかくなりました。

とてもエネルギーで笑いも悲しみも希望も有りて
最初から最後まで一気にあっという間でした。

～アンケートより～

オペラシアターこんにゃく座



脚本・演出 鄭義信
作曲 萩京子

初めまして、ぼく、テト。
パン製造ロボットRKJ502A001です。
空は飛べません。

こんにゃく座が、
こどもたちと、
こどもだったすべての
おとなたちに贈る
SF ファンタジーオペラ。



あらすじのあ

ぼく、パン製造ロボットRKJ502A001、名前はテト。ぼくのたった一つだけ得意なこと、それはパンをつくることです。

パン工場では親方のママ・モンローのもとパンロボたちが毎日楽しくパンを作っています。ところがある日から毎日千個つくれたはずのパンが1個づつ減ってきました。

テトはドリトル博士に直してもらうために、たったひとり東のはずれにあるイーストランドへ旅に出ます。しかしここでは魔女たちが町を支配していました…。

人間の女の子ココに出会い、町中の人々が魔女のせいだで困っていることを聞きます。

テトは町の人を助けるために、パンを作り続けロボロボになってしまいます。

魔女の一味がココの家に火をつけたことを知ったテトは自分の体を顧みず助けに行きます。

エネルギーを使い果たしたテトは、もう2度と動くことができなくなってしまいました。ココと父のエドはテトがいつか帰ってくることを信じて「テトのパン屋」で今日も元気にパンを作ります。

テトは果たして戻ってくるのでしょうか!?



写真：青木司・姫田蘭

ロボットだって

人間だって



こどもだって

たいせつで守りたいものがある。

おとなだって



みどころのみ 作曲 萩京子

自分にとっていちばんたいせつなことはなんなのか、テトといっしょに考えてみませんか。オペラ『口はロボットの口』は、音楽でお話が進んでいきます。楽しい歌がたくさんあります。思わず口ずさみたくなる歌も。それから、歌が会話になっているところもあれば、合唱もあります。ロボットたちの不思議なダンスもあります。8人の出演者が30人以上の役を演じます。1台のピアノがオーケストラに負けにくいくらい、いろいろな音を出して、登場人物の嬉しさや悲しさや悔しさ、そして喜びを表現します。

スピーディーな場面展開、とてもコンパクトにしてダイナミック。オペラのさまざまな要素がみんな入っています。そして、とても懐かしい気持ちにさせてくれるオペラです。

「テトのパンはあ。あいうえおのあ。忘れていた青空のあ。」

オペラを見た帰り道、歌ってください。

台本・演出 鄭義信

人はだれでもいつでも、自分にとって大切に、絶対守りたいものがひとつはあるはずだと思う。どんなにちっぽけな夢、希望、愛であっても。それを守るためなら、子どもだって大人だって、どんなに弱い人間だって一生懸命立ち上がっていけるんだって思う。自分にとって大切なものは何だろうって思っほしい。

そしてこの作品を、生きることへのエールみたいに思ってもらえたらいいな。



オペラシアターこんにゃく座

日本語がはっきりわかるオペラを創作上演するオペラ劇団として 1971 年に創立。マイクをとおさない歌声、ピアノ、様々な楽器の生演奏による作品を数多く上演。歌役者の歌い語り演じる力によって、劇場に限らず、体育館その他様々な会場を一日だけのオペラハウスに変えていきます。

オペラ『口はロボットの口』受賞歴

東京都教育委員会優秀賞

(社)日本演劇協会賞

(財)都民演劇賞



台本・演出：鄭義信

作曲：萩京子

美術：乗峯雅寛

衣裳：太田雅公

照明：増田隆芳

振付：伊藤多恵

舞台監督：久寿田義晴

特殊小道具：渡辺数恵

音楽監督：萩京子

宣伝美術：長谷川義史（絵）



ちがひいしひ
鄭義信 / 劇作家・脚本家・演出家 / 兵庫県出身
舞台・映画・テレビ等の脚本やシナリオを数多く手掛ける。
『ザ・寺山』（岸田國士戯曲賞）『愛を乞うひと』（日本アカデミー賞最優秀脚本賞）『焼肉ドラゴン』（読売演劇大賞）他受賞多数。



はぎきょうこ
萩京子 / 作曲家 / 東京都出身
オペラシアターこんにゃく座、座付き作曲家兼ピアニスト。
1997年より音楽監督、2004年6月より代表に就任。
代表作『おぐりどてるて』『アルレッキーノ』他多数。

オペラシアターこんにゃく座

〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1

TEL 044-930-1720 FAX 044-930-1721 MAIL info@konnyakuza.com URL http://www.konnyakuza.com

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	<u>バレエ</u> , 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじんとうきょうしていばれえだん		
制作団体名	公益財団法人東京シティ・バレエ団		
代表者職・氏名	代表理事 依知川悦子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒135-0004 東京都江東区森下1-6-14 レックス森下303号室 (都営新宿線・大江戸線「森下」駅)		
電話番号	03-5638-2720	FAX番号	03-3634-8845
ふりがな	とうきょうしていばれえだん		
公演団体名	東京シティ・バレエ団		
代表者職・氏名	理事長 安達悦子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒135-0004 東京都江東区森下1-6-14 レックス森下303号室 (都営新宿線・大江戸線「森下」駅)		
制作団体 設立年月	1968年	6月	
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事: 依知川悦子 理事: 金井利久 中島伸欣 小林洋 壺 石井伸夫 森隆一郎 山本千絵 評議員: 石井清子 渡邊洋子 鳥海 壮宜 長谷川孝男 監事: 石井紀男	団体構成員: 140名 加入条件: バレエ団員としての実力を認められた者	
事務体制の担当	<u>専任</u> ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	山本千絵
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	山本千絵

制作団体沿革	<p>1968年、合議制によるという理念の下、創立。以降、この精神を大切に、古典バレエと創作バレエ(オリジナルバレエ)を両輪のごとく上演し続けている。1994年より日本バレエ界において初めて東京都江東区と芸術提携を結ぶ。これにより、ティアラこうとう(江東公会堂)において、毎年4演目(古典バレエ、創作バレエ、ティアラこうとうオリジナル企画「オーケストラ with バレエ」、オーディションで選ばれた子どもたちのとの共演が話題の「くるみ割り人形」)を提携公演として、低廉な料金で質の高いバレエ公演を企画・実施している。その他、江東区主催事業として、小学校を訪問しての「アウトリーチ事業」、同じく芸術提携団体である東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団との「オーケストラ&バレエ体験」などのエデュケーションプログラムも意欲的に実施し、地域への貢献にも力を入れている。その他、全国子ども劇場や海外公演、学校主催芸術鑑賞教室等も実施している。</p> <p>2009年一般財団法人設立。2016年7月1日より公益財団法人に移行する。</p>		
学校等における公演実績	<p>1984年 都立深川高校記念行事にて「レ・シルフィード」、八王子市・純心女子高校にて「パキータ」「白鳥の湖」第2幕(1987年)、「 Coppélia」(1991年)、東京都(主催)中高校生のためのバレエ鑑賞教室「Coppélia」(2003年)、「真夏の夜の夢」(2004年)、私立三輪田学園中学校・高等学校 芸術鑑賞教室「真夏の夜の夢」(2005年)「ジゼル」(2011年)「Coppélia」(2017年)。平成14年度、15年度、17年度、20年度、21年度、文化庁本物の舞台芸術体験事業(巡回公演事業)。平成22年度子どものための優れた舞台芸術体験事業(巡回公演事業)。平成23年度～25年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業)。平成26年度～30年度文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)。令和1年度文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)。日生劇場国際ファミリーフェスティバル2005年「真夏の夜の夢」、2011年「Coppélia」、2017年「Coppélia」</p> <p>2006年より「ティアラこうとうアウトリーチ事業」にて、毎年江東区内小学校3～6校で実施。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>平成14年度文化庁本物の舞台芸術体験事業(巡回公演事業)「Coppélia」佐賀県立ろう学校。平成20年度文化庁本物の舞台芸術体験事業(巡回公演事業)「Coppélia」埼玉県立坂戸ろう学校、埼玉県立東松山養護学校。平成25年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業)「Coppélia」長崎県立佐世保特別支援学校</p> <p>平成26年度文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)「Coppélia」岩手県立一関清明支援学校、札幌市立豊成養護学校、北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校</p> <p>平成29年度文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)「Coppélia」香川県立善通寺養護学校。2017年Tiara Ballet Daysサテライト企画 東京都立城東特別支援学校ワークショップ。</p> <p>2019年ティアラこうとう社会包摂事業アウトリーチとして都立墨東特別支援学校(2019年11月実施予定)</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>https://youtu.be/ygih4kdA2B0</p> <p>ID: PW:</p>
	Aの提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

東京シティ・バレエ団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	ようこそ、バレエ「 Coppélia 」の世界へ		
本公演演目	第1部「バレエってなあに?～バレエを楽しもう!～」 第2部「Coppélia」より〈Coppéliaの仕事部屋〉 第3部「Coppélia」より〈鐘の祭り〉 ■作曲:レオ・ドリーブ ■原作:ホフマン ■原台本:ニュイッテル サン・レオン ■原振付:サン・レオン ■演出・振付:石井清子 ■演出助手:長谷川祐子、加藤浩子 ■衣裳:八重田喜美子、石井清子 ■照明:有限会社ハロ ■音響:株式会社シグマコミュニケーションズ ■大道具:ユニ・ワークショップ ■舞台監督:浅田光久 公演時間(休憩2回含め100分)		
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演目概要	第1部「バレエってなあに?～バレエを楽しもう!～」では、バレエの歴史や、バレエ用語、マイムをどの学年の方にも解りやすく解説し、クラシックバレエのレッスン風景を見学します。第2部は「Coppélia」から《Coppéliusの仕事部屋》のシーンを、第3部では、同演目の《鐘の祭り》を上演します。「Coppélia」は、青年フランツが窓辺で見かけた美しい少女に心を奪われた事を知った恋人のスワニルダが、やきもちを焼いて、少女の家に忍び込みます。すると、その美しい少女は、Coppéliusという人形作りの老人が作った人形Coppéliaでした。てんやわんやの騒ぎの末に、フランツとスワニルダは仲直りをして、めでたく結婚する、という物語です。《Coppéliusの仕事部屋》ではCoppéliusとスワニルダが繰り広げる楽しい物語を、《鐘の祭り》では、バレエの美しさをたっぷりとご覧頂きます。		
演目選択理由	この作品は、世界中のバレエファンに愛される古典作品の一つです。明るく楽しい内容と、CM等で聴きなじみのある音楽により、バレエ鑑賞が初めての子どもでも物語に入っていくやすい演目のため、本演目を選択しました。実際の作品を鑑賞しながら、第1部で体験したバレエの要素が第2部の作品の中でどのように活かされ、踊りやマイムにより、ダンサーたちが何を表現しているかを感じることを目的とします。この「Coppélia」体験をとおして、バレエに身近に触れる事により、バレエの魅力的な世界への扉に導く事を目指します。		
児童・生徒の共演,参加又は体験の形態	「バレエ」という様式は、世界共通のものであり、ヨーロッパ、アメリカ、南米、アフリカ、アジア各国において広く文化として根付いているものです。言葉を使わずに踊りで感情を表現しますが、「バレエパントマイム」という動きを用いて、感情を表現する事があります。第1部では、ワークショップでマイムを学んだ皆さんに舞台上でダンサーたちと実演してもらい、身体表現を体験して頂きます。そして、《鐘の祭り》の幕開き部分では、市長・市長夫人・花をまく子ども役として、先生、児童生徒の皆さん数名に出演してもらい、ダンサーと一緒にこの場面を盛り上げて頂きます。また、バレエは、音楽・衣裳・照明・大道具(美術)が揃う「総合芸術」です。一つの作品を創り上げるためには、多くの力と技術が必要となりますが、児童・生徒の皆さんには、舞台スタッフや出演者と一緒に機材や大道具の搬入や作品で使用する簡単な道具の組み立て、衣裳のアイロンがけ等を体験して頂きます。この体験を通して、体育館をステージへと変化させていく過程など、普段知る事の出来ない「総合芸術」の構造を知る事が出来ます。また、当団では、後方で鑑賞する子供たちも舞台が良く見えるように、客席の設営も行っております。緩やかな傾斜のある客席で鑑賞する事で、舞台に集中できる環境になっています。		

【公演団体名

東京シティ・バレエ団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(2時間30分程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時 30分	8時30分～11時	13時30分～ 15時10分	10分 ×2回	15時30分～ 17時	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	1学年程度(120名)が望ましい				
	本公演	実施会場の広さにより変動				
ワークショップ 実施形態 及び内容	前半は、ダンサーと一緒にストレッチをしたり、バレエダンサーの基本訓練の様子を、解説を交えながらご覧頂きます。また、実際にバレエの基本動作や、マイム(=身振り手振り)を指導し、体験してもらいます。マイムは本公演にて数名の生徒さんに実演していただきます。後半は、バレエ「 Coppélia 」より、解説を交えながら4曲の踊りをご覧頂きます。最後は、Coppéliaのコーダ(終曲)に合わせて簡単なステップを指導し、全員で踊ります。 (体を動かしますので、ワークショップには体操着での参加をお願い致します)					
ワークショップ 実施形態の意図	バレエは、言葉のない「芝居」です。言葉でなく身体で自分の気持ちを表現する方法の一つにバレエ特有のマイムがありますが、この動きに感情をのせ、相手に自分の思いを伝える事を体験してもらいます。また、音楽に合わせて身体を動かす事の心地よさや、バレエのはじまり、衣裳の歴史、バレエの基本動作を体験することで、様々な角度からバレエ芸術および本公演への期待を膨らませることがねらいです。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	過去には、解説部分を先生の手話通訳と共に進めたり、上演時間を調整する事で子供たちの身体への負担を出来る限り少なくする、観賞場所(客席)の設置方法を変更するなど、行って参りました。各校で状況が違うため、どんな事にも可能な限り対応できるよう、都度打合せをしながら進めて参ります。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

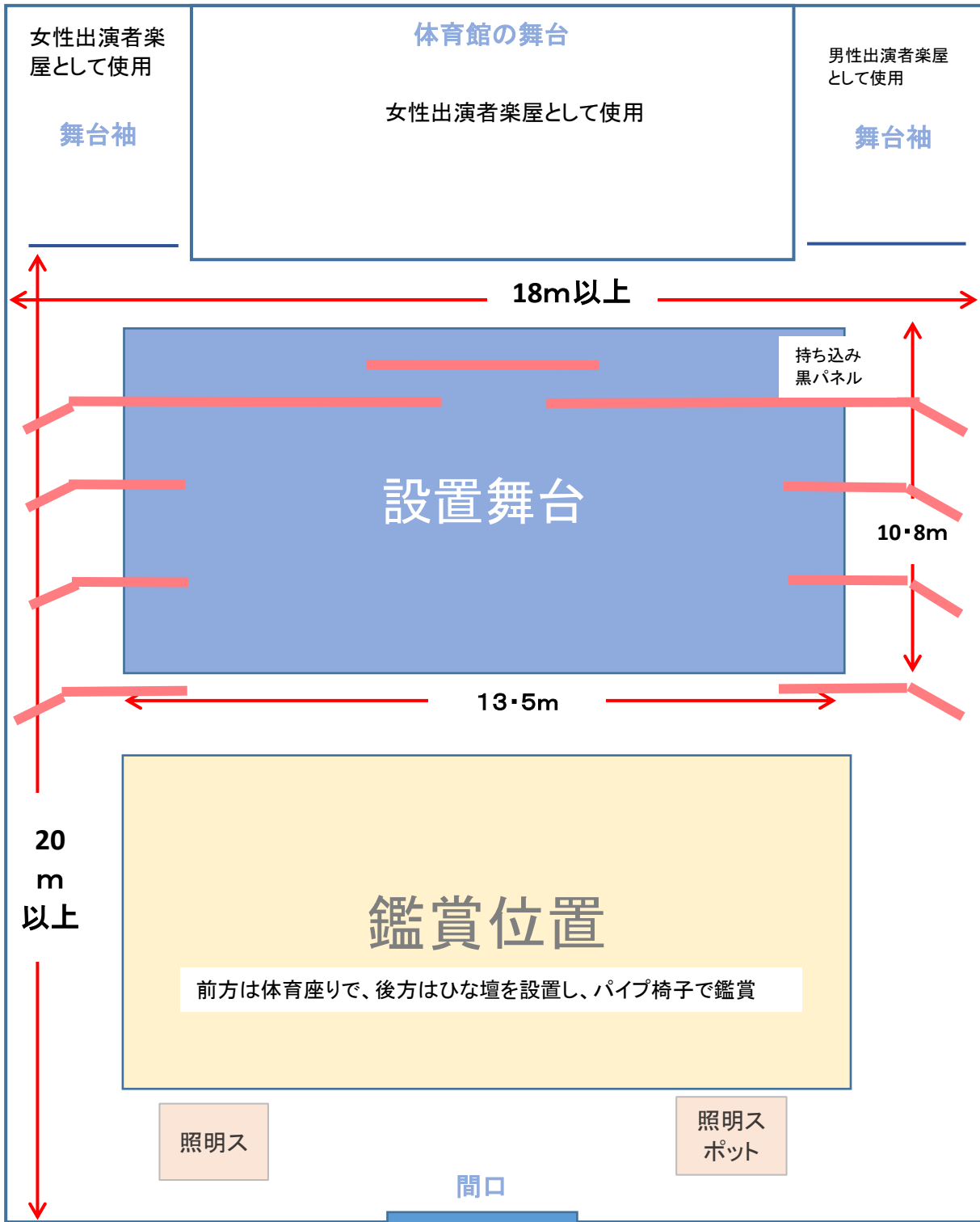
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E56	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック	E	区分	B区分
公演団体名	東京シティ・バレエ団				制作団体名	公益財団法人 東京シティ・バレエ団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	—	必要数 *	不要	条件						
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック 2台		電源車 1台			
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(幅3m・高さ3.6m・全長9m)2台、 電源車(幅1.8m全長5m)1台					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内					
	可	搬入経路の最低条件			・出来る限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。					
	/	理由			重量のある機材を多く搬入するため、					
	—	設置階の制限 *			問わない					
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m				
WSについて	可	参加可能人数			120名程度が望ましい					
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分(休憩含まず)					
本公演について	/	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			実施会場の広さにもよるが500名程度が望ましい					
	不可	舞台設置場所 *			フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	18m	奥行	10.8m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	可				舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態		
	可				緞帳 *	要		バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明効果を上げるため			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									
—	舞台スタッフ・出演者の控室は全て体育館内に設置しますので、別途ご用意は必要ありません。									

会場図面(表記単位:メートル)



トラック 後方

トラック 後方

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

文化庁 文化芸術による子供育成総合事業

ようこそ、バレエ「コッペリア」の世界へ 東京シティ・バレエ団



<バレエ コッペリア>

ある町に住む娘スワニルダと青年フランツの恋模様、
奇怪な老錬金術師コッペリウスと人形コッペリアを巧みに絡ませた魅力に満ちた作品。
踊りで物語が進んでいく面白さと、美しい踊りを楽しんで頂ける内容は、現在までに多くの
お客様にご好評頂き、初演以来 200 回以上上演している人気作品です。

バレエの舞台準備から自分たち
で協力してやっていて、バレエの
公演を見てみると、とても身近に
感じられました。(6年)

搬入・リハーサル

お手伝いの児童・生徒さんと共に、舞台設営に取り掛かります。
公演で使用する道具の飾り付けやセッティング、華やかな舞台衣装のアイロンがけ
なども体験してもらいます。
後ろの方までバレエを楽しんでいただけるよう、舞台スタッフが客席の設営を致します。



*第1部*バレエってなあに? ~バレエを楽しもう!~

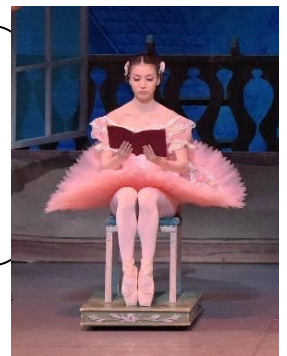
解説があったのでとても
わかりやすく、バレエにつ
いていろいろ知ることが
できました。(6年)

バレエの歴史や用語、練習風景を解説付きで鑑賞します。
マイムのコーナーでは、児童・生徒数名の方に出演者と一緒に
披露してもらいます。

*第2部*バレエ「コッペリア」より<コッペリウスの仕事部屋>

さいしょはぜんぶほんもの
のにぎょうみたいで、
すごかった。(1年)

スワニルダがコッペリウスの仕事部屋に忍び込む場面から
ご覧頂きます。
様々な道具や人形がライトに照らし出されると、
体育館に子ども達の歓声が響きます。



わたしはさいごにかんどうして
目がうるうるしました。(1年)

*第3部*バレエ「コッペリア」より第3幕<鐘の祭り>

優雅な「時のワルツ」や、力強い「戦いの踊り」など、
華やかな踊りの数々をご覧頂き、バレエの美しさをたっぷりと
ご覧いただけます。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうふうかい		
制作団体名	皐風会		
代表者職・氏名	代表・小島英明		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野4-30-18 リビオ東中野地下1階 小島能舞台内 《最寄り駅》JR「東中野駅」、都営地下鉄大江戸線「東中野駅」もしくは東京メトロ東西線「落合駅」		
電話番号	03-6383-2262	FAX番号	03-6383-2262
ふりがな	こうふうかい		
公演団体名	皐風会		
代表者職・氏名	代表・小島英明		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野4-30-18 リビオ東中野地下1階 小島能舞台内 《最寄り駅》JR「東中野駅」、都営地下鉄大江戸線「東中野駅」もしくは東京メトロ東西線「落合駅」		
制作団体 設立年月	1919年9月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表 小島英明 (観世流能楽師シテ方・重要無形文化財指定保持者) 副代表 斎藤 強 (観世流門下・白石皐風会会長) 幹事 栗原幸江 (観世流門下・白石皐風会幹事) 会計監査 小倉親子 (公認会計士) 事務局長 小島 清 (観世流門下) 会計責任者 尾藤文隆 (税理士) 事務職員《経理担当》小島美樹 (観世流門下・伝統文化コーディネーター) 小島幸子 (観世流門下) 企画制作 吉藤美紀 (伝統文化コーディネーター)	(1) 団体構成員 役員8名の他、企画制作1名、会員78名、計87名 芸術団体数4 (東京皐風会・白石皐風会・八王子皐風会・深谷皐風会) ※能楽師、伝統文化コーディネーター (資格有) 他 (2) 加入の条件 ・観世流 (能楽) 宗家より免状を許され、取得した者。 ・能楽に深い興味と理解があり自身の研鑽を怠らず、広く能を普及する意志を持つ者	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	小島美樹(経理担当)
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	尾藤文隆(税理士) 小島美樹(経理担当)

制作団体沿革	<p>1919(大正 9)年、能楽師観世流シテ方の小島曙光が設立(現代表・能楽師観世流シテ方・小島英明の祖父)。その後能楽師観世流シテ方の小島芳雄(現代表の伯父)に引き継がれ、2000年、小島英明が受け継ぎ、代表となる。小島を中心として、優れた能楽公演とワークショップ等の初心者向けの講座も積極的に実施。日本各地で能楽愛好者の指導にも力を尽くし、能楽の鑑賞者の育成を含めその普及、発展を志してきた。事業としては、東京を中心に全国各地で本格的な演能、蠟燭能、薪能、解説付能公演やワークショップを企画し実施。合せて学校での能公演、ワークショップ開催を働きかけ、力を入れている。特には宮城県白石市で2001年より「観世流能狂言鑑賞会」、地元東京都中野区では2004年よりホール能「なかのZERO能」を毎年開催。2005年、自身研鑽の会と位置付けた本格的能狂言鑑賞会「小島英明能の会・碧風会」を始動。本年、第14回目を開催予定。中野区と白石市(宮城県)で「伝統文化こども教室・能楽」を実施。継続して能楽の振興に努め、本年度で18年目となる。2006年九州国立博物館(大宰府市)にて、能楽ワークショップを無料で開催。2007年には、能楽普及のための、解説付・装束着実演付・テキスト付の能公演「能楽のススメ」を始動し各地で毎年開催。2009年、文化庁地域文化振興プラン推進事業・みやぎ文化芸術振興プラン推進事業「親と子のための能楽ワークショップ」を実施。2011年、国立女性教育会館より委託を受け、文化プログラム「能楽講座・能の世界の女性達」を実施。東日本大震災以降、被災地で無料の能楽公演を企画開催する「息吹の会」の中心メンバーとなり、継続的に活動、本年度も公演実施予定。2012年、「平成23年度文化遺産を生かした観光振興・地域活性化事業」として、埼玉県立嵐山史跡の博物館より委託を受け「能楽ワークショップ・羽衣」を開催。2014年埼玉県芸術文化祭・さいたま文学館講演会「初めての能と狂言」を実施。好評につき2015年も開催。文化庁「伝統音楽普及促進支援事業・先生方のための能楽講座」(7ヶ年継続)を東京と宮城の2か所で実施。この活動により、平成29年度・全国音楽教員研修会の講師を務めることとなる。平成24年、25年度「次代を担う子供の文化芸術体験事業・巡回公演事業」実施。平成27年、28年、29年、30年度「文化芸術による子供の育成事業」、令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」実施。2010年に自宅舞台の改築を終え、「小島能舞台」が完成。皐風会の活動の本拠地として「能楽」の講座はもちろんの事、伝統文化の発信地とするため、新たな活動を企画運営している。2014年には当会代表小島英明が重要無形文化財総合指定保持者の認定を受ける。本年・2019年で設立100周年を迎える。</p>
学校等における公演実績	<p>本会の代表である小島は、芸団協主催「伝統芸能に触れる授業プログラム」や日本財団助成事業「中・高校生のための能・狂言鑑賞教室」、東京未来塾(東京都教育委員会主催)、「文化庁伝統音楽普及促進支援事業」の各講師を勤める経験を通じ、学校において児童・学生を対象とした伝統芸能や音楽を鑑賞し実際に触れる機会をつくる事、能の鑑賞者育成の重要性を実感。当会の活動課題の一つと位置付け活動してきた。「能」を解りやすく、興味を持ってもらうように、且つ「本物の伝統が持つ力」をきちんと伝える事を大切にしてきた。公演やワークショップで使用するテキストも「理解を深める」重要なツールとしてオリジナルのものを作成。公演としての内容に細部にわたる工夫を重ね内容の充実に努めてきた。一方で教員研修などの講師も勤め、多角度から真摯にアプローチしている。</p> <p>■児童・学生に対する普及を目的とした能公演を開催。《開催した主なもの》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2011年3月 私立武蔵中学校にて「能楽体験・ワークショップ」 ・2012年2月 震災復興支援として、宮城県白石市立第二小学校にて能についてワークショップを無料にて実施 ・2012年11月 宮城県白石市白石中学校にてワークショップを無料にて実施。 ※以後、毎年実施している。 ・2013年5月 私立 横浜女学院高等学校にて解説及び公演「羽衣」を実施 ・2014年6月 私立 聖学院中学高等学校にて解説及び公演「羽衣」を実施 ・2016年3月 神奈川県立湘南高校にて能楽公演を実施。 ・2017年10月 都立科学技術高校にて解説及び公演「羽衣」を実施。 ・2019年4月 私立 横浜女学院高等学校にて解説及び公演「羽衣」を実施。 ・2019年11月 横浜市立緑が丘高校にて解説及び公演「羽衣」を実施予定。

特別支援学校における公演実績	・2007年8月 佐賀県立金立特別支援学校にてワークショップを無料にて実施。 ・2019年10月東京都立町田の丘学園(特別支援学校)にてワークショップを実施予定。		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	○有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	○有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVD を提出致します
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 阜風会(こうふうかい)】

対象	小学生(<u>低学年</u> ・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u>) ・ <u>中学生</u>		
企画名	能楽体験してみよう！ 能「羽衣」と狂言「柿山伏」		
本公演演目	<p>【第1部】本日のみどころ解説(当日プログラムに沿って解りやすく)</p> <p>①ご挨拶 ②能楽鑑賞のマナーについてのお話 ③本日の演目についてのお話 ※本日の演目、狂言「柿山伏」と能「羽衣」のあらすじとみどころ ④ご挨拶 ※質疑応答は「第4部」で行うものとする。</p> <p>【第2部】狂言・能の上演</p> <p>①狂言「柿山伏(かきやまぶし)」 ②能「羽衣(はごろも)」</p> <p>【第3部】狂言を体験しよう！</p> <p>①ご挨拶 ②「狂言」とは？《狂言の基礎的なお話》 ③狂言独自の発声を体験。狂言独自の発声を体験。「動物の鳴真似」(演目「柿山伏」より)や「泣き」「笑い」「擬音」など(全員)。 ④狂言の構え(姿勢)と運び(摺り足)としぐさを体験(代表生徒)。 ⑤ご挨拶</p> <p>【第4部】アフタートーク及び質問コーナー</p>		
原作／作曲 脚本 演出／振付	公演時間(100分)※休み時間を含む		
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>■狂言「柿山伏(かきやまぶし)」</p> <p>《あらすじ》 山伏が謡いながら登場。旅の途中、あまりに喉が渴いたので、畑主(百姓)がいないのいいことに柿の木に登って、実を食べ始めてしまう。そこへ百姓が見回りに現れる。大事な柿を食べ散らかしている木の上の山伏を見つけ、腹を立て、からかってやろうと考える。「そこにいるのは犬だ」と百姓がいうと山伏はあわてて犬の鳴き真似をする。続いて「猿だ」と言われると山伏は「キヤーキヤー」と鳴く。ついには「鳶(とび)かもしれないから空を飛ぶだろう」と言って山伏を困らせる。山伏は飛ぼうとするが、飛べずに木から落ちてしまう。怪我をした山伏は百姓に「家に連れてかえって看病(かんばんじょう)しろ」と怒るが、百姓は知らぬふりをして帰ろうとすると、山伏は祈り、法力(ほうりき)で百姓を呼び寄せ、自分を背負ってもらうことに成功するものの、百姓は「やられると思ったか」と山伏を投げ飛ばし帰ってしまう。</p> <p>《みどころ》 見つかりたくないところを見つけてしまうと咄嗟に出してしまう行動のおかしさ。神仏に通じ、修行を重ねている山伏と言えども「あまりに喉が渴いて」「つい」という事はある。また「悪い事は悪い」と結論付ける終曲場面。「滑稽性」と「風刺性」など狂言の特徴的な要素を解りやすく表現した人気曲。小学校の教科書にも採用されており、公演後も教材として有用。犬は「ビョウビョウ」、猿「キヤーキヤー」、鳶「ひーよろよろよろよろ」などという鳴き真似と所作、ラストの話のどんでん返しなど聞きどころや見どころが明瞭である。見た目の面白さと筋の可笑しさの二つのバランスが取れた狂言を代表する芸術的秀作である。子どもの耳にも心地よい擬音と真似のしやすい狂言の発声は、子供の記憶に残り、「能楽」の一翼を成す「狂言」に対する更なる興味が広がる事を確信している。</p> <p>■能「羽衣(はごろも)」</p> <p>《あらすじ》 駿河国・三保の松原の漁師・白龍(はくりょう)が漁に出ようと浜辺にやってくる。するといい</p>		

<p>演目概要</p>	<p>香りが立ちこめてくるので、白龍があたりを見回すと、浜の松に美しい衣がかっている。白龍は家の宝にと持ち帰ろうとするが、そこへ一人の女性が現れて、「それは天人である私の羽衣なので返して欲しい」と頼む。一度はことわる白龍だったが、天人が「羽衣がなくては天に帰れない」とあまりに悲しむので、羽衣を返すかわりに世に名高い天人の舞楽を見せて欲しいと頼むと天人はよるこんで承知し、羽衣を身にまとして舞楽をかなで舞いはじめる。天人は海辺の風にたなびきながら、宝物を降らせつつ、だんだんと富士の高嶺へ舞い上がり、霞の中にまぎれはるか天空へと帰っていくのだった。</p> <p>《みどころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の教科書にも掲載されている「天女の羽衣」の有名な物語をモチーフにしており、解りやすい筋立てと清らかな趣で、芸術性に優れた曲。能が持つ世界観が「直感的」に伝わる演目であり、「初めて観る能」としても相応しい演目である。鑑賞者である子どもたちが興味を持って鑑賞できる曲であると考ええる。 ・中学校の音楽の教科書に「伝統的音楽」として種々取り上げられている演目でもあり、本物の能楽囃子を臨場感をもって触れることができるのは、音楽科としても何より有意義な体験となり、新しい興味と発想をもたらすだろう。能における囃子の持つ役割の大切さと邦楽(日本の音・和楽器等)の魅力を伝えられる演目でもあると考ええる。 ・「月の世界から降りてきた天人」に扮し、煌びやかな能装束を纏ったシテ(主人公)の美しい姿とその舞を非常に近い距離で目の当たりにする事は、舞台をみた子どもたちの想像の世界を広げ、成人になっても、その強い印象は残り、温かな感動が心を満たす喜びを体験してくれるものと確信している。 ・「天人を疑う」漁師・白龍の様は、人間の誰もが持つであろう心の醜い部分を示し、「人を疑う事を知らない」天人の有様は、子供の心に「清くある事」「美しくある事」の大切さを体現する。道徳的、情操的にも高い教育的効果をもたらすと考える。 <div data-bbox="387 1003 1414 1238"> </div> <p>狂言「柿山伏」(左)と能「羽衣」(中・右)</p>
<p>演目選択理由</p>	<p>■狂言「柿山伏」の選択理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年生の国語の教科書に取り上げられており、教育的効果のある演目。 ・上述のような舞台芸術として「見どころ」「聴きどころ」が明瞭。 ・見た目の面白さと筋の可笑しさの二つのバランスが取れた狂言を代表する芸術的秀作である。 ・子どもの耳にも心地よい擬音と真似のしやすい狂言の発声は、子供の記憶に残り、更なる興味が広がる事を確信している。 <p>■能「羽衣」の選択理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「天女の羽衣」の有名な物語は小学校の国語の教科書に掲載されており、また中学校の音楽の教科書にはこの曲が取り上げられている点から教育的観点を重視。授業と共に立体的な指導も可能となる。 ・この曲は日本各地に古くから伝わる「羽衣伝説」をモチーフに描かれた能である。日本各地には様々な伝説が残っており、そうした伝説をもとに作られた「能」も多いということを伝え、日本の歴史や風土に興味に向くよう解説やワークショップで使用するテキストにおいても心がけたい。 ・解りやすい筋立てと清らかな趣で、能が持つ世界観が「直感的」に伝わる演目であり、「初めて観る能」としても相応しい演目。 ・「天人を疑う」漁師・白龍の様は、人間の誰もが持っているであろう心の醜い部分を示し、「人を疑う事を知らない」天人の有様は、子供の心に「清くある事」「美しくある事」の大切さを体現する。道徳的、情操的にも高い教育的効果をもたらすと考える。 ・能「羽衣」の舞台は、世界遺産に認定された「富士山」と「三保の松原」。それがどうして日本を代表とする風景となり、人々の心を惹きつける魅力を持つのか。能を鑑賞

<p>演目選択理由</p>	<p>する事によって、その答えが子供たちそれぞれの心に芽生えるような舞台としたいと考えている。</p> <p>・理解度を高めるため、伝統芸能の魅力を伝えるため、教員用に配布する手引き、ワークショップで使用するテキスト等、様々に工夫を重ねた上で、ワークショップの時間を最大限に生かし、そしてその上で鑑賞してもらうのは、省略もなく変更もしていない「本物の能楽」であること、そして子供の感性を信じる事。それが大会として最も大切に考えている点である。その実現が可能な演目として「羽衣」を提案したい。</p>
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>■事前ワークショップ「能を体験しよう！」において</p> <p>①能の謡(うたい)と構え(姿勢)、運び(摺り足)を体験(全員)。実技指導を行う。</p> <p>②鑑賞演目「羽衣」の一部を能楽師とともに演じてみる。</p> <p>※鑑賞演目「羽衣」より、天人(主役・シテ)の立居・動作から能独特の「美しい」動作をテーマに体験。実技指導を行い、能楽師と共演。</p> <p>a.天人の「羽衣(長絹)」を着て、「美しく」立ち、「美しく」動いてみよう。(代表生徒) →児童や生徒の身体のサイズに合う羽衣(長絹)を制作。動きやすくりアルに体験ができる。</p> <p>b.天人のように「美しく」泣く動作をしてみよう。(生徒全員)</p> <p>c.天人のように「美しく」宝を降らす動作をしてみよう。(代表生徒) →「宝を降らす動作」とは扇をたてにゆっくりと仰ぐ動作のみ。最低限の所作でありながらも「美しく」行うだけで、鑑賞者の想像を促す能の魅力を体験。鑑賞者である生徒にも、想像力を働かせて「見えないものを見て」観ることの、楽しさ、素晴らしさを伝える。</p> <p>③能面を付けてみる。</p> <p>※能の特徴の一つである能面を付けた時の視野の狭さを体験(全員)。 ※実際に本物の能面をかけて摺り足を体験してもらう(代表生徒)。</p> <p>④能の楽器(笛、小鼓、大鼓、太鼓)を体験してもらう(代表生徒)。</p> <p>■公演当日でのワークショップ「狂言を体験しよう！」において</p> <p>・狂言独自の発声を体験。「犬や猿や鳶など動物の鳴真似」(鑑賞演目「柿山伏」より)や「泣き」「笑い」「擬音」など(全員)。</p> <p>・狂言の構え(姿勢)と運び(摺り足)としぐさを体験(代表生徒)。</p>
<p>出演者</p>	<p>《出演者》:(公社)能楽協会会員の能楽師(シテ方・ワキ方・囃子方・狂言方)</p> <p>■事前講座「能」ワークショップ及び公演当日の解説</p> <p>【シテ方】(観世流) 小島英明(重要無形文化財総合指定保持者)《1名》</p> <p>■本公演当日の「狂言」ワークショップ及び狂言「柿山伏」の出演予定者《狂言方3名》</p> <p>【狂言方】(大蔵流) 善竹富太郎、善竹大二郎、大蔵教義、榎本 元、宮本 昇 他。 (和泉流) 深田博治、高野和憲、岡 聡史、内藤 連、中村修一、能村晶人 他。 《出演者の都合により上記より、計3名》</p> <p>■能「羽衣」の出演予定者《シテ方9名・ワキ方2名・囃子方4名 計15名》</p> <p>【シテ方】(観世流) 小島英明、観世喜正、津村禮次郎、中所宜夫、遠藤和久、奥川恒治、遠藤喜久、鈴木啓吾、永島 充、佐久間二郎、長山耕三、坂真太郎、桑田貴志、野村昌司、北浪貴裕、山中迺晶、馬野正基、長山桂三、谷本健吾、他 《出演者の都合により上記より、計9名》</p> <p>【ワキ方】(下掛宝生流) 森 常好、殿田謙吉、宝生欣哉、梅村昌功、大日方寛、則久英志、舘田善博、野口能弘、野口琢弘他 《出演者の都合により上記より、計2名》</p> <p>【囃子方】(笛方) 松田弘之、寺井宏明、一噌隆之、八反田智子、栗林祐輔、小野寺竜一、藤田貴寛 他 (小鼓方) 観世新九郎、飯田清一、幸 正昭、鶴澤洋太郎、田邊恭資、飯富孔明 他 (大鼓方) 安福光雄、柿原弘和、柿原光博、亀井広忠、原岡一之、佃良太郎、大倉慶乃助 他 (太鼓方) 桜井 均、吉谷 潔、梶谷英樹、小寺真佐人、大川典良、林雄一郎他</p>

出 演 者	<p style="text-align: right;">《出演者の都合により上記より、計 4 名》</p> <p>《スタッフ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 舞台設営スタッフ 《2 名》 ■ 出演者補助・調整・連絡: 小島美樹 (※能楽についての専門知識を有する) 《1 名》 ■ 企画・監修: 吉藤美紀 (伝統文化コーディネーター・※資格及び専門的知識を有する) ■ 運搬車ドライバー ※人件費は運搬費に含まれる。 《1 名》 		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p style="text-align: center;">出 演 者: 18名 <u> スタッフ: 4名</u> 合 計: 22名</p>	機 材 等 運搬方法	<p style="text-align: right;">積載量 1.25 t 車 長 4.965m 台 数 1 台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(約40分程度)</p> <table border="1" data-bbox="392 860 1431 976"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11時</td> <td>11時～13時</td> <td>13時～ 14時40分</td> <td>10分</td> <td>14時40分～ 15時20分</td> <td>15時30分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p>						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	11時	11時～13時	13時～ 14時40分	10分	14時40分～ 15時20分	15時30分
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
11時	11時～13時	13時～ 14時40分	10分	14時40分～ 15時20分	15時30分													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	過去の数字では15名～850名 ※体育館の広さによる。																
	本公演	過去の数字では15名～850名 ※体育館の広さによる。地域のホールを借りて、市内の学校の共同開催で1000人強の人数で開催したこともあり。それでも同様のタイムスケジュールで舞台設営は可能。																
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>■【事前ワークショップ】 テーマ「能を体験・共演しよう！」《所要90分～100分》</p> <p>※参考映像などを観ながらオリジナルまんが付テキストに沿って解りやすく。</p> <p>①ご挨拶 《挨拶の大切さについて理解を促す》</p> <p>②「能」とは？《能の基礎的なお話》※解りやすいテキストや映像を用いて解説。 ※簡単な歴史、能楽師の構成と役割、能と狂言の違いについて</p> <p>③能の楽器(四拍子:笛・太鼓・大鼓・小鼓について)※演奏しているようすを映像で紹介。</p> <p>④能の謡(うたい)を体験(全員)。 ※謡:鑑賞演目「羽衣」より。まっすぐに大きな声を出す「謡」の発声の方法を学ぶ。 ※この曲のテーマとなる最も重要なセリフ <u>「いや疑いは人間にあり天に偽りなきものを」謡って、曲の主題を理解する。</u></p> <p>⑤能を演じてみよう《鑑賞演目「羽衣」について理解を深める》 ※鑑賞演目「羽衣」より、天人(主役・シテ)の立居・動作から <u>能独特の「美しい」動作をテーマに体験。実技指導を行い、能楽師と共演。また、「見えないもの」を想像して鑑賞する事を促し、その楽しさ、素晴らしさを伝える。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・天人の「羽衣」を着て、「美しく」立ち、「美しく」動いてみよう。(代表生徒) ・天人のように「美しく」泣く動作をしてみよう。(生徒全員) ・天人のように「美しく」宝を降らす動作をしてみよう。(生徒全員) <p>⑥能面を付けてみよう ※能の特徴の一つである能面を付けた時の非常に狭い視野を体験(全員)。また実際に能面をかけて摺り足を体験してもらおう(代表生徒)。 ※その角度によって異なった表情を見せる能面の不思議な魅力を紹介。</p> <p>⑦能の楽器(笛・太鼓・小鼓・大鼓)を演奏してみよう(代表生徒)。 ※和楽器の持つ特性を体験。</p> <p>⑧質疑応答</p> <p>⑨ご挨拶</p>																	

ワークショップ
実施形態
及び内容



能面を着けてみよう



能面に触れてみる



能の楽器（四拍子）を体験

■【公演当日でのワークショップ】

テーマ「狂言を体験・共演しよう！」《所要20分》

※オリジナルテキストに沿って解りやすく。

- ①ご挨拶
- ②「狂言」とは？《狂言の基礎的なお話》
- ③狂言独自の発声を体験。犬や猿や鳶などの動物の「鳴真似」「擬音」など(全員で共演)。
※鑑賞演目「柿山伏」より
「山伏は(劇中)に何個柿を食べますか」と事前にクイズ(当日プログラムにもあるクイズ)を出し公演後その答え合わせをして、柿をもぐしぐさを皆で再現(写真)。
- ④狂言の構え(姿勢)と運び(摺り足)としぐさを体験。(代表生徒共演)。

⑤ご挨拶

※「質疑応答」は公演後に行うものとする。



狂言の動き(茸の動き)を体験



柿をいいで食べてみる。「柿山伏」より

ワークショップ
実施形態の意図

《実施形態の意図》

- ・「能楽」は「能」と「狂言」という2つの演劇の総称であり、対照的な2つの芸能を一度の機会に鑑賞する事は、理解を深める上で大切であると考え、当日の公演はもちろんワークショップも「能」と「狂言」の両方を取組みたいと考えた。
- ・「ワークショップ」の主たる目的を、多くの生徒が「触れた事がない」「難しそう」と思っているであろう「能楽の世界」に対する興味を高める事とした。「講師から生徒」という一方向の内容ではなく、生徒も身体を使って能楽を「体感」でき、参加できる構成とし、何かしら「気づいてもらうこと」を大切にしたいと考える。
例えば能面を間近にみて触れ、その表情の豊かさに驚き、日本の伝統工芸の奥深さ美しさ技術の高さに気づく。「歴史」という時間の重さを実感し、能面を着けて初めてその視野の狭さを知る。能面を着けた視野で縦横無尽に舞う公演時の役者の姿に何かを感じる。楽器(四拍子)を体験してもなかなか音がでない。よって公演で奏でられる美しい音色を聴きその価値に気づく。それが、何よりも大事にしたい点だ。ワークショップによる体験から実感し、知ることによって、興味と集中力をもって公演を鑑賞でき、舞台の印象を深め、この事業をより効果的なものにする確信している。その実現に努力を重ねていきたい。
- ・テキストをワークショップの流れを導く重要なツールとして最大限に活用したい。デザインも含め、図解を使った「解りやすいテキスト」を使用することで更に関心を高め、理解を深めることを促す事ができると考える。能楽を通じて日本の言葉、日本の歴史、日本の伝説、日本の美術、日本の音楽等、様々な角度から興味をもってもらい、その後の学習意欲の向上につなげられればと考えている。ストーリー紹介にはマンガをオリジナルで作成し導入。また、当初は小学校でも中学校でも同じテキストを使用していたが、小学生に合わせた内容は、中学生には物足りない内容であることを考慮し、小学生用、中学生用で内容の難易度を変え、適正を考えてそれぞれ作成する事とした。今までの当会が重ねてきた経験をもとに更に推敲を重ねたい(平成29年度で第5版となる)。

※具体的には

- ・「能楽の基礎的なお話」の内容は、「能」・「狂言」とも実は生徒が興味をもちやすい話材であり、話し手の巧みな表現や解りやすい構成のテキストを使用することで更に関心を

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>高め、理解を深めることを促す事ができると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「能の楽器」については、解説は「映像」を利用。映像の方が楽器の細部が鮮明に映し出され、構造が明確になる。後方の座席の子でもはっきりと見る事が出来る。本物の四拍子(笛・小鼓・大鼓・太鼓)も見てもらい、代表生徒による演奏体験も実施。 ・「能の謡」や「狂言の発声」を体験する事については、声を出す事は、楽器より生徒それぞれ自分なりの表現がしやすいと考えた。大きな声を出す事の恥ずかしさも乗り越えて欲しい。「謡(うたい)」の抑揚は少し難しいかもしれないが、日頃習う「音楽」の旋律とは異なる和音(日本の音楽が持つ独特な旋律)の響きの美しさや特徴を楽しむ事を伝えたい。 ・「能や狂言の構えと姿勢」を体験し、日頃使わない筋肉を使い意識して動くことによって、芸能の奥深さを感じる瞬間を経験して欲しい。 ・上演する演目「羽衣」の「謡」や「所作」を体験、その一部を演じる事は、公演を鑑賞する際の生徒の集中力を高める事につながる。<u>日本文化が大切にしている、心も立居姿も「美しくあること」を体感して「日本の持つ伝統の力や魅力」を何かしら感じ取ってほしい。</u> ・「上演する演目の一部を能楽師と共演し再現する」という内容は、ワークショップの内容を検討する時に最も細心した。舞台上で共演することは、児童・生徒の方からも少なからず能楽師とコミュニケーションを取る努力をしてもらわないといけない。その緊張感や互いの息づかい、相手に合わせる思いやりなど多くの事を感じ取ってもらえると考えている。 ・生徒・児童の代表者が能楽師と共演する様を大多数の生徒・児童が鑑賞することとなる。自らと同じ学校の生徒・児童が舞台上で演じることで、「能楽」を身近に感じてもらうとともに、想像力を働かせて「見えないものを見て」能・狂言を観ることの、楽しさ、素晴らしさを解説し伝えるよい機会としたい。 ・<u>始終の挨拶や、鑑賞のマナーに言及する事で、いにしえより、相手への思いやりの心や礼節を重んじてきた「日本の心」をあらためて意識して欲しいと考えている。</u>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用するテキスト作成時に留意した点として、文字を通常より大きく、見やすくし、全ての文字にフリガナをつけた。 ・事前にテキスト原稿を担当教員に送付し、点字のテキストを作成してもらった。 ・手話同時通訳をしてもらった。 ・保護者の方々にもワークショップに共に参加してもらい、帰宅後もワークショップで体験した事について感想を聞くなど子どもたちに改めて話をしてもらうよう協力をお願いした。 ・本年度(2019年)東京都立町田の丘学園(特別支援学校)でのワークショップ実施の予定である。気づいた点等、この事業で生かしたいと考えている。
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

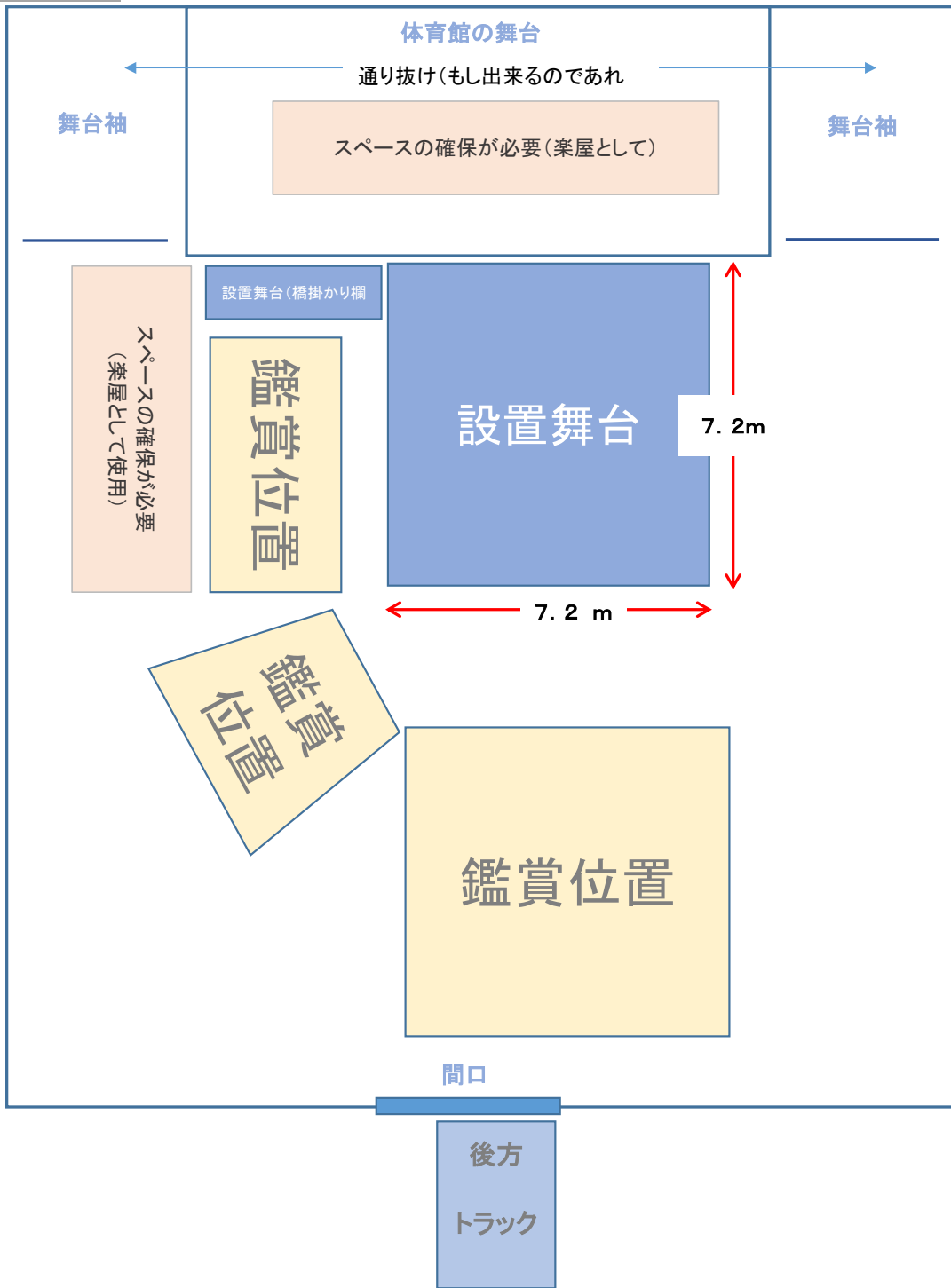
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E57	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	卓風会				制作団体名	卓風会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数*	1室	条件	特になし				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数*			大型バス	1台	バン(1.25t 1台)		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			特になし				
	可	搬入車両の横づけの要否*			不要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離*			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			特になし(余程の事が無い限り対応可能)				
		理由							
	可	設置階の制限*			問わない				
可	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m(特になし)	高さ	2m(特になし)				
WSについて	可	参加可能人数			実施会場(体育館)に入場できる人数				
	可	学年の指定の有無*			なし	指定学年*	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分～100分(休み時間を含む)				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			実施会場(体育館)に入場できる人数				
	可	舞台設置場所*			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	8m	奥行	8m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保*		要(舞台の設置場所によっては不要)		
	可				舞台袖スペースの条件*		人が通る事のできる程度(舞台の設置場所によっては不要)		
	可	遮光(暗幕等)の要否*			緞帳*	不要	バトン*	不要(あれば使用)	
	可				理由				
	—	ピアノの調律・移動の要否			指定位置へのピアノの移動*	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	—				ピアノの事前調律*		不要		
	—	フロアを使用する場合の条件			バスケットゴールの設置状況*		不問		
	—	公演に必要な電源容量			不使用		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								
可	公演時、長テーブル2本椅子2客がもしあれば楽屋に要。なくても可。								
可	ワークショップ時、長テーブル2本がもしあればステージ上に要。なくても可								
	本公演の舞台設置に関して、ステージに設置するか、フロアに設置するかは打合せの折に会場の特性と参加人数によって学校側と相談の上決定し、その他各学校側の都合によって柔軟に対応することが可能である。								

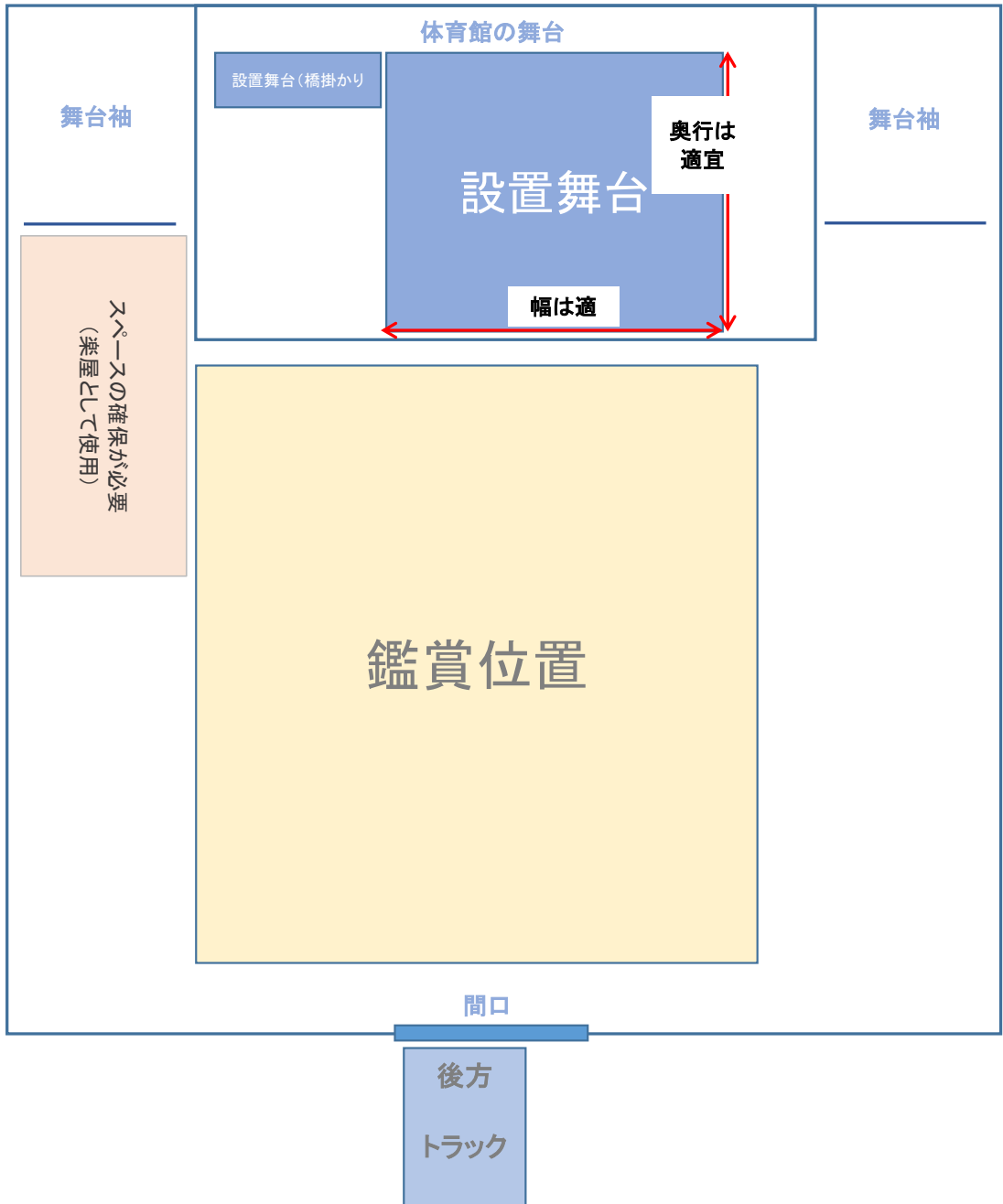
フロア使用時



搬入間口について	幅	2m(特になし)	高さ	2m(特になし)
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		不問		
指定位置へのピアノの移動		不要		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

舞台使用時



搬入間口について	幅	2m(特になし)	高さ	2m(特になし)
搬入車両の横づけの可否			不要	
横づけができない場合の搬入可能距離			不問	
指定位置へのピアノの移動		不要		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

やまがしとら。きょうげん「かきやまがし」。
山伏飛ぶ。狂言「柿山伏」。



天人舞う。能「羽衣」。
てんにんまう。のう「はぶしろも」。

体育館に
能舞台が
出現!

【ワークショップと公演】

能楽を鑑賞
してみよう。

小学生・中学生を対象に、「本物の舞台芸術」を身近に
触れる機会を提供し、子どもたちの豊かな発想力
やコミュニケーション能力を育成するための事業です。
開催校を巡回し、能楽ワークショップと能・狂言公演
を二日間にわたって行います。



●令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業●

主催 文化庁 / 制作・実演団体 皐風会 (こうふうかい)

●令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業●

能楽を鑑賞してみよう

【能楽ワークショップと能・狂言公演】

能と狂言は600年以上前から続く、世界に誇る日本の大切な伝統芸能です。

2001年、日本で初めて「世界無形文化遺産」に認定されました。

だからこそ、子どもたちに近くで体感して欲しい、日本の「素敵」や「カッコいい」を。

能楽を、聴いて、謡って、触って、観る。そして、

子どもたちの心に「日本文化」の種をまき、残したい。それが私たちの願いです。



ワークショップや公演で使用するテキストに登場し、子どもたちを能楽の世界へナビゲートするキャラクター「ニャンあみ」です。

●ワークショップのプログラム●

【公演前に能楽師が学校に伺い、事前の講座を行います。】

《解りやすいカラーテキストを見ながら、能のお話をします》

- ・「能」とは？
 - ・能の楽器（四拍子：笛・小鼓・大鼓・太鼓）について
- 《「能」を体験してみます》
- ・能「羽衣」の謡（うたい）を体験しよう
 - ・「羽衣」を着けて、能を演じてみよう
 - ・能面を付けてみよう
 - ・能の楽器（笛・小鼓・大鼓・太鼓）を演奏してみよう



ワークショップでも解りやすいテキストをお配りします。



能面に触れてみる



能の楽器（四拍子）を体験

●能・狂言本公演のプログラム●

【学校の体育館に簡易能舞台を再現します。

設置・撤収は約30～40分程ですので、授業に影響しません。】

- ①見どころ解説
- ②狂言「柿山伏（かきやまぶし）」の上演
- ③能「羽衣（はごろも）」の上演
- ④狂言のワークショップ「狂言を体験しよう」
- ⑤アフタートーク及び質問コーナー



当日プログラム



能「羽衣」



狂言「柿山伏」

●主催：文化庁 / 制作・実演団体：皐風会（こうふうかい）●

申請及び詳しい事は、まずは、各市町村の教育委員会にお問合せ下さい。

【文化芸術による子供育成総合事業ホームページ】<http://www.kodomogeijutsu.go.jp/>

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	<input checked="" type="checkbox"/> 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ごどうがいしいや おおくらりゆうきょうげんやまもとじむしょ		
制作団体名	合同会社 大蔵流狂言山本事務所		
代表者職・氏名	代表社員 石井倬巳		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0012 東京都杉並区和田 1-55-9 (中野富士見町駅)		
電話番号	050-3555-2465	FAX番号	03-3384-6970
ふりがな	おおくらりゆうきょうげん やまもとかい		
公演団体名	大蔵流狂言 山本会		
代表者職・氏名	大蔵流狂言山本家当主 山本東次郎		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0012 東京都杉並区和田 1-55-9 (中野富士見町駅)		
制作団体 設立年月	2006年 6月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	業務執行社員(代表社員)石井倬巳 業務執行社員 山本東次郎	団体構成員9名(演者8名、事務局1名) 大蔵流狂言山本会に所属	
事務体制の担当	専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	向井麻里子
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	経理責任者名	石井倬巳

制作団体沿革	<p>・1911年(明治44年)1月、山本舞台(現・杉並能楽堂の前身)の完成披露狂言会公演を機に、二世山本東次郎(1864-1935)によって、任意団体「山本会」創始。</p> <p>・1946年(昭和21年)5月、三世山本東次郎(1898-1964)により、全国の児童学生を対象とする巡演を開始。敗戦後、アメリカ文化一色に染まっていく日本を憂い、狂言を通して若者たちに日本の古典文化の真髄を伝えていくことを悲願とした。その活動が認められ、狂言辞典に「三世則重(東次郎)は、狂言の青少年層への普及を意図して全国の学校巡演に先鞭をつけ、また積極的に推進し、これは四世東次郎則寿にも受け継がれて、東次郎家の特色となっている」と掲載される。</p> <p>・2006年6月、任意団体「山本会」を継承、発展させるために、合同会社大蔵流狂言山本事務所として法人設立。現在は、四世山本東次郎(人間国宝)を主とし、狂言の普及、後継者の育成に努めている。</p>		
学校等における公演実績	<p>・平成28年度 「柿山伏」「附子」演目 59公演。 他、ワークショップ、アウトリーチ、留学生向け公演等、多数開催。</p> <p>・平成29年度 「柿山伏」「附子」演目 52公演。 他、ワークショップ、アウトリーチ、教員向け公演等、多数開催。</p> <p>・平成30年度 「柿山伏」「附子」演目 74公演。 他、ワークショップ、アウトリーチ、教員向け公演等、多数開催。</p> <p>弊会所属の狂言師は、東京都立芸術高等学校や埼玉県立芸術総合高等学校の講師を勤めている。また、横浜能楽堂が主催する「こども狂言ワークショップ」の講師を初回から現在まで継続して24年間勤めており、その模様はNHKEテレ「こっぽんの芸能」にも紹介された。教科書に狂言が掲載されているものの指導に困っている教員のために、狂言の歴史や、狂言を子供に教える意図や目的を教える講座を開き、教員の育成にも力を注いでいる。また、0歳から鑑賞体験できる狂言公演も開催している。</p>		
特別支援学校における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・1999年 佐賀県立盲学校 ・2001年 宮崎県立赤江養護学校(現・赤江まつばら支援学校) ・2008年 鳥取県立白兔養護学校・鳥取工業高校合同鑑賞教室 ・2015年 神奈川県立三ツ境養護学校 ・2016年 長崎県立島原特別養護学校 ・2018年 広島県立尾道特別支援学校 ・2019年 長崎県立虹の原特別支援学校、長崎県立ろう学校 		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVDを提出します
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 大蔵流狂言 山本会】

対象	小学生(低学年・ 中学年・高学年)・ 中学生		
企画名	650年前の日本にタイムスリップ! 狂言の世界		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	・狂言「柿山伏(かきやまぶし)」 「附子(ぶす)」 ・小舞一番 ・お話「狂言の心と日本の文化」 公演時間(90分)		
著作権	—	制作団体が所有	—
			制作団体以外が所有する事項が含まれる
			無
			(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	・「柿山伏」あらすじ 修行を終えて遠路故郷に帰る山伏は、空腹のあまり途中にある柿の木に登って実を食べます。それを見つけ腹を立てた柿の木の持主は、山伏を散々にかからかい、ついには山伏が柿の木から飛び降りるはめになります。脚を痛めた山伏。ここちも怒って逆襲にでますが…。 ・「附子」あらすじ 貴重品の砂糖に近付かせぬため「附子」という毒だと偽って出かけた主人。留守番の太郎冠者と次郎冠者は、それを怪しみ、決死の覚悟で「附子」に近付き、その正体を見破ります。すっかり食べ尽くしてしまった二人は、帰宅した主人にとんでもない言い訳をします。 ・お話「狂言の心と日本文化」 狂言を通して、日本古来の「物の考え方」を解説します。		
演目選択理由	「柿山伏」は、平成17年度より光村図書出版国語教科書小学6年生用に当家当主山本東次郎の解説と当家狂言台本が掲載されています。 また、令和5年度まで継続して掲載されることが決定しています。 「附子」は、一休さんのとんち話にある狂言の中でも最もポピュラーな演目です。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	本公演当日、狂言鑑賞とお話終了後に演者指導の下、ワークショップを行います。初めに児童生徒は発声練習を兼ねて、狂言の笑い方や泣き方を体験します。大きい声が出るようになったら、事前に行ったワークショップで覚えた狂言小謡のおさらいをします。その後、児童生徒だけで狂言小謡を謡い、その謡に合わせて演者が舞います。狂言小謡は簡単な謡なので、事前のワークショップに参加できなかった児童生徒も当日のワークショップで覚えることができ、共演することができます。		
出演者	・山本東次郎(重要無形文化財各個認定(人間国宝)) ・山本則俊(重要無形文化財総合指定保持者) ・山本泰太郎(重要無形文化財総合指定保持者) ・山本則孝(重要無形文化財総合指定保持者) ・山本則重(重要無形文化財総合指定保持者) ・山本則秀・山本凜太郎・若松隆		
公演出演予定者数(1公演あたり)	出演者: 5~6名 スタッフ: 1名 合計: 6~7名	機材等 運搬方法	積載量 t 車長 m 台数 台

【公演団体名 大蔵流狂言 山本会】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(1 時間程度) <table border="1" data-bbox="391 779 1433 862"> <tr> <td>到着</td> <td>仕込み</td> <td>本公演</td> <td>内休憩</td> <td>撤去</td> <td>退出</td> </tr> <tr> <td>12:25</td> <td>12:30～ 13:15</td> <td>13:30～15:10</td> <td>10分</td> <td>15:10～15:55</td> <td>16:00</td> </tr> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	12:25	12:30～ 13:15	13:30～15:10	10分	15:10～15:55	16:00
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
12:25	12:30～ 13:15	13:30～15:10	10分	15:10～15:55	16:00													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	100名前後																
	本公演	1～1,000名																
ワークショップ 実施形態 及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・狂言についてのお話。 ・狂言についてのクイズ。 ・狂言の基本所作(立居・歩く・走る)と発声体験。 ・本公演で共演する際に謡う狂言小謡の稽古。 																	
ワークショップ 実施形態の意図	狂言は650年前にできたセリフと仕草の対話劇です。現代のように照明も音響もなく、舞台道具も最低限のものしかなかった時代に、セリフと仕草のみで観客に背景を見せながら物語を展開していく狂言は、演者の表現力と発声の正確さ、そして何より観客の想像力が必要になります。狂言クイズでは、演者の表現と言葉を頼りに何を行っているか、子供たちが想像力を膨らませながら考え答えを出し発表するというアクティブラーニングを行います。体験では「型」と呼ばれる規則的な狂言所作を学び、礼節を身に付けます。																	
特別支援学校で の実施における 工夫点	先生方と緻密な打合せの上、子供たちに合った形でワークショップや本公演を進めていきます。本公演で共演する際に謡う狂言小謡は簡単な謡なので、特別支援学校の児童生徒でも覚えることができます。過去にも実施経験があるので、その都度、臨機応変に対応します。																	
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。																	

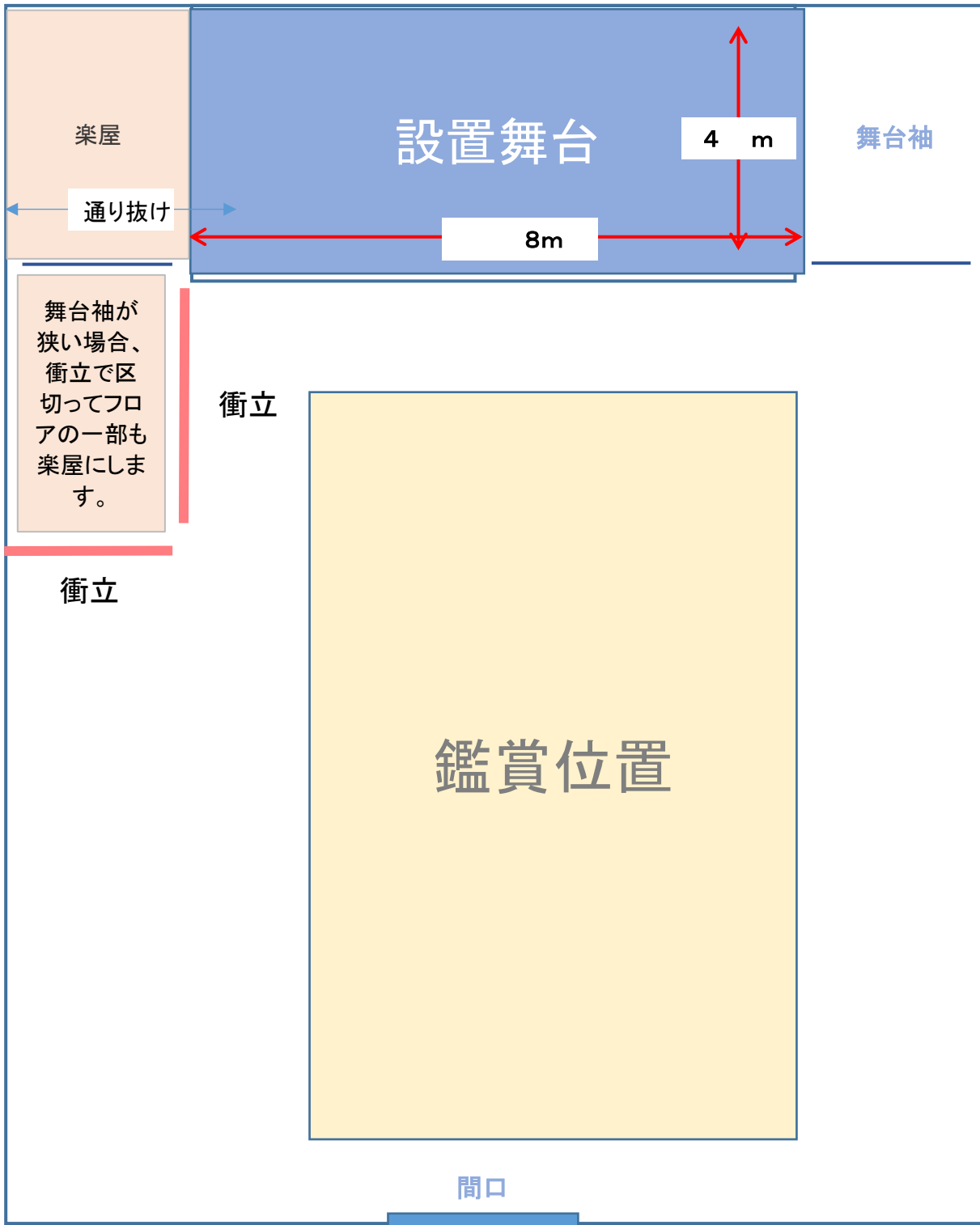
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E58	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	大蔵流狂言 山本会				制作団体名	合同会社 大蔵流狂言山本事務所			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	1室	条件	舞手下手袖(舞台向かって左側)に設置希望							
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			乗用車	2台						
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			乗用車							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない							
	可	搬入経路の最低条件			できる限り階段のない経路が望ましい							
	—	理由			舞台道具と装束を搬入するため							
	—	設置階の制限 *			問わない							
WSIについて	—	搬入間口について 単位:メートル		幅	問わない		高さ	問わない				
	可	参加可能人数			100名前後							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		なし				
可	所要時間の目安 単位:分			100分(休憩10分含む)								
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			フロアに入って鑑賞できる最大人数							
	可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	4m	高さ	指定なし			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			舞手下手袖(舞台向かって左側)に楽屋を設置するので、袖に荷物がない状態				
	可				緞帳 *	不要		バトン *	要			
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由						
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。					
	—			ピアノの事前調律 *		不要						
	—	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		問わない						
	—	公演に必要な電源容量			問わない		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項											
可	舞台上にピアノがあって場所を取る場合は、舞台袖、又は舞台下に移動をお願いすることもあります											

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	問わない	高さ	問わない
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

演目

〔附子〕 ぶす

主人は外出するにあたって、二人の召使、太郎冠者と次郎冠者に大切な品物をあずけました。主人が言うには、その品物は附子というもので、その方向から吹いてくる風にあたるだけで人間が消えてなくなってしまうというたいへんな毒。でも太郎冠者は中身を見たくてたまりません。そこで二人は風が吹いてこないように扇であおぎながらふたを開けることにしました。そこで見たものはおいしそうな黒砂



糖。忠実な召使に嘘までついて出かけた主人への不満もあったのでしょうか。二人は黒砂糖をぜんぶ食べてしまいました。さあ、そろそろ主人が戻ってくる時間。このままではひどく叱られてしまうのは目に見えています。そこで太郎冠者は一計を案じました。

〔解説〕

当時、砂糖はたいへんな貴重品でした。主人はこっそり自分だけで食べようとして、嘘までついて出かけたのでしょうか。主人の弱みをついた太郎冠者。なんて知恵の働く召使でしょう。

〔蝸牛〕 かぎゅう

蝸牛とはカタツムリのこと。山伏がやぶの中でひと寝入りしているところへ、太郎冠者がやってきました。主人に大きなカタツムリを取ってこいと命じられたからです。でも太郎冠者はカタツムリがどんなものか知りません。主人の説明では「やぶに住んで、頭が黒く、腰に貝をつけていて、ときどき



つ角を出す」のがカタツムリということです。そこで山伏に「あなたがカタツムリか」と問いかけてみました。いっぽう山伏は、太郎冠者をからかってやろうと、自分がどれほどカタツムリの特徴を持っているかを説明します。すっかり信じ込んだ太郎冠者。山伏に教えてもらった愉快的な謡を二人で謡って楽しんでいました。そこへ、太郎冠者の帰りが遅いので、主人が捜しにきたのですが。

〔解説〕

カタツムリは寿命を延ばす薬だと思われていたのでしょうか。主人は祖父にカタツムリを差し上げるつもりでした。さて、太郎冠者はどうして山伏がカタツムリだと思い込んだのでしょうか。

巧みな言葉で証拠を見せていく山伏はみごとですね。三人が浮かれながら謡う謡は「雨も風も吹かぬに、出ぎ釜打ち割ろう」。「天気がいいのに殻から出てこなければ、殻を打ち割るよ」の意味です。

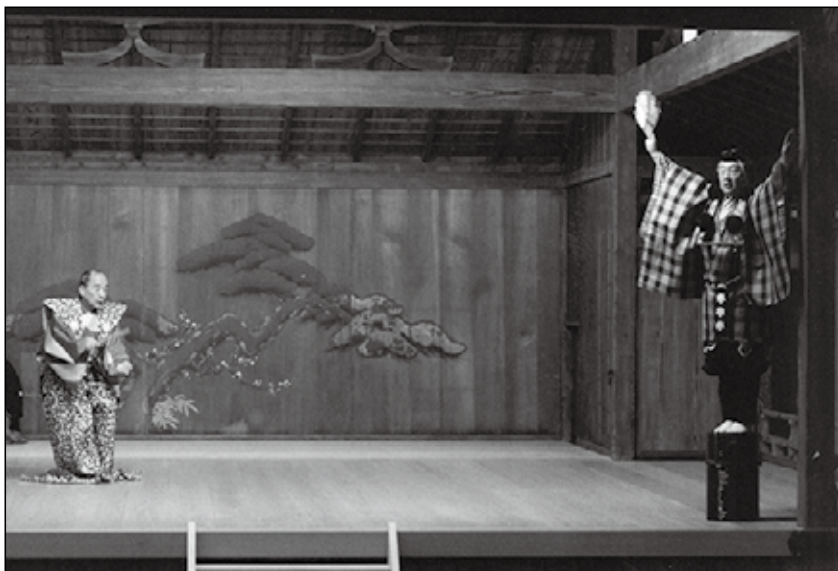
演目

〔柿山伏〕 かきやまぶし

おおみねさん かずら きさん
大峰山と葛城山で修行を終えたばかりの山伏が、出羽の羽黒山へ帰る途中のこと。お腹がすいてふと見ると、みごとな柿の木があります。山伏は勝手に木に登って柿を食べはじめました。そこへやってきた柿の木の持ち主。上から飛んできた柿の種に気づいて見上げると、なんと山伏が大切な柿を盗み食いしているではありませんか。さてどうやって懲らしめてやろうか。あれはカラスに違いないと、カラスの鳴きまねをさせます。一生懸命に鳴きまねをする山伏。次はサル、次はトビ。柿の持ち主は「トビなら飛びそうなものだ」とはやし立てます。山伏も決心をして、高い木のうえから「ヒー、ヨロ、ヨロ」と飛んだのですが。

〔解説〕

修行を積んだ山伏は、普通の人では持ち得ない能力（法力：ほうりき）を持っていると考えられています。



ました。そんな山伏でも、お腹がすくと人のものを盗み食いするものなのです。トビのまねをして柿の木から落ちてしまった山伏。柿の持ち主に、「家まで背負って行って治療しろ」とおどめますが、結局は背中から振り落とされ、法力の無いことまであからさまになってしまいました。

面と道具



〔面〕 おもて

能では面をつけることが大半です。狂言は直面と言って、素顔が大部分ですが、「鬼」「動植物」（狐、狸、猿など）「老人・老女」「神さま」「幽霊」などでは面を使用することがあります。



〔道具〕

ほとんどが象徴的なものですが、なかでも、かずら桶という塗りの桶をよく使います。酒樽、床几（腰掛）、茶壺、そしてときには樹木の役も果たします。また、桶の蓋は酒盛りのときの盃や茶碗にもなります。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, <input checked="" type="checkbox"/> 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分複数申請の有無 (該当する方に○を付してください。) あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他 ()

芸術文化団体の概要	かぶしきがいしゃあらうまざ		
ふりがな制作団体名	株式会社荒馬座		
代表者職・氏名	代表取締役 岡田仁		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒1740053 東京都板橋区清水町 81-4 (都営地下鉄三田線「本蓮沼」駅徒歩5分/国際興業バス「本蓮沼駅」バス停徒歩5分)		
電話番号	03-3962-5942	FAX番号	03-3962-5021
ふりがな公演団体名	みんぞくかぶだんあらうまざ		
	民族歌舞団荒馬座		
代表者職・氏名	代表 岡田仁		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒1740053 東京都板橋区清水町 81-4 (都営地下鉄三田線「本蓮沼」駅徒歩5分/国際興業バス「本蓮沼駅」バス停徒歩5分)		
制作団体設立年月	1966年9月		
制作団体組織	役員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 岡田仁 取締役 金沢真美	団体構成員 15名 太鼓・民舞・和楽器等の力量を持つ健康な男女	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	岡 宏司
経理処理等の監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	富澤恵理子

制作団体沿革	<p>1966年9月設立。1970年法人格取得。 1974年学校鑑賞教室公演開始。以降2019年まで30作品以上の民族芸能集作品を学校鑑賞教室・芸術鑑賞会で上演。 1978年以降、学校の先生を対象とした太鼓民舞教室開催。以来2019年まで延べ約40,000名の学校の先生・保育士を中心に太鼓民舞を普及する。 1986年 東京都新島村『式根島大漁祝い太鼓』作調 1987年 福島県会津若松市『会津鶴ヶ城太鼓』作調 1991年 長野県生坂村『生坂龍翔太鼓』作調 1992年 三重県いなべ市(旧大安町)『大安寿太鼓』作調 1993年 日中国交正常化二十周年イベント・中国北京公演 1993年 鑑賞教室作品『どっこいふるさと生きている』厚生省中央児童福祉審議会特別推薦指定 1995年 鑑賞教室作品『風のまつり—夢は野を越え山越えて』厚生大臣賞受賞 1995年 埼玉県児玉郡神川町『神川豊穰ばやし』作調 1995年 ベトナム親善公演(ハノイ・北部山岳地帯17ステージ) 1999年 鑑賞教室作品『母里のまつり森の詩』厚労省中央児童福祉審議会特別推薦指定 2005年 鑑賞教室作品『大地のまつり水のうた』・『みんなでわっしょいふるさとの四季』厚労省中央児童福祉審議会特別推薦指定 2006年 パラグアイ親善公演(日本人移民70周年記念) 2008年 ブラジル親善公演(日本人移民百周年記念)国際交流基金助成事業 2009年 鑑賞教室作品『楽—明日への息吹』厚労省中央児童福祉文化賞特別推薦指定 2010年 鑑賞教室作品『明日へのまつり』・『みんなでわっしょいふるさとの四季』厚労省中央児童福祉文化賞特別推薦指定 2019年 鑑賞教室作品『実り折り命のまつり』厚労省社会保障審議会児童福祉文化財「特別推薦作品」「児童福祉文化賞推薦作品」</p>		
学校等における公演実績	<p>1974年より首都圏を中心に小学校鑑賞教室、中学校・高校の芸術鑑賞会を幅広くおこなう。1990年から2019年の間に首都圏の約1,700校(延べ数)の小学校の鑑賞教室でさまざまな構成の民族芸能集作品を上演。 中学校・高校の芸術鑑賞会でも、学校の体育館や地域のホールなどを会場に、さまざまな構成の民族芸能集作品を首都圏各地の学校で上演。 公演と併せ「体験学習」「伝統文化体験学習」としての太鼓民舞体験のワークショップ、また高校の沖縄修学旅行の事前学習としての「エイサー」体験ワークショップなども幅広く実施している。 ※2017~19年度小学校鑑賞教室公演63校(文化庁「巡回公演」以外)</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>1990年から2019年の間に首都圏の約160校(延べ数)の特別支援学校の鑑賞教室でさまざまな構成の民族芸能集作品を上演。公演と併せて太鼓民舞体験のワークショップも幅広く実施している。先生対象の太鼓民舞の講習会もさまざまにおこなっている。 ※2017~19年度特別支援学校鑑賞教室公演15校(文化庁「巡回公演」以外)</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目のDVD ※提出します またはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>○ 有 ・ 無</p> <p>○ 有 ・ 無</p> <p>http://www.araumaza.co.jp/kouen/sakuhin/mi-no-chi.html</p> <p>ID:なし PW:なし</p>
	Aの提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 民族歌舞団荒馬座】

対象	小学生（ <u>低学年</u> ・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u> ）			中学生
企画名	祈りの祭—日本の芸能 北から南から			
本公演演目 原作／作曲 脚本 演出／振付	<p>◆ソーラン節 ※児童生徒の代表の太鼓の伴奏で</p> <p>◆アイヌの唄と踊り エムシリムセ（剣の舞）サロルンリムセ（鶴の舞）クリムセ（弓の舞） トンコリ演奏・唄『ヤイカテカラ』</p> <p>◆沖縄の唄と踊り 三線演奏・唄『ていんさぐぬ花』 国頭サバクイ 豊年踊り シーサー（沖縄の獅子舞） エイサー</p> <p>◆ぶち合わせ太鼓 作・構成 宮河伸行</p> <p style="text-align: right;">公演時間（約 60 分）</p>			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合） 許諾の有無
演目概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の太鼓や踊り、唄や和楽器を中心に、各地に伝承・継承されている民俗芸能を舞台化し、日本北から南までの芸能で構成した。日本の伝統文化の幅広さや地域的な特性が感じられる演目構成。 ・「アイヌの唄と踊り」…日本の北の芸能、手拍子と唄で展開していく「剣の舞」「鶴の舞」「弓の舞」などの踊りはその躍動感とともに、印象的な紋様の衣装や弓や剣といった狩りの道具などと併せてふれる機会の少ないアイヌの生活や文化を身近に感じ、人間と他の生き物や自然との深い関わりを感じられる演目です。 ・「沖縄の唄と踊り」…日本の南の芸能。日本の芸能のひとつの源流ともいえるさまざまな沖縄の芸能を構成。三線と唄による「親の教えを心に留めなさい」という教訓歌「ていんさぐぬ花」、沖縄の木遣り唄「国頭サバクイ」は皆で力を合わせて大木を引く振りが力強くまたユニーク。「豊年踊り」は、農作業をする働き者の「おじいおばあ」の楽天性、沖縄の獅子舞「シーサー」、沖縄の旧盆の太鼓踊り「エイサー」など、日本の風土や芸能文化の多様性が感じられるような演目。 ・「ぶち合わせ太鼓」…思いっきり打ち込んでいく大太鼓の迫力とベースのリズムをしっかりと支える小太鼓、大太鼓を交替しながら叩く三人のアンサンブルを通して、日本伝統音楽の「序破急」の魅力を堪能できる太鼓囃子。 ・「ソーラン節」の太鼓の伴奏で子どもの代表が演技者と共演する場面はもちろん、かけ声・手拍子の応援や演者が客席内に入っていき場面を随所で作るなど、子どもたちもさまざまな形で舞台に参加しながら、「まつり」のイメージで日本の伝統文化の楽しさや親しみやすさとその魅力を伝える演目構成です。 ・舞台と客席を同一フロアに設定し、より近く鑑賞してもらうことにより、舞台と客席との一体感を感じやすくしています。 			
演目選択理由	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化でありながら、日本の各地の芸能にふれる機会は決して多いとは言えないだろう。2020 東京五輪の年、グローバルな視点の必要性が強調される今こそ、日本各地の芸能を子どもたちに身近に体感してもらい、日本のアイデンティティを感じてもらい、世界と日本の融合した未来を創る発想へつなげてもらいたい。 ・日本の芸能に込められた祖先の願いや古より受け継がれてきた思い、人と人との信頼し、協力しあうことの大事さや喜び、明日を生きる力をこそ日本のアイデンティティとして、今を生き未来を創る子どもたちに伝えたい。 ・近年、人と人のつながり、コミュニケーションの重要性が話題になっているが、1人ではできないお囃子や踊りなど、みんなで力を合わせ、息を合わせて表現する姿を通して、子どもたち自身にも表現する楽しさ、コミュニケーションする楽しさや喜び、日本の芸能の表現力、発信力を伝えたい。 			

	<p>・人も動物も自然もともに生き、生きとし生けるものに感謝するアイヌ民族の思いや、働く喜びと協同する喜びを唄と踊りで明るく表現する沖縄の芸能など、各地で育まれ代々継承・発展してきた芸能の魅力やそれぞれの地域性などにふれて、子どもたちの日常の生活圏以外の地域の幅広い日本の文化や芸能を知る機会としてもらいたい。それがさらに、子どもたちが暮らす地域の文化に改めて興味・関心を持つきっかけとなり、将来地元の芸能ひいては日本の芸能・文化の担い手になっていくことも期待している。</p> <p>・「まつり」のイメージのこの舞台を鑑賞することで、参加型、客席から舞台にどう働きかけるかという視点での舞台芸術の鑑賞力の向上にもつなげてもらいたい。</p>								
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>・開幕の「ソーラン節」では、事前ワークショップで体験した和太鼓で代表の児童生徒に登場してもらい、その太鼓の伴奏で演技者が「ソーラン節」を踊る。客席の児童生徒には手拍子で参加してもらう</p> <p>・アイヌの踊りでは、踊りの拍子として児童生徒の手拍子をもらい上演する。</p> <p>・沖縄の唄と踊り「シーサー」では厄除け、厄払いの願いを込めて、沖縄の獅子舞「シーサー」が客席に入り児童生徒の頭を噛んで廻り、交流する。児童生徒の代表、先生の代表には舞台に登場してもらい、特に念入りに頭を噛む印象的な場面をつくる。</p> <p>・「エイサー」では「唐船どーい」の曲に合わせて、児童生徒に客席で手振りで「カチャーシー」の踊りに参加してもらう</p>								
<p>出演者</p>	<p>長島敏治 (踊り、太鼓) 宮河伸行 (踊り、太鼓) 中村志真 (三線、唄、踊り) 関いずみ (三味線、トンコリ、踊り) 三浦直美 (篠笛、踊り、太鼓)</p>								
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<table border="0"> <tr> <td>出演者：</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ：</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>合計：</td> <td>5名</td> </tr> </table>	出演者：	5名	スタッフ：	名	合計：	5名	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>中型ワゴン 積載量 0.75 t 車長 5m8cm 台数 1台</p>
出演者：	5名								
スタッフ：	名								
合計：	5名								

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムス ケジュール)の 目安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時	13時～14時	なし	14時～16時	16時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	一単位当たり50名程度				
	本公演	350名程度				
ワークショップ 実施形態 及び内容	「ソーラン節の踊り」と「和太鼓体験」。「ソーラン節」の基本の振りや唄に合わせたかんたんな構成。太鼓の基本、バチの持ち方・構え方から始めて、和太鼓の基本リズムの練習、「ソーラン節」の唄と踊りに合わせた伴奏まで楽しんで体験する。本公演に向けて児童生徒の代表に公演時と同じような構成での練習もしてもらう。					
ワークショップ 実施形態の意図	ソーラン節では、伝統的な労働である漁の作業の振りから、足を踏ん張る、腰を落とすなどの和の身体技法を唄やリズムにのって体験してもらいたい。また和楽器の中でも比較的親しみやすい太鼓を体験し、太鼓の基本リズムを経験することで、和のリズムのよさを再認識してもらう。太鼓を叩く身体「ソーラン節」を踊る身体、腰の落とし方などから、和の身体技法についても、ある意味では新鮮な身体の動きや使い方として体験してもらう。児童生徒がこうした体験からつかんだ踊りや太鼓の実感や楽しさを本公演の舞台の鑑賞につなげてより親しみ楽しめるものとしたい。					
特別支援学校での 実施における 工夫点	荒馬座は日常の活動の中でも特別支援学校での和太鼓や日本の踊りの実践も多く、近年オリパラ教育で鑑賞会やワークショップで特別支援学校でおこなう機会もさらに増えている。労働の作業の振りの多いソーラン節と親しみやすい太鼓を、児童生徒の状況を考慮しつつ、楽しみながらおこなう。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

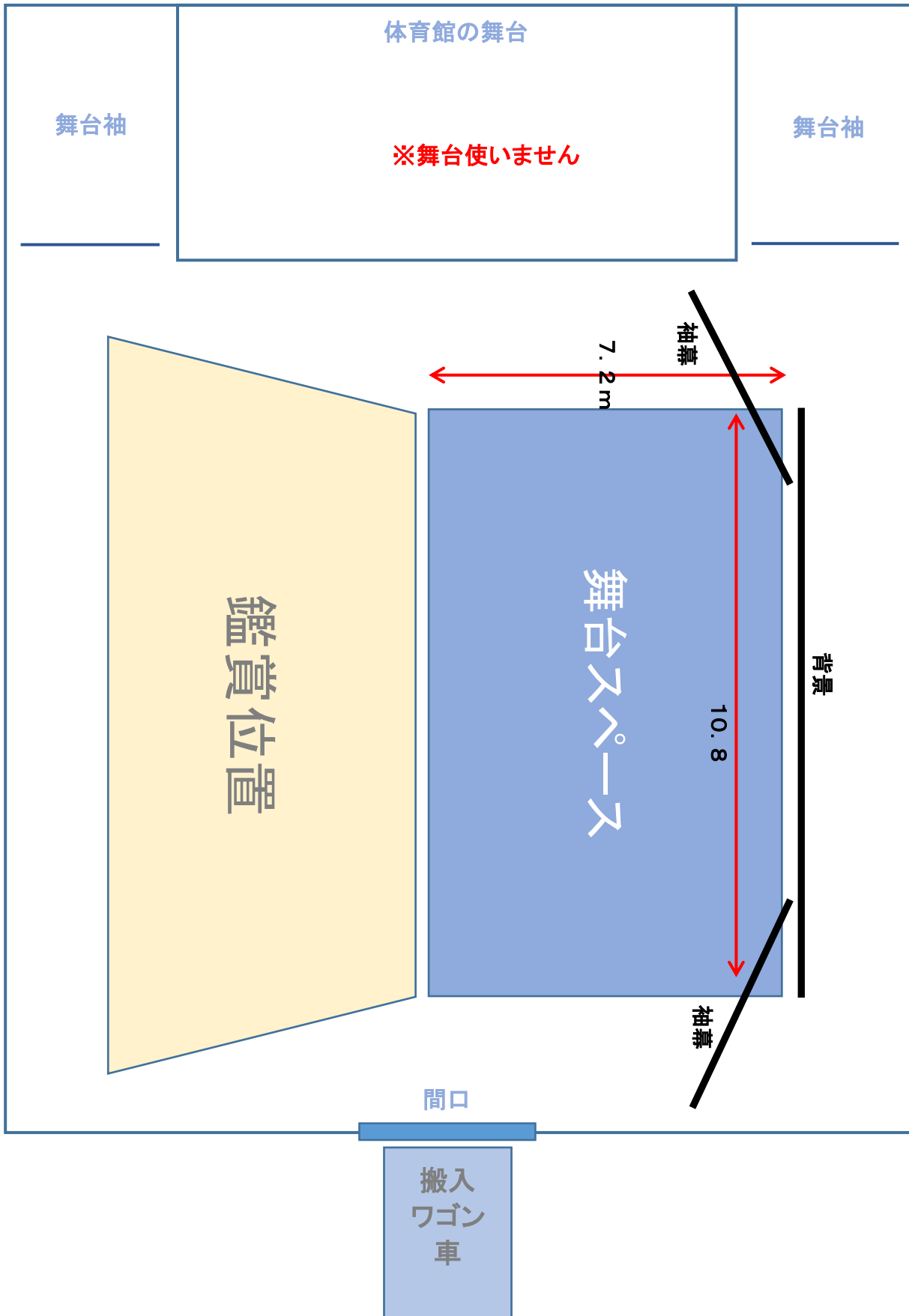
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E59	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	民族歌舞団荒馬座				制作団体名	株式会社 荒馬座			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	食事を取るスペースとして使います				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			中型ワゴン1台				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			中型ワゴン				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			なるべく体育館の近くをお願いします				
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 				
		理由			・重量があり水濡れ厳禁の楽器・大道具の搬入をするため				
	可	設置階の制限 *			問わない				
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m			
WSIについて	可	参加可能人数			1回当たり50名程度まで				
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	小学校6年生		
	可	所要時間の目安 単位:分			校時で一～二単位				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			330名程度(それ以上は2ステージで対応)				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10.8 m	奥行	7.2 m	高さ	指定なし
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要	
	—				舞台袖スペースの条件 *				
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	使いません		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	—			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量		
その他特記事項									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否		要(できれば)		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



いの 祝の祭

日本の芸能 北から南から

【子どもたちの感想】

▼「トンコリの演奏の音がとつてもキレイで聴きほれてしまいました。」

▼「公演を観てやる気がみなぎってきました。剣の舞は心の中の悪いことをすべて出してくれました。エイサーのリズムは心をはませ、幸せな気持ちになりました。」

▼「沖縄のお祭りは知っていましたが、北海道のお祭りは知らなかった。とても勉強になりました。そして一番心に残ったのは最後の太鼓でした。とても力強くかつよかったです。」

▼「沖縄のおじいさんの酔っ払った演技、うまかったです。三線かつよかったです。メロディーやリズムもとても楽しかったです。シーサーにカメラしたのでいいことありそうです。」

▼「最後のぶち合わせ太鼓は音が振動となってビリビリ伝わってきました。すごく勇気もらいました。」

▼「三味線は本州に伝わる時に、蛇の皮が手に入りにくく、犬や猫の皮を使っているなどのことも知ることができました。そして最後の太鼓も大迫力でした。」

▼「最初のソーラン節は、ぼくが知っているのはちがくてびっくりしたけど、こっちのソーラン節も好きになり感動しました。」

▼「シーサーの動きで踊っている人二人で気持ちを合わせていてすごいと思いました。」

▼「太鼓も踊りも唄も、ぼくが大人になってもできなそうなので、うなづいておどろきました。運動会の際には、荒馬座の人たちみたいに「声で協力しながんばります。」

▼「とてもいい踊りと歌と演奏でした。特におじいさんとおばあさんの演技がおもしろかったです。(笑)」



体育館がまつりの場に!



【先生方の感想】

▼「ソーラン節は子どもたちが太鼓を叩き、観ていて自然と楽しくなりました。手拍子、かけ声、踊りと、客席でみんなと一緒に参加できて楽しかったです。」

▼「アイヌの踊りを観て、日本の文化の多様性を改めて感じました。」

▼「土の香りがする優雅で強いアイヌの踊り、海の香りがする明るく楽しい沖縄の唄と踊り。北と南どちらの演目も楽しかったです。その土地で生きる人たちの気持ちは伝わってきました。」

- 【演目】
- ソーラン節 子どもたちの太鼓の伴奏で
 - アイヌの唄と踊り エムシリムセ(剣の舞) サロルンリムセ(鶴の舞) クリムセ(弓の舞) トンコリ演奏・唄『ヤイカテカラ』
 - 沖縄の唄と踊り 三線演奏・唄『ていんさぐの花』 国頭サバクイ 豊年踊り～シーサー エイサー ※変更することがあります
 - ぶち合わせ太鼓



〒174-0053 東京都板橋区清水町81-4 TEL03-3962-5942 FAX03-3962-5942
E-mail: araura@araumaza.co.jp URL http://www.araumaza.co.jp/

上演時間	約 60 分 ※休憩なし	出演者数	5 名
舞台条件	体育館フロア使用 ※児童数 330 名以上の場合は 2 ステージ (要相談)		

民族歌舞団

荒馬座

〒174-0053 東京都板橋区清水町81-4
TEL.03-3962-5942 FAX.03-3962-5021

E-mail: araura@araumaza.co.jp
http://www.araumaza.co.jp/



ソーラン節



北海道でニシン漁の作業唄として歌われてきた沖揚げ音頭のひとつの「ソーラン節」にのせて、船を漕ぐ様子、漁の様子など漁の作業を表した踊りです。大漁を願い、力を合わせ心をひとつにして働く喜びと大漁のにぎわいを、明るく力強く唄い踊り囃します。



日本の芸能 北から南から

沖縄の唄と踊り

●三線演奏・唄

「ていんさぐぬ花」
沖縄の三味線(三線)の演奏で「ボウセンカの花で爪を染めるように、親の教える心に留めなさい。」と歌われる教訓歌。



●国頭サバクイ

「サバクイ」は木材運搬を担当した役人のこと。山から木を切り出して、切った木をみんなで力を合わせて運ぶ様子を表した踊り。沖縄の「木遣り唄」とも言えます。



●豊年踊り

厳しい自然の中で力強く明るく生きる働きの者のおじい・あばあと村人たちの踊り。



●シーサー

沖縄の獅子。厄除け厄払いの芸能です。客席に入つて大きな口を開け、皆さんに幸せを運びに来ます。



アイヌの唄と踊り

日本列島北部周辺とリウベ北海道の先住民族であるアイヌ民族の踊りや唄は、人間が自然の中の一部として生かされてきた命であること、そして人間はなぜ唄ったり踊ったりするようになったのかということを感じさせてくれます。

●エムシリムセ

「魔」(悪いもの)を祓う剣の舞。剣をぶつけ合う音で「魔」を祓います。

●サロルンリムセ

親の鶴が子に飛び方を教える様子を表した踊りです。



●クリムセ(弓の舞)

弓で鳥を射ろうとした狩人が、鳥の美しさに射ることができなかった様子を表した踊りです。



●トンコリ演奏・唄

「ヤイカテカラ」
アイヌ民族の弦楽器トンコリの演奏で、恋人たちの愛情を歌った「ヤイカテカラ」を歌います。



●エイサー

沖縄の旧盆の踊り。祖先への感謝の思いを込め、三線と唄にのって太鼓を叩き、町を練り歩く青年たちの踊りです。町内の青年会の若者たちが「道じゅね」といって夜通しエイサーを踊り、町は熱気であふれます。ひとつになつて響く太鼓の音は、祖先への感謝と青年たちの団結と誇りを感じさせます。



●ぶち合わせ太鼓

神奈川の港町三崎で、大漁を願って叩かれてきた漁師の太鼓です。浜の大漁のにぎわいを表すように、力強く叩く大太鼓と軽快な小太鼓が、競い合い囃し合います。



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきしゃだんほうじん らくごげいじゅつきょうかい		
制作団体名	公益社団法人 落語芸術協会		
代表者職・氏名	会長 田ノ下雄二		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 2F (東京メトロ丸ノ内線・西新宿駅)		
電話番号	03-5909-3080	FAX番号	03-5909-3082
ふりがな	こうえきしゃだんほうじん らくごげいじゅつきょうかい		
公演団体名	公益社団法人 落語芸術協会		
代表者職・氏名	会長 田ノ下雄二		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 2F (東京メトロ丸ノ内線・西新宿駅)		
制作団体 設立年月	昭和 5年 10月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事(会長)/春風亭昇太 代表理事(副会長)/春風亭柳橋 理事/三笑亭茶楽 他 12名 業務執行理事兼事務局長/田澤祐一 監事/桂小文治 他2名	<ul style="list-style-type: none"> ● 団体構成員 個人 227名 ● 主な構成員 春風亭昇太・三遊亭小遊三・桂米丸・三遊亭遊三・春風亭小柳枝・桂米助・桂歌春・柳亭楽輔・ナイツ・宮田陽昇 ● 加入の条件 落語を専門の業とするもので3年以上の経験を有する者、および落語以外の寄席芸能実演家で、この法人の目的に賛同して入会した者。 	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	武田史子
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	田澤祐一

制作団体沿革	昭和 5 年、会長春風亭柳橋(先々代)、副会長柳家金語楼が日本芸術協会を設立。昭和 9 年柳亭左楽が会長を務める落語睦会を合同する。その後桂小文治(先代)が副会長となる。昭和 49 年、古今亭今輔(先代)が会長に就任。昭和 51 年、桂米丸が会長に、春風亭柳昇が副会長に就任。昭和 52 年、文化庁より社団法人の認可を受け、社団法人落語芸術協会と改称する。平成 11 年、桂文治(先代)が会長、桂歌丸が副会長に就任。平成 16 年、桂歌丸が会長、三遊亭小遊三が副会長に就任。平成 23 年 4 月 1 日、公益社団法人の認定が下り、改称。平成 30 年 7 月、会長桂歌丸が死去。平成 30 年 6 月総会にて、三遊亭小遊三の会長代理の兼任が決まっていたため、代表理事として会長代行を務めた。令和元年 6 月 27 日、春風亭昇太が会長に、春風亭柳橋が副会長に就任。			
学校等における公演実績	台東区の小学校約 20 校を対象に、浅草演芸ホールにて平成 16 年から毎年数十日公演。横浜市の小学校約 20 校の小学生を対象に、横浜にぎわい座にて平成 17 年から毎年 7 月と 9 月に 5 日間ずつ公演。その他、平成 15 年より全国各地にて学校寄席を行っている。依頼公演としては、23 年 4 月北海道教育大学附属函館中学校、23 年 10 月聖和学園高等学校。24 年 6 月学習院初等科、24 年 10 月御殿場南小学校、28 年 10 月江戸川区立小岩小学校、29 年 2 月柏市立松葉第一小学校、29 年 6 月村田高等学校、29 年 6 月日大山形高等学校、29 年 6 月第三砂町小学校 PTA 行事、29 年 6 月江戸川区立上一色小学校、29 年 10 月大森学園高等学校 他実施。 (記載のない年も、多数実施しています)			
特別支援学校における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 22 年 3 月 広島県立広島特別支援学校 ● 平成 22 年 11 月 長崎県立桜が丘特別支援学校 ● 平成 25 年 2 月 北海道帯広盲学校 ● 平成 28 年 9 月 南大沢学園特別支援学校 ● 平成 28 年 1 月 都立矢口特別支援学校 ● 平成 29 年 6 月 都立江東特別支援学校 ● 平成 29 年 7 月 都立品川特別支援学校 ● 平成 29 年 9 月 南大沢学園特別支援学校 ● 平成 29 年 12 月 葛飾区立保田しおさい学校 ● 平成 30 年 7 月 都立品川特別支援学校 			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無	
申請する演目の DVD または WEB 公開資料		有 ・ 無		
※公開資料有の場合 URL				
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:			
A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無		
	※公開資料有の場合 URL			
	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:		

対 象	小学生(<u>低学年</u> ・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u>) ・ <u>中学生</u>		
企画名	「寄席」を体験しよう！～演じるヒトも聞くヒトも「よっ、日本一！」～		
本公演演目 原作 / 作曲 脚 本 演出 / 振付	<ul style="list-style-type: none"> ● 「牛ほめ」 ● 「初天神」 など、子供達にも理解しやすい演目を予定。 <p>[原作] 古典落語のほとんどの演目は、原作者不明とされている。 [脚本] この落語会で演じられる古典落語は江戸時代から継承される口演台本があるが、必ずしも全てが明文化されているわけではなく、ほとんどが師匠などからの口伝によるものである。 [演出] 師匠から教わったものを基本として、演者それぞれ自身で演出する場合はほとんどで ある。 公演時間(90 分)</p>		
著作権	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ● 「牛ほめ」のあらすじ 与太郎という名のちょっと調子っぱずれな子どもが父親に言われ、おじさんの新築の家を褒めに行く。おじさんの新築の家は贅をこらした家で事前に家のほめ方を教えられた与太郎は、間違えながらもなんとか褒め続ける。おじさんに偉いねえと言われ調子に乗った与太郎は、庭にいる牛も褒めるが…。 ※今は使わない言葉や難しい用語も出てくるが、子供達に分かるよう言い換えを用いて柔軟に対応いたします。 ● 「初天神」のあらすじ 男が天満宮へ参拝に行こうと思いついたが、奥さんから子供も連れて行ってくれと頼まれて渋々連れて行くことに…。あれ買ってくれ、これ買ってくれとねだらないと約束したのに、「いい子にしてたでしょ?」と言ってやっぱりねだってくる子供。そんな親子のやりとりに、現代の子供も思わず噴き出します。 		
演目選択理由	<p>どちらも学校公演ではよく取り入れられ、子どもに受け入れられやすい古典落語です。 オチも秀逸で、寄席でもよく掛かるものです。 落語を聞き始める児童・生徒向けに良い一席である。 ※両方の演目が必ず公演にてかかるとは限りませんが、要望があれば優先して口演します</p>		
児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ● 出囃子での共演 出囃子(公演中、出演者が入れ替わる際に演出する寄席囃子のことで、三味線と太鼓で成り立っている音楽)を、児童・生徒が太鼓演奏を行い、舞台上で当会のお囃子(三味線演奏者)と共演し、公演を演出する。この際和服・袴を着用し、出演者の一員として共演する。 ● 落語(小噺)での共演 出演者の落語を鑑賞する前に、児童・生徒に短い落語(小噺)を高座で披露してもらい共演する。この際和服・袴を着用し、高座返し・めくり返しなどを担い出演者の一員として共演する。 		
出 演 者	<p>落 語 [前 座] 春風亭 昇りん (予定) 落 語 [二ツ目] 桂 翔 丸 (予定) お仲入り (休憩) 曲 芸 鏡 味 味千代 (予定) 落 語 [真 打] 三遊亭 遊 吉 (予定) 他 お囃子 1 名 合計 4 本の演芸</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 6~7 名 ス タ ッ フ: 3~4 名 合 計: 9~11 名	機 材 等 運 搬 方 法	積 載 量 1 t 車 長 4 m 台 数 1 台

【公演団体名 公益社団法人落語芸術協会】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(2 時間程度) <table border="1" data-bbox="391 779 1433 862"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9 時</td> <td>9 時～ 11 時</td> <td>13 時 30 分～15 時 10 分</td> <td>10 分</td> <td>15 時 20 分～16 時 30 分</td> <td>17 時</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。 (仕込みと本公演の間に代表児童・生徒の和服着付け・リハーサルがあります。12 時 40 分位～13 時 15 分位)						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	9 時	9 時～ 11 時	13 時 30 分～15 時 10 分	10 分	15 時 20 分～16 時 30 分	17 時
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
9 時	9 時～ 11 時	13 時 30 分～15 時 10 分	10 分	15 時 20 分～16 時 30 分	17 時													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	300 名程度																
	本公演	300 名程度																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	可能であれば、音楽室・図工室など体育館以外での実施がベター。 簡単な高座を設営して、希望者に高座に上がって体験をしてもらう。 講師の紹介、落語や高座の説明、所作(仕草)の説明(クイズ形式など)、一分線香(右向 いて左向いて終わる会話のみの短い落語)、前記 2 点の体験コーナー、一番太鼓・二番 太鼓の説明(映画館等のブザーの役割)、出囃子の演奏解説、本公演代表の稽古。 その後、時間があれば落語一席を聞いてもらう。																	
ワークショップ 実施形態の意図	落語はお客様各々で物語のシーンを想像して楽しむものであることから、こじんまりした部 屋での実施が最適である。初めて落語を聞く・接する子供達には特に意識を集中してもら いたいので、体育館のような大きいところではなく小さい部屋での実施が好ましい。 また講師の演じる短い落語(一分線香)などを体験することにより、人前で話すことの大変 さ、演じることの難しさを体験してもらい、その後の学習に役立ててもらいたい。																	
特別支援学校で の実施における 工夫点	視覚障害の児童・生徒に対してはワークショップ本公演共に高座の設えなどについての 説明を多く取る。本公演において、落語は問題ないかと思われるが(いくらでも言い換えが 出来る)、落語以外の演芸については見る芸(曲芸等)ではなく、耳で聞いて楽しめるもの (動物物まねなど)に差し替える等、学校の状況に応じて調整を行う。																	
実 施 可 能 時 期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。																	

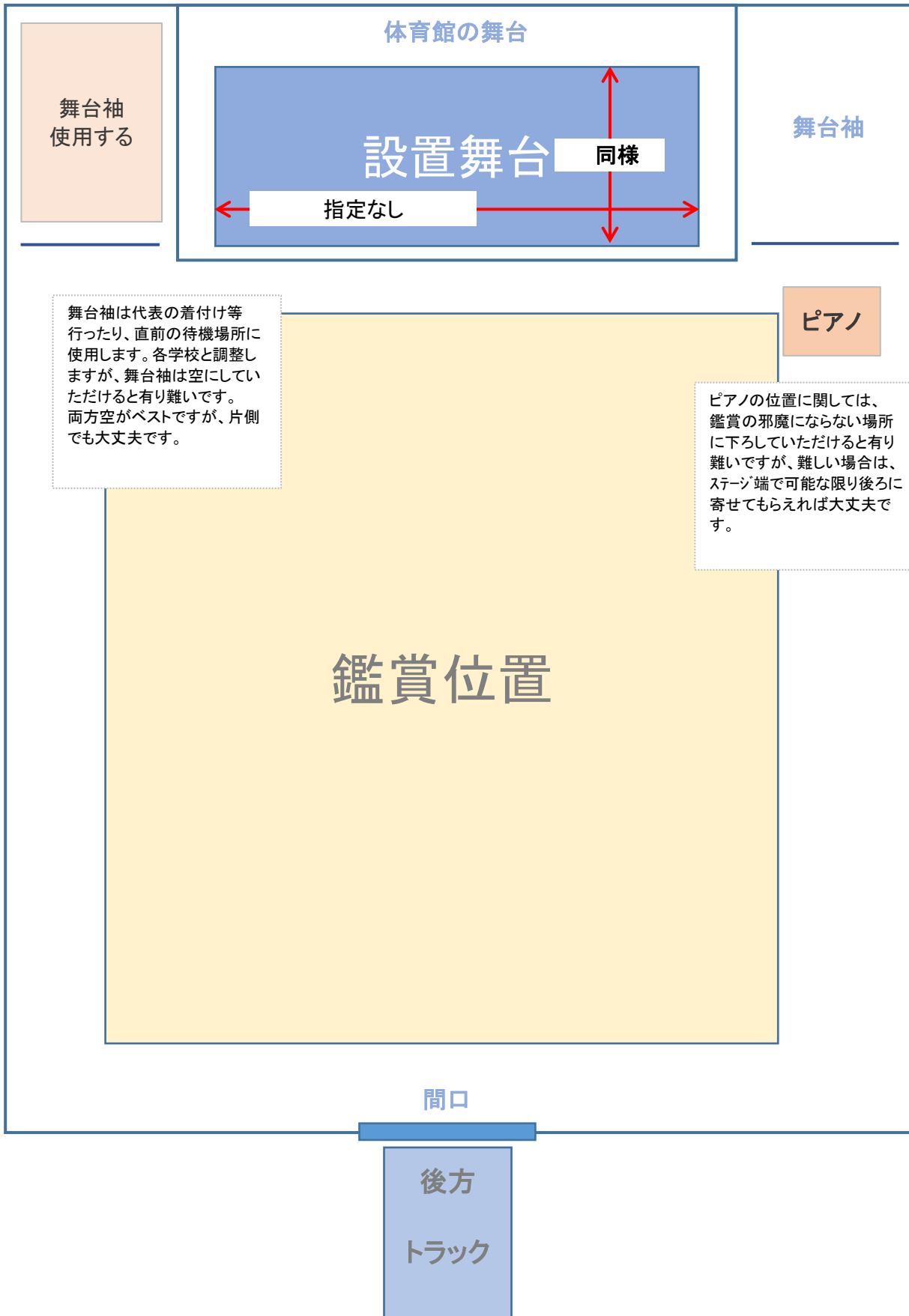
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E60	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	公益社団法人 落語芸術協会			制作団体名	公益社団法人 落語芸術協会				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	着替えの為、カーテンが閉まると有り難いです。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台	乗用車	1台	
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン(ハイエースロング程度)				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				
	不可	搬入経路の最低条件			雨天時、雨が避けられる経路の確保ができること。				
		理由			大道具が雨に弱い				
	不可	設置階の制限 *			2階以上不可				
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m			
WSIについて	不可	参加可能人数			300名程度まで				
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	不可	鑑賞可能人数			300名程度まで				
	可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上				
	—	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	指定なし	奥行	指定なし	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		袖にある程度スペースが必要		
	可				緞帳 *	不要	バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	舞台に集中してもらうため		
	不可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	可			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			30A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
可	出演者が体育館舞台袖に直接出入りできる入口がない場合、入口から舞台袖までパーテーションをご用意いただいたほうが良いケースがあります(可能な範囲で)								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否	可能であれば助かります			
横づけができない場合の搬入可能距離	30メートル以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



令和元年度
文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

瀧 山 鯉 橋	鏡 味 ま じ 乃	立 山 幸 之 進	昔 昔 亭 全 太 郎
------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------

演芸公演

「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



公演日程

- 10月8日(火) 滋賀県 甲賀市 [開演13:30~] 甲賀市立小原小学校
地元主催：滋賀県教育委員会／甲賀市教育委員会
- 10月9日(水) 滋賀県 米原市 [開演13:30~] 米原市立春照小学校
地元主催：滋賀県教育委員会／米原市教育委員会
- 10月10日(木) 滋賀県 米原市 [開演10:30~] 米原市立河南小学校
地元主催：滋賀県教育委員会／米原市教育委員会
- 10月11日(金) 三重県 東員町 [開演13:30~] 東員町立笹尾西小学校
地元主催：三重県教育委員会／東員町教育委員会



制作
公益社団法人 落語芸術協会

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2階 公益社団法人 落語芸術協会
TEL:03-5909-3080 FAX:03-5909-3082
ホームページ www.geikyo.com Eメール info@geikyo.com

表紙イラスト：とつか りょうこ

知ってますか？ ~ 10月1日は「国際音楽の日」です ~
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることをしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

番組組

お嬢子 福岡 氏江

学校代表 落語

一、落語 昔昔亭 全太郎

一、落語 立山 幸之進

仲入り(きょうけい)

一、大神楽曲芸 鏡味 よし乃

一、落語 瀧山 鯉橋



せきせきてい ぜん たろう 昔昔亭 全太郎



たてかわ こう の しん 立山 幸之進



かが み の 鏡味 よし乃



たき かわ り きょう 瀧山 鯉橋

◎落語の始まり

落語の始まりは室町時代末期から安土桃山時代にかけて、戦国大名のそばに仕え、話の相手をしたり、世情を伝えたりする「御伽衆」と呼ばれる人達でした。その中の一人安樂庵兼伝という浄土宗の僧侶は、豊臣秀吉の前で滑稽なおチの「ハ」断を披露して大変喜ばれました。後に、京都所司代の板倉重宗に頼まれて、千余りにものぼる小断を「醒睡笑」という書物に記しています。江戸時代に入り有料で断を聞かせる人物が登場します。

◎落語のスタイル

扇子で手ぬぐいを持った一人の演者が、座布団の上で座って滑稽な話をします。断家は声色や仕草を交えて、老若男女全ての登場人物を演じ分けられます。つまり、話芸だけで、お客様は自由に想像力を膨らませ、頭の中に絵を描き出すことができます。極上の笑いがかもし出します。

◎落語の形

上下(かみじもと) 一人の断家が複数の登場人物を演じ分けられるため、顔を左右に向けて話します。自分の進みや、家内と外で会話をする場合、目下の者や外から話しかける時は、上手(かみ)手前(て)から見ても向きを向いて話すとなどが決められています。

◎持ち道具

扇子で手ぬぐい(てぬぐい)を持ち、この小道具をいろいろな形に使いながら落語の世界を創っていきます。扇子はあき・筆・刀・キセルなどに、手ぬぐいは財布・煙草入れ・巾着などに見立てて使われます。

◎オチ(おち)

江戸時代落語は「断り」断りと呼ばれていました。主なものとして、地口(ぢくち)オチ・おん(おん)オチ・仕草(しこう)オチ・考え(かんが)オチ・間抜け(まぬけ)オチなどがあります。

◎マクラ

マクラとは断の本題に入る前にしゃべる、ちょっとした世間話や小咄のことです。事前に演題を発表しない寄席では、断家はマクラでお客様の反応を探ってごなん演目にするか選びます。

◎寄席のSWAN

寄席というのは人を集めて芸能を催す「人寄せ場」の場です。今から約200年前に常設寄席(定席)が生まれました。江戸時代には200軒あった寄席ですが、現在は都内に4軒残っています。寄席では落語の色物と呼ばれる『見て楽しめる』ものが次々と登場します。寄席の一日は太鼓で始まります。開演の30分前に「一番太鼓」が鳴ります。そのあと「二番太鼓」「三番太鼓」が鳴ります。これを合図に開演です。次に、開演直前には「一番太鼓」が鳴ります。(マクラクワイ、オチクワイ)と打ちます。着席(ちやく)についてお呼ばれる太鼓の間もなく開演です。出陣(しゅん)と併せて開口(くわ)一番、前座(ぜんざ)の登場です。その後お仲入り(ちゆういり)の太鼓、トリ(と)一番後に出るのが終わると海い出し太鼓を打ちます。別名薄板太鼓とも呼ばれ(テテケ、テテケ、テテケ)と打ち、これで寄席の一日が終わります。この太鼓、実は断家(だんか)前座(ぜんざ)が叩いています。

◎断家(前座)の修行

断家には「前座」→「二ツ目」→「真打」という段階があります。厳しい修行を経て、真打になるまでには15年から10年以上かかります。前座の修行は大変です。落語を覚えるのももちろんのこと、太鼓も覚えなければなりません。その他先陣(せんじん)でお茶を出したり(個々の人の好みを覚えなければなりません)、着物をたんだりと大変な修行、覚えることがたくさんあります。前座修行を4年間努め晴れて二ツ目昇進です。これからは、自分の差をみがかなければなりません。断家はいつまでも芸の勉強をしなければなりません。



みなさん初めまして、ほくはバク助です。
落語芸術協会のマスコットキャラクターとして生まれました。
どうしてほくがマスコットになったかという、落語をもっと子供みんなにも聞いてもらいたいと思ったからなんだ。
「落語」ってちょっとおもしろい感じがするよね。
話しかたなんかも今は少しちがうし、名前なんか聞いたこともない道員がいっぱい出てくるし、はじめてだとわからないことだらけだね。
そんなおもしろいことをほくがわかりやすくおしえてあげるよ。
でも、ほくも生まれたばかりだからぜんぶ知ってるわけじゃないんだ。
けどこれから落語のことをいっぱい勉強していくからだいじょうぶ。
だからみんなもほくのことを応援してね。



●公益社団法人 落語芸術協会
公益社団法人落語芸術協会は、寄席芸能を普及し後生へ伝える為、昭和5年10月に日本芸術協会として設立。昭和52年に法人許可され社団法人落語芸術協会と改称。
平成23年4月に公益社団法人落語芸術協会と改称。
断家と色物(曲芸、漫才、奇術、紙切り、俗曲等)お仲間(入れ)会費250名(令和元年現在)の大所帯です。
当協会は寄席芸能の責任団体として、東京の寄席の出演を始め全国各地の会館や学校で主催される、寄席(落語会)の企画制作を行い、落語の普及に尽力している。
また、寄席以外に継承にも力を入れ、年間約30ステージに及ぶ若手による落語会を催している。
現在、会長の春風亭昇太のもとに演芸関係のリーダー格として位置付けられている。

〒160-0023
東京都新宿区西新宿6-12-30
芸能花伝舎2階
公益社団法人 落語芸術協会
TEL.03-5909-3080 FAX.03-5909-3082
www.geikyo.com
info@geikyo.com